

# 行田市地域公共交通計画策定に向けた アンケート調査 調査結果報告書

令和5年3月

昭和株式会社



# 目次

<b>I 市民アンケート調査結果</b> .....	<b>1</b>
1 アンケート実施概要 .....	2
2 アンケート結果 .....	2
3 アンケート結果のまとめ .....	22
<b>II デマンドタクシー利用者アンケート調査結果</b> .....	<b>25</b>
1 アンケート実施概要 .....	26
2 アンケート結果 .....	26
3 アンケート結果のまとめ .....	35
<b>III 路線バス利用に関するアンケート調査結果</b> .....	<b>37</b>
1 アンケート実施概要 .....	38
2 アンケート結果 .....	39
<b>IV 市内循環バス利用に関するアンケート調査結果</b> .....	<b>44</b>
1 アンケート実施概要 .....	45
2 アンケート結果（休日調査結果） .....	46
3 アンケート結果（平日調査結果） .....	51
4 アンケート結果のまとめ .....	56
<b>V 課題の整理</b> .....	<b>57</b>
<b>巻末資料 アンケート調査票</b> .....	<b>60</b>
・行田市地域公共交通計画策定に向けた市民アンケート調査	
・行田市地域公共交通計画策定に向けたデマンドタクシー利用者アンケート調査	
・行田市 路線バス利用に関するアンケート調査	
・行田市 市内循環バス利用に関するアンケート調査	

# I 市民アンケート調査結果

# 1 アンケート実施概要

アンケート実施期間：令和4年10月28日（発送）～11月7日（ポスト投函締切）

対象者：令和4年9月時点において行田市在住の16歳以上の市民2,000人

※対象者は無作為抽出により選定し、郵送によりアンケート票を発送、回収した。

その他市内で開催されたイベント時に、当アンケートにWEB上で回答できるQRコードを配布した。

回答方法：

- ①郵送発送によるアンケート票：手書きによる記入もしくはアンケート票内に記載されたQRコードの読み取りによるWEB回答の2パターンから選択
- ②イベント時のQRコード配布：QRコードの読み取りによるWEB回答のみ
- ③市ホームページ、SNSでの公開：QRコードの読み取りによるWEB回答のみ

回収票数：856票

（内訳 郵送回答：691票/WEB回答：117票/その他チラシ・SNS等からのWEB回答：48票）

郵送実施アンケートにおける回収率：40.4%

<当報告における留意点>

- 1.行田市在住者以外の回答も含むが無効票としていない
- 2.回答者割合は、小数点以下非表示とするが、「0%」となる場合のみ少数第一位まで表示
- 3.「その他」の意見は、同一内容の意見が複数挙げられた場合、上位意見として記載

# 2 アンケート結果

## 2-1. 回答者の属性

問 1-1 性別

	選択肢	回答数	割合
1	男性	396	47%
2	女性	444	52%
3	その他/回答しない	8	1%
	合計	848	100%
	無回答	8	

問 1-2 住まい

順位	選択肢	回答数	割合	順位	選択肢	回答数	割合	順位	選択肢	回答数	割合	順位	選択肢	回答数	割合
1	持田	70	8.9%	16	下須戸	14	1.8%	27	野	10	1.3%	44	中江袋	6	0.8%
2	長野	50	6.3%		桜町	14	1.8%	32	犬塚	9	1.1%		馬見塚	6	0.8%
3	南河原	41	5.2%		西新町	14	1.8%		小敷田	9	1.1%		本丸	6	0.8%
4	佐間	40	5.1%		棚田町	14	1.8%	49	上池守	9	1.1%	駒形	5	0.6%	
5	埼玉	33	4.2%	20	下忍	13	1.6%		富士見町	9	1.1%	城南	5	0.6%	
6	荒木	28	3.5%	22	若小玉	13	1.6%	36	栄町	8	1.0%	緑町	5	0.6%	
7	谷郷	26	3.3%		旭町	12	1.5%		52	下池守	8	1.0%	押上町	4	0.5%
8	須加	22	2.8%	24	堤根	12	1.5%			42	斎条	8	1.0%	天満	4
9	城西	21	2.7%		下中条	11	1.4%	54	血尾		8	1.0%	関根	3	0.4%
10	藤原町	20	2.5%	向町	11	1.4%	44		小針	8	1.0%	宮本	3	0.4%	
11	門井町	19	2.4%	北河原	11	1.4%		57	白川戸	8	1.0%	和田	3	0.4%	
12	忍	17	2.2%	27	酒巻	10	1.3%		44	中里	7	0.9%	57	壱里山町	2
13	矢場	16	2.0%		小見	10	1.3%	59		利田	7	0.9%	深水町	2	0.3%
14	行田	15	1.9%	前谷	10	1.3%	44		真名板	6	0.8%	樋上	1	0.1%	
	中央	15	1.9%	渡柳	10	1.3%		清水町	6	0.8%	加須市	1	0.1%		
												59	鴻巣市鴻巣	1	0.1%
													八王子市	1	0.1%
													合計	790	

※無回答:66

※表内の塗りつぶしは行田市外の地名を回答しているもの

問 1-3 ①最寄り駅

	選択肢	回答数	割合
1	JR高崎線 吹上	81	11.1%
2	JR高崎線 熊谷	26	3.6%
3	JR高崎線 行田	138	18.9%
4	JR高崎線 北鴻巣	51	7.0%
5	JR高崎線 鴻巣	4	0.6%
6	秩父鉄道 ソシオ流通センター	17	2.3%
7	秩父鉄道 行田市	154	21.1%
8	秩父鉄道 羽生	9	1.2%
9	秩父鉄道 持田	75	10.3%
10	秩父鉄道 新郷	1	0.1%
11	秩父鉄道 東行田	103	14.1%
12	秩父鉄道 武州荒木	70	9.6%
13	東武伊勢崎線 加須	1	0.1%
14	多摩モノレール 中央大学・明星大学	1	0.1%
	合計	731	100%
	無回答	125	

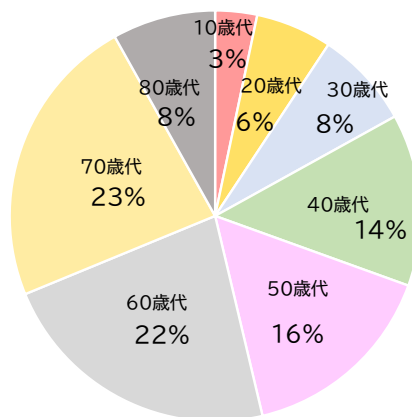
問 1-3 ②最寄りバス停

	バス停名	回答数	割合
1	佐間	17	4%
2	佐間団地	15	3%
3	行田本町	14	3%
4	犬塚	13	3%
5	産業道路	13	3%
6	愛宕神社前	12	3%
7	持田三丁目	11	3%
8	南河原支所	11	3%
9	北河原	10	2%
10	棚田町三丁目	9	2%
11	その他	282	65%
12	不明	28	6%
	合計	435	100%
	無回答	421	

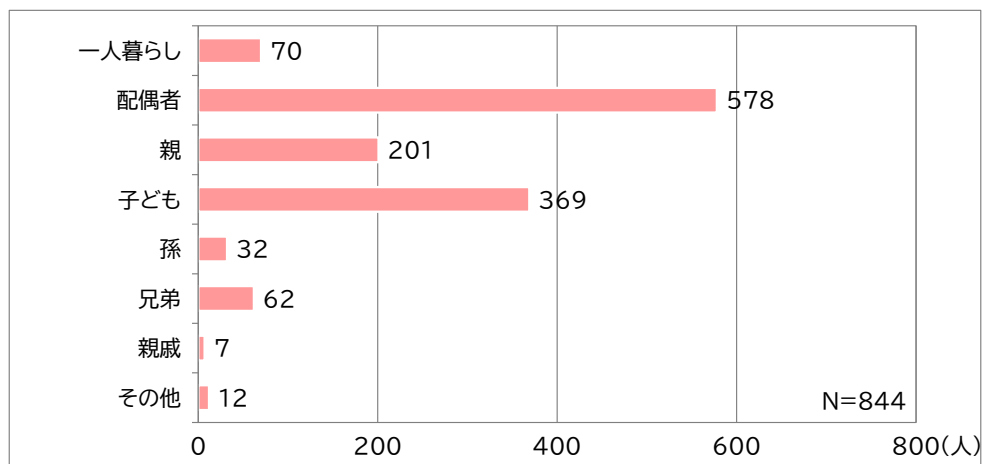
※バス停名詳細は回答種類が多いため章末資料として記載

問 1-4 年齢

	選択肢	回答数	割合
1	10歳代	28	3%
2	20歳代	51	6%
3	30歳代	65	8%
4	40歳代	115	14%
5	50歳代	134	16%
6	60歳代	191	22%
7	70歳代	196	23%
8	80歳代以上	69	8%
	合計	849	100%
	無回答	7	

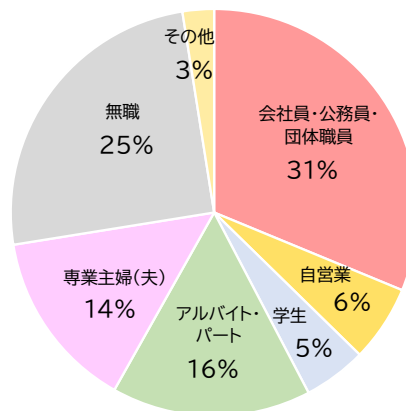


問 1-5 世帯構成（同居しているすべてを選択）

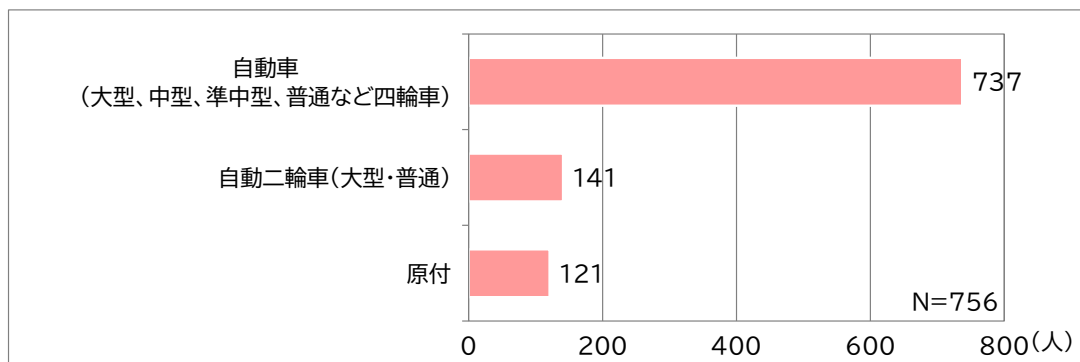


問 1-6 職業

	選択肢	回答数	割合
1	会社員・公務員・団体職員	262	31%
2	自営業	51	6%
3	学生	42	5%
4	アルバイト・パート	133	16%
5	専業主婦(夫)	120	14%
6	無職	210	25%
7	その他	21	3%
	合計	839	100%
	無回答	17	

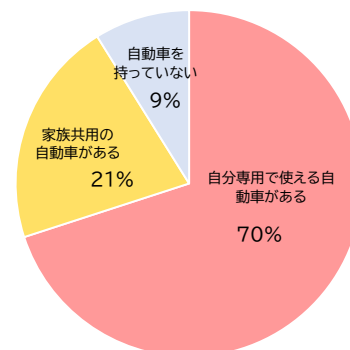


問 1-7 所有している運転免許証（所有しているすべてを選択）



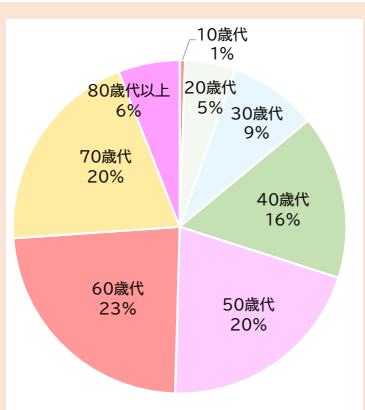
問 1-8 自動車の所有

	選択肢	回答数	割合
1	自分専用で使える自動車がある	575	70%
2	家族共用の自動車がある	178	21%
3	自動車を持っていない	73	9%
	合計	826	100%
	無回答	30	



→世代別の自分専用自動車の所有状況

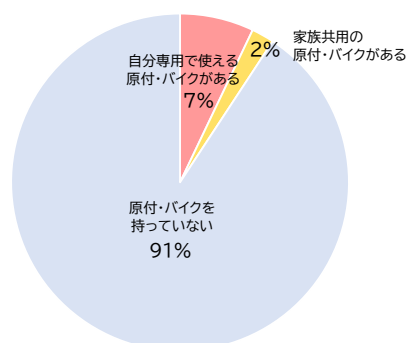
	選択肢	回答数	割合
1	10歳代	3	1%
2	20歳代	28	5%
3	30歳代	49	9%
4	40歳代	91	16%
5	50歳代	117	20%
6	60歳代	134	23%
7	70歳代	115	20%
8	80歳代以上	34	6%
	合計	571	100%
	無回答	4	



575 人の回答者のうち 49%が 60 歳代以上

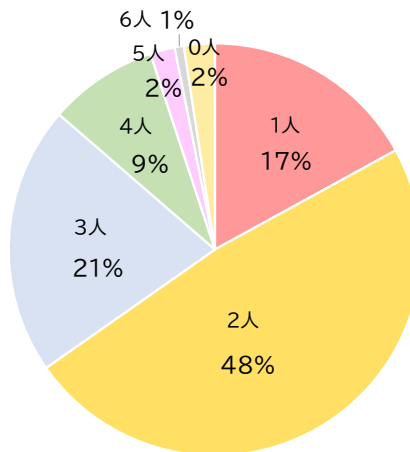
問 1-9 原付・バイクの所有

	選択肢	回答数	割合
1	自分専用で使える原付・バイクがある	49	7%
2	家族共用の原付・バイクがある	15	2%
3	原付・バイクを持っていない	628	91%
	合計	692	100%
	無回答	164	



問 1-10 世帯で自動車を運転する人の人数

	選択肢	回答数	割合
1	1人	141	17%
2	2人	400	48%
3	3人	175	21%
4	4人	71	9%
5	5人	16	2%
6	6人	6	1%
7	0人	20	2%
	合計	829	100%
	無回答	27	



問 1-11 世帯での所有台数

【自動車】

	選択肢	回答数	割合
1	1台	222	27.1%
2	2台	339	41.3%
3	3台	160	19.5%
4	4台	56	6.8%
5	5台	18	2.2%
6	6台	5	0.6%
7	7台	1	0.1%
8	8台	1	0.1%
9	10台	1	0.1%
10	0台	18	2.2%
	合計	821	100%
	無回答	35	

【原付・バイク】

	選択肢	回答数	割合
1	1台	66	15.2%
2	2台	15	3.5%
3	3台	8	1.8%
4	4台	1	0.2%
5	5台	1	0.2%
6	6台	1	0.2%
7	0台	343	78.9%
	合計	435	100%
	無回答	421	

【自転車】

	選択肢	回答数	割合
1	1台	265	37.3%
2	2台	190	26.7%
3	3台	100	14.1%
4	4台	44	6.2%
5	5台	11	1.6%
6	6台	6	0.8%
7	7台	3	0.4%
8	0台	92	12.9%
	合計	711	100%
	無回答	145	

【回答者の属性における傾向】

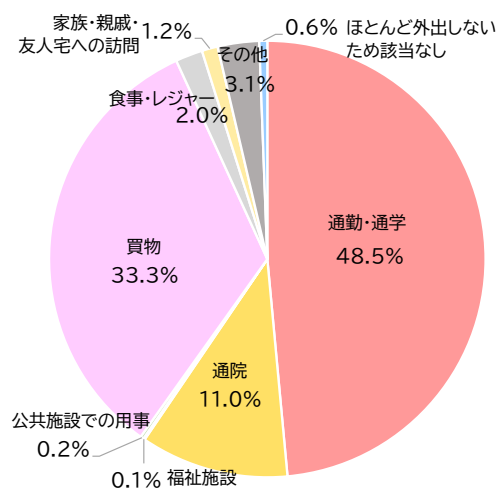
- ・回答者の住まいは「持田」が最も多く、次いで「長野」、「南河原」となっている。
- ・回答者の年代別の状況は、60歳代～80歳代の合計が53%となっており、60歳代以上の回答者の割合が過半数を占めている。
- ・自動車の運転免許証の所有者は、本問いに対し回答のあった756人中737人という大多数が所有している。また、「自分専用で使える自動車がある」の回答者は7割となっており、自動車依存度が高いことがうかがえる。1世帯あたりの自動車所有台数は、2台が最も多く、4割となっている。



## 2-2. 日常生活の外出について

問2 日常的な外出において最も多い外出目的とその目的地（市外でも可）

	選択肢	回答数	割合
1	通勤・通学	411	48.5%
2	通院	93	11.0%
3	福祉施設	1	0.1%
4	公共施設での用事	2	0.2%
5	買物	282	33.3%
6	食事・レジャー	17	2.0%
7	家族・親戚・友人宅への訪問	10	1.2%
8	その他	26	3.1%
9	ほとんど外出しないため該当なし	5	0.6%
	合計	847	100%
	無回答	9	

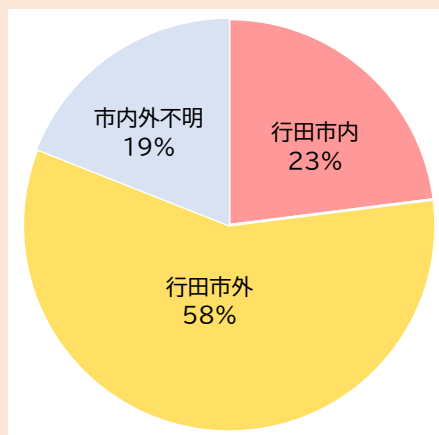


回答数上位の「1.通勤・通学」、「5.買物」、「2.通院」の内容について、下記に目的地と移動手段の主な内容を整理する。

### 日常生活における外出先 第1位「通勤・通学」について

①目的地（回答者記入の目的地名よりカテゴライズし集計）

目的地	回答数	割合
行田市内	89	23%
行田市外	226	58%
市内外不明	74	19%
合計	389	100%
無回答	22	



②目的地までの移動手段

「外出目的地」における「行田市内」までの移動手段

移動手段	回答数	割合
車	70	79%
自転車	12	14%
徒歩	5	6%
バス	1	1%
合計	88	100%
無回答	1	

「外出目的地」における「行田市外」までの移動手段

移動手段	回答数	割合
車	164	72.9%
電車	29	12.9%
バス	18	8.1%
自転車	11	4.9%
デマンドタクシー	1	0.4%
徒歩	1	0.4%
バイク	1	0.4%
合計	225	100%
無回答	1	

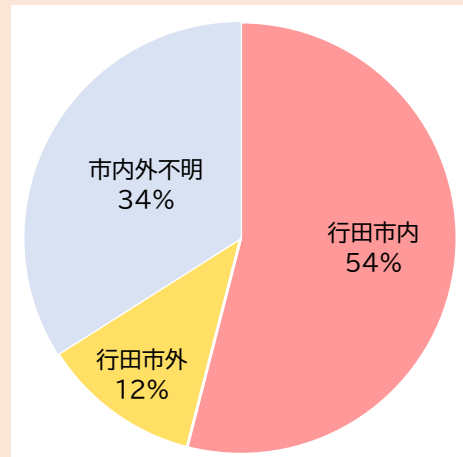
「外出目的地」における「行田市内外不明」までの移動手段

移動手段	回答数	割合
車	63	85%
自転車	10	14%
バイク	1	1%
合計	74	100%

## 日常生活における外出先 第2位「買物」について

### ①目的地（回答者記入の目的地名よりカテゴライズし集計）

目的地	回答数	割合
行田市内	131	54%
行田市外	28	12%
市内外不明	81	34%
合計	240	100%
無回答	42	



### ②目的地までの移動手段

#### 「外出目的地」における「行田市内」までの移動手段

移動手段	回答数	割合
車	100	78%
自転車	23	18%
徒歩	4	3%
バス	1	1%
合計	128	100%
無回答	3	

#### 「外出目的地」における「行田市外」までの移動手段

移動手段	回答数	割合
車	22	84%
自転車	2	8%
バス	1	4%
電車	1	4%
合計	26	100%
無回答	2	

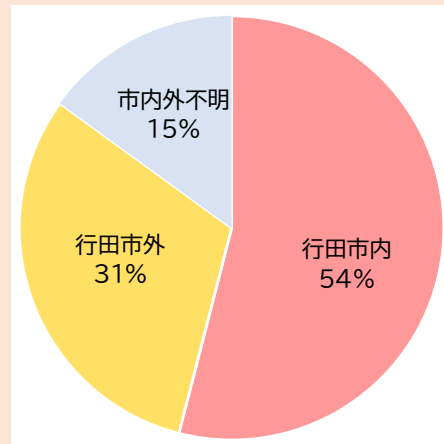
#### 「外出目的地」における「行田市内外不明」までの移動手段

移動手段	回答数	割合
車	77	98%
電車	1	1%
バイク	1	1%
合計	79	100%
無回答	2	

## 日常生活における外出先 第3位「通院」について

### ①目的地（回答者記入の目的地名よりカテゴライズし集計）

目的地	回答数	割合
行田市内	38	54%
行田市外	22	31%
市内外不明	11	15%
合計	71	100%
無回答	22	



### ②目的地までの移動手段

#### 「外出目的地」における「行田市内」までの移動手段

移動手段	回答数	割合
車	25	71%
自転車	5	14%
デマンドタクシー	2	6%
電車	1	3%
徒歩	1	3%
バイク	1	3%
合計	35	100%
無回答	3	

#### 「外出目的地」における「行田市外」までの移動手段

移動手段	回答数	割合
車	17	81%
バス	3	14%
電車	1	5%
合計	21	100%
無回答	1	

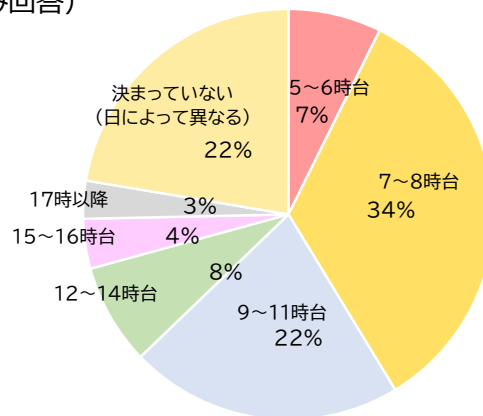
#### 「外出目的地」における「行田市内外不明」までの移動手段

移動手段	回答数	割合
車	11	100%
合計	11	100%

問3 問2で回答した場所への外出時間帯（問2で1～8の選択者のみ回答）

	選択肢	回答数	割合
1	5～6時台	60	7%
2	7～8時台	278	34%
3	9～11時台	176	22%
4	12～14時台	65	8%
5	15～16時台	32	4%
6	17時以降	20	3%
7	決まっていない(日によって異なる)	183	22%
	合計	814	100%

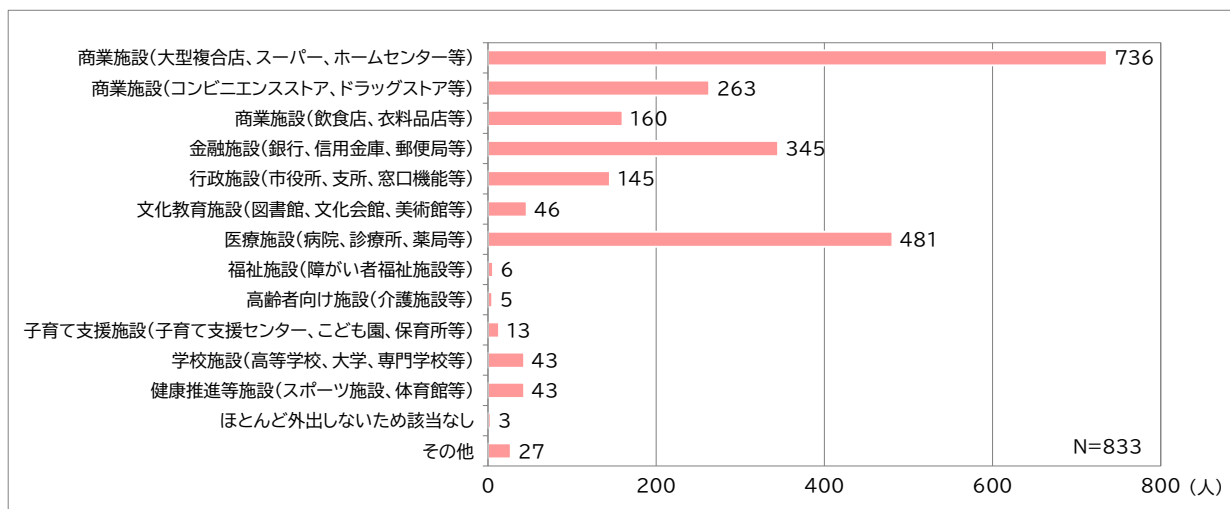
問2で1～8の回答者のうち、無回答 28



→ 回答が多かった時間帯の外出目的

選択肢	7～8時台の内訳		9～11時台の内訳	
	回答数	割合	回答数	割合
1 通勤・通学	257	92.5%	29	16.5%
2 通院	12	4.3%	43	24.4%
3 福祉施設	0	0.0%	1	0.6%
4 公共施設での用事	0	0.0%	1	0.6%
5 買物	2	0.7%	89	50.6%
6 食事・レジャー	1	0.4%	5	2.8%
7 家族・親戚・友人宅への訪問	2	0.7%	2	1.1%
8 その他	4	1.4%	6	3.4%
9 ほとんど外出しないため該当なし	0	0.0%	0	0.0%
合計	278	100%	176	100%

問4 行くのが便利だと暮らしやすいと感じる施設（3つまで選択）



【「その他」における上位意見】

・駅 (24件)

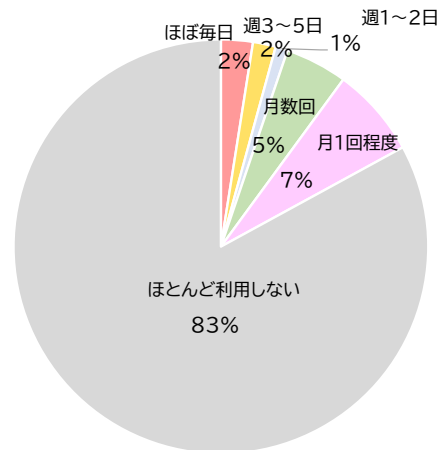
【日常生活の外出における傾向】

- ・日常的な外出目的は、「通勤・通学」が最も多く、約半数となっており、次いで「買物」となっている。
- ・外出時間は、「7～8時台」が最も多く、午前中の回答の合計は6割を占めている。
- ・行くのが便利だと暮らしやすいと感じる施設は、「商業施設（大型複合店等）」が他の選択肢に比べ多く、次いで「医療施設」、「金融施設」、「商業施設（コンビニ等）」の順となっている。

## 2-3. 鉄道駅の利用について

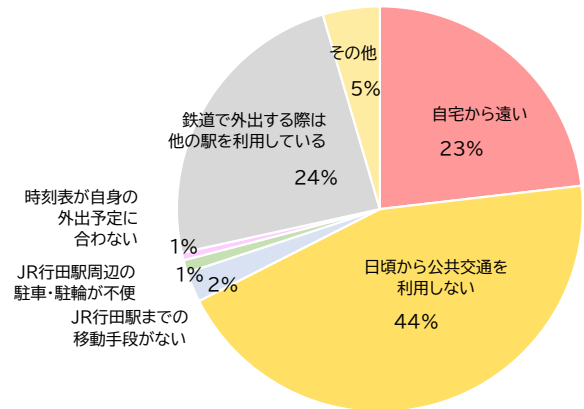
### 問 5 JR 行田駅の利用頻度

選択肢	回答数	割合
1 ほぼ毎日利用する	21	2%
2 週3~5日利用する	15	2%
3 週1~2日利用する	8	1%
4 月数回利用する	41	5%
5 月1日程度利用する	59	7%
6 ほとんど利用しない	701	83%
合計	845	100%
無回答	11	



### 問 6 JR 行田駅を利用しない理由（問 5 で「6 ほとんど利用しない」の選択者のみ回答）

選択肢	回答数	割合
1 自宅から遠い	153	23%
2 日頃から公共交通を利用しない	293	44%
3 JR行田駅までの移動手段がない	16	2%
4 JR行田駅周辺の駐車・駐輪が不便	10	1%
5 JR行田駅の運行ダイヤ(時刻表)が自身の外出予定に合わない	4	1%
6 鉄道で外出する際は他の駅を利用している	158	24%
7 その他	30	5%
合計	664	100%
問5で6の回答者のうち、無回答	37	

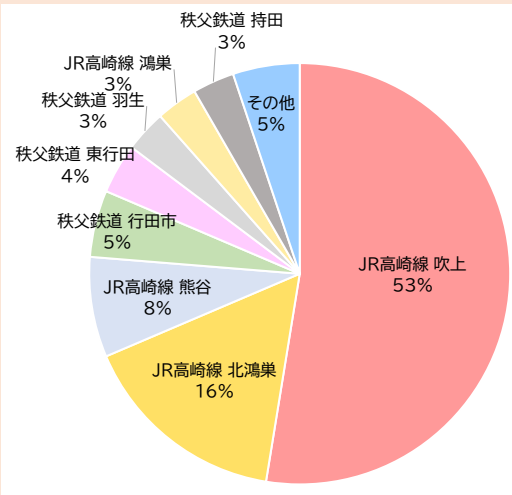


#### 【「その他」における上位意見】

- ・利用する用事が無い (11 件)
- ・外出しない (6 件)
- ・新型コロナの影響により利用を控えている (5 件)

#### → 選択肢 6 における「利用している他の駅」

駅名	回答数	割合
JR高崎線 吹上	82	53%
JR高崎線 北鴻巣	25	16%
JR高崎線 熊谷	12	8%
秩父鉄道 行田市	8	5%
秩父鉄道 東行田	6	4%
秩父鉄道 羽生	5	3%
JR高崎線 鴻巣	5	3%
秩父鉄道 持田	5	3%
その他	8	5%
合計	156	100%
無回答	2	

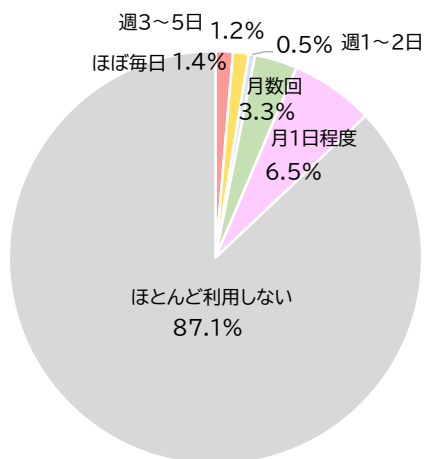


問 7 市内の秩父鉄道駅の利用頻度

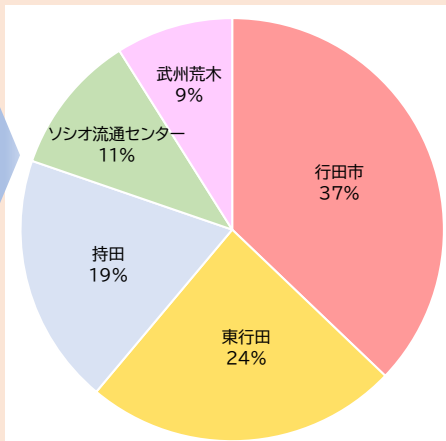
	選択肢	回答数	割合
1	ほぼ毎日利用する	11	1.4%
2	週3～5日利用する	10	1.2%
3	週1～2日利用する	4	0.5%
4	月数回利用する	27	3.3%
5	月1日程度利用する	53	6.5%
6	ほとんど利用しない	706	87.1%
	合計	811	100%

無回答

45



利用している駅



駅名	回答数	割合
行田市	31	37%
東行田	20	24%
持田	16	19%
ソシオ流通センター	9	11%
武州荒木	7	9%
合計	83	100%

無回答

18

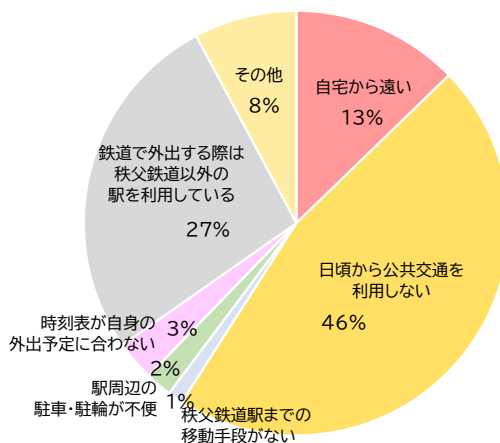
※JR 駅名（行田駅・吹上駅）を回答した 4 票を除外し集計

問 8 市内の秩父鉄道駅を利用しない理由（問 7 で「6 ほとんど利用しない」の選択者のみ回答）

	選択肢	回答数	割合
1	自宅から遠い	88	13%
2	日頃から公共交通を利用しない	320	46%
3	秩父鉄道の駅までの移動手段がない	8	1%
4	秩父鉄道の駅周辺の駐車・駐輪が不便	14	2%
5	秩父鉄道の運行ダイヤ(時刻表)が自身の外出予定に合わない	25	3%
6	鉄道で外出する際は秩父鉄道以外の駅を利用している	186	27%
7	その他	54	8%
	合計	695	100%

問7で6の回答者のうち、無回答

11



【「その他」における上位意見】

- ・自家用車の移動（家族の送迎含む）が多い（23 件）
- ・運賃及び本数が不満（6 件）

「秩父鉄道の駅で移動手段が無いが行きたい駅」

	回答数	割合
1 行田市	4	49%
2 東行田	3	38%
3 持田	1	13%
無回答	0	0%
合計	8	100%

「秩父鉄道の駅周辺の駐車・駐輪が不便な駅」

	回答数	割合
1 武州荒木	2	14%
1 持田	2	14%
2 東行田	1	8%
無回答	9	64%
合計	14	100%

「外出時に利用している秩父鉄道以外の駅」

		回答数	割合
1	JR高崎線 行田	72	38%
2	JR高崎線 吹上	69	37%
3	JR高崎線 北鴻巣	22	12%
4	JR高崎線 熊谷	8	4%
5	秩父鉄道 羽生	7	4%
6	JR高崎線 鴻巣	5	3%
	無回答	3	2%
	合計	186	100%

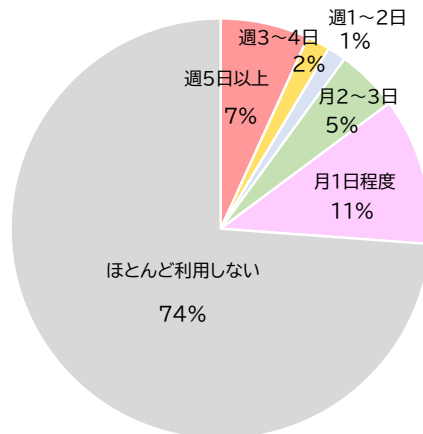
【鉄道駅の利用における傾向】

- ・JR 行田駅の利用頻度は、「ほとんど利用しない」が 8 割を占めており、利用状況の停滞、減少が課題と言える。「JR 行田駅を利用しない理由」については、「日頃から利用する習慣や機会が無い」、といった回答が最も多い。
  - ・JR 行田駅を利用しない回答者は、「JR 鴻巣駅」を利用しているケースが多い。
  - ・市内の秩父鉄道駅の利用頻度も同様、「ほとんど利用しない」が 8 割を占めており、理由も上記と同様である。
  - ・市内秩父鉄道駅で最も利用者が多い駅は、「行田駅」、次いで「東行田駅」である。
- ⇒**鉄道利用者の顕著な少なさ、自動車依存度の高さがうかがえる結果となっている。**

## 2-4. 公共交通の利用について

### 問 9 公共交通を利用した日常的な外出頻度

	選択肢	回答数	割合
1	週5日以上	57	7%
2	週3~4日	15	2%
3	週1~2日	12	1%
4	月2~3日	40	5%
5	月1日程度	95	11%
6	ほとんど利用しない	618	74%
	合計	837	100%
	無回答	19	



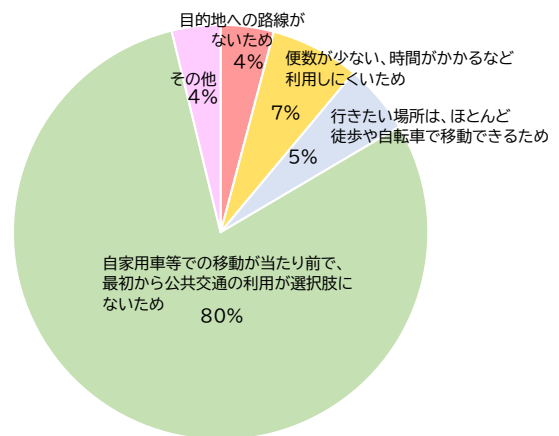
### 問 10 公共交通を利用しない理由

(問9で「ほとんど利用しない」の選択者のみ回答)

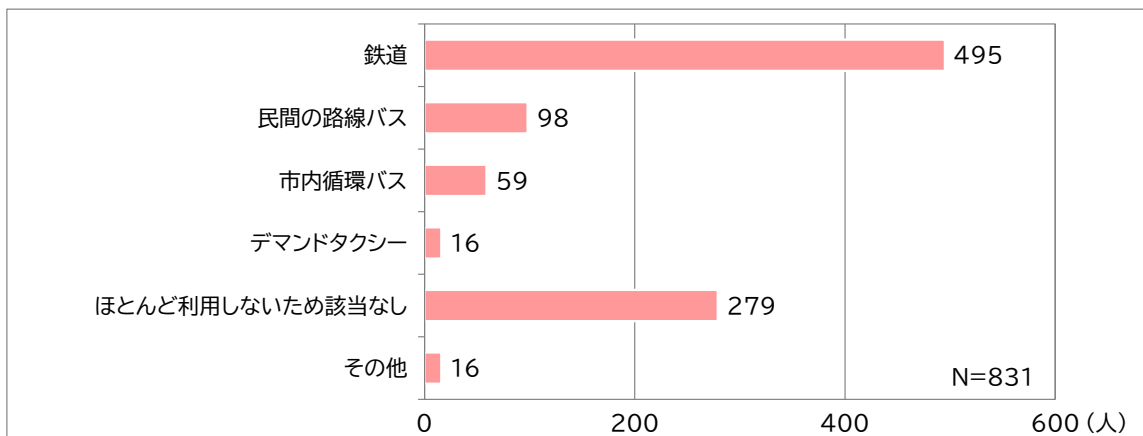
	選択肢	回答数	割合
1	目的地への路線がないため	25	4%
2	便数が少ない、時間がかかるなど利用しにくい	42	7%
3	行きたい場所は、ほとんど徒歩や自転車で移動できるため	33	5%
4	自家用車等での移動が当たり前で、最初から公共交通の利用が選択肢にないため	483	80%
5	その他	23	4%
	合計	606	100%

問9で6の回答者のうち、無回答

12

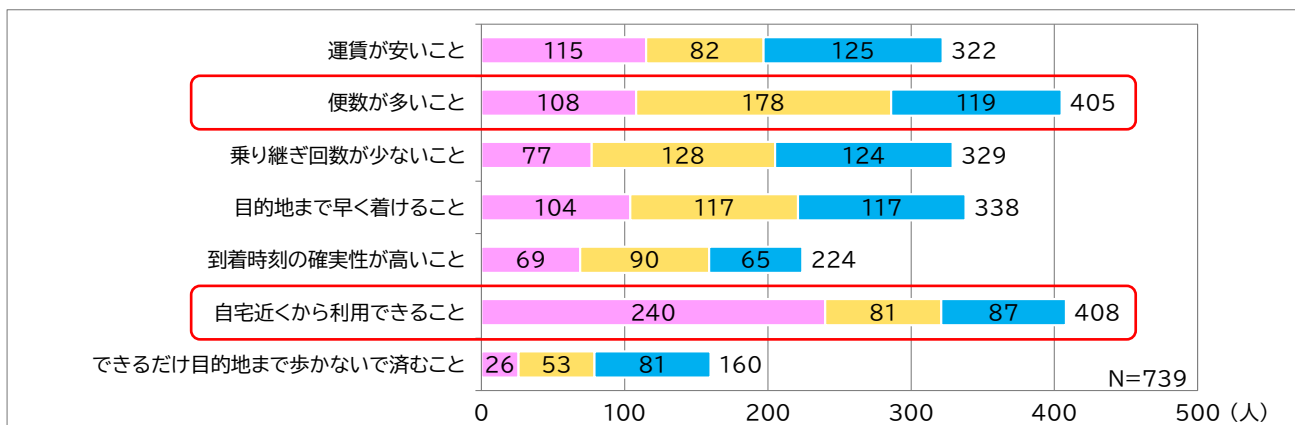


### 問 11 公共交通を利用して外出する際に利用する主な交通手段 (あてはまるすべて選択)



問 12 公共交通を利用する際に重視する項目（優先順位の高い順に3つまで選択）

◆1～3 番目合計



◆1 番目に重視する項目

	選択肢	回答数	割合
1	運賃が安いこと	115	16%
2	便数が多いこと	108	15%
3	乗り継ぎ回数が少ないこと	77	10%
4	目的地まで早く着けること	104	14%
5	到着時刻の確実性が高いこと	69	9%
6	自宅近くから利用できること	240	32%
7	できるだけ目的地まで歩かないで済むこと	26	4%
	合計	739	100%
	無回答	117	

◆2 番目に重視する項目

	選択肢	回答数	割合
1	運賃が安いこと	82	11%
2	便数が多いこと	178	25%
3	乗り継ぎ回数が少ないこと	128	18%
4	目的地まで早く着けること	117	16%
5	到着時刻の確実性が高いこと	90	12%
6	自宅近くから利用できること	81	11%
7	できるだけ目的地まで歩かないで済むこと	53	7%
	合計	729	100%
	無回答	127	

◆3 番目に重視する項目

	選択肢	回答数	割合
1	運賃が安いこと	125	18%
2	便数が多いこと	119	17%
3	乗り継ぎ回数が少ないこと	124	17%
4	目的地まで早く着けること	117	16%
5	到着時刻の確実性が高いこと	65	9%
6	自宅近くから利用できること	87	12%
7	できるだけ目的地まで歩かないで済むこと	81	11%
	合計	718	100%
	無回答	138	

【公共交通の利用における傾向】

- ・公共交通の利用頻度は、鉄道同様、「ほとんど利用しない」が7割を占めており、その理由は「自家用車の移動が当たり前で公共交通利用の選択肢が無い」が8割を占めている。このため、「公共交通を利用する際の主な交通手段」についても「ほとんど利用しないため該当なし」が3割程度あり、日頃全く公共交通を利用しない市民が一定数あることがうかがえる。
- ・公共交通を利用する際に重視する項目として、最も多く挙げたのは「自宅近くから利用できること」であり、ほぼ同数で「便数が多いこと」となっている。

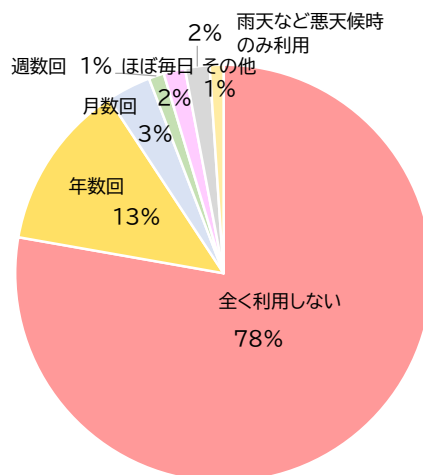


## 2-5. 民間路線バスの利用について

問 13-1 日頃の民間路線バスの利用頻度

	選択肢	回答数	割合
1	全く利用しない	654	78%
2	年に数回程度	109	13%
3	月に数回程度	29	3%
4	週に数回程度	10	1%
5	ほぼ毎日	14	2%
6	雨天など悪天候時のみ利用	16	2%
7	その他	9	1%
	合計	841	100%

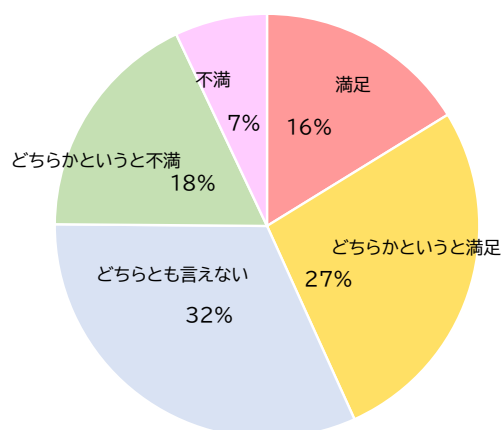
無回答 15



問 13-2 運行内容の満足度 (問 13-1 で 2~7 の選択者のみ回答)

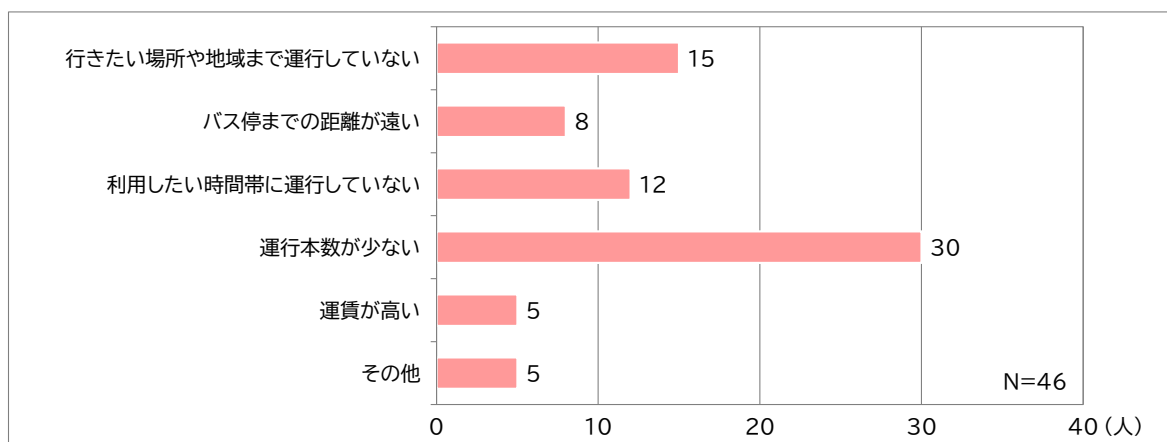
	選択肢	回答数	割合
1	満足	30	16%
2	どちらかという満足	50	27%
3	どちらとも言えない	59	32%
4	どちらかという不満	33	18%
5	不満	14	7%
	合計	186	100%

問13-1で2~7の回答者のうち、無回答 1



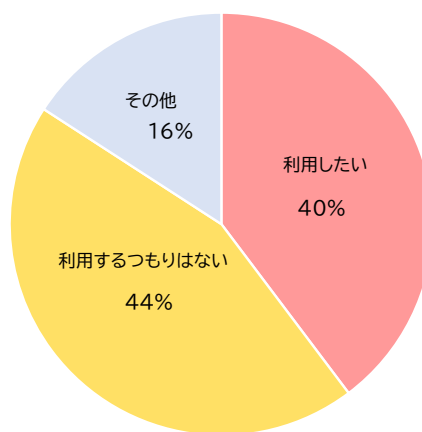
問 13-3 不満を感じる理由 (あてはまるすべて選択)

(問 13-2 で「4 どちらかという不満」もしくは「5 不満」の選択者のみ回答)



### 問 13-4 民間路線バスの今後の利用意向

	選択肢	回答数	割合
1	利用したい	332	40%
2	利用するつもりはない	371	44%
3	その他	132	16%
	合計	835	100%
	無回答	21	



#### 【「その他」における上位意見】

- ・運転できなくなったら利用したい（41件）
- ・近くにバス停があれば利用したい（26件）
- ・必要があれば利用したい（21件）

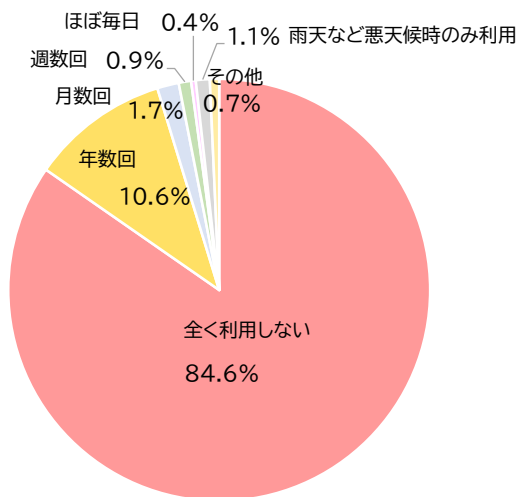
#### 【民間路線バスの利用における傾向】

- ・民間路線バスの利用頻度は、「全く利用しない」が78%、「年に数回程度」が13%となっており、9割を越える回答者が路線バスを日頃から利用していない状況にある。
- ・年一回以上利用している回答者の満足度では「満足・どちらかという満足」の合計が43%となっており、概ね満足傾向にある。
- ・不満を感じる理由で最も多く挙げたのは「運行本数が少ない」であった。
- ・今後の利用意向は「利用したい」が40%、「利用するつもりはない」が44%と、利用しない意向がやや利用したいという意向を上回る状況にある。

## 2-6. 市内循環バスの利用について

### 問 14-1 日頃の市内循環バスの利用頻度

	選択肢	回答数	割合
1	全く利用しない	715	84.6%
2	年に数回程度	90	10.6%
3	月に数回程度	14	1.7%
4	週に数回程度	8	0.9%
5	ほぼ毎日	3	0.4%
6	雨天など悪天候時のみ利用	9	1.1%
7	その他	6	0.7%
	合計	845	100%
	無回答	11	

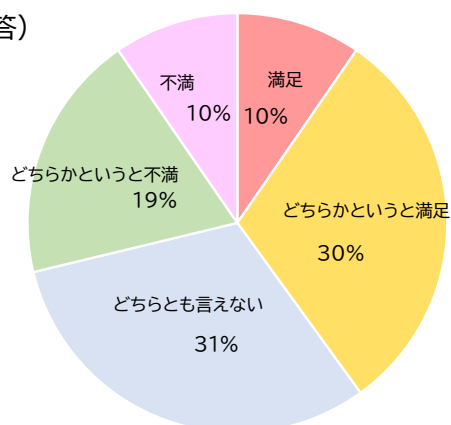


### 問 14-2 運行内容の満足度（問 14-1 で 2～7 の選択者のみ回答）

	選択肢	回答数	割合
1	満足	12	10%
2	どちらかという満足	38	30%
3	どちらとも言えない	39	31%
4	どちらかという不満	25	19%
5	不満	12	10%
	合計	126	100%

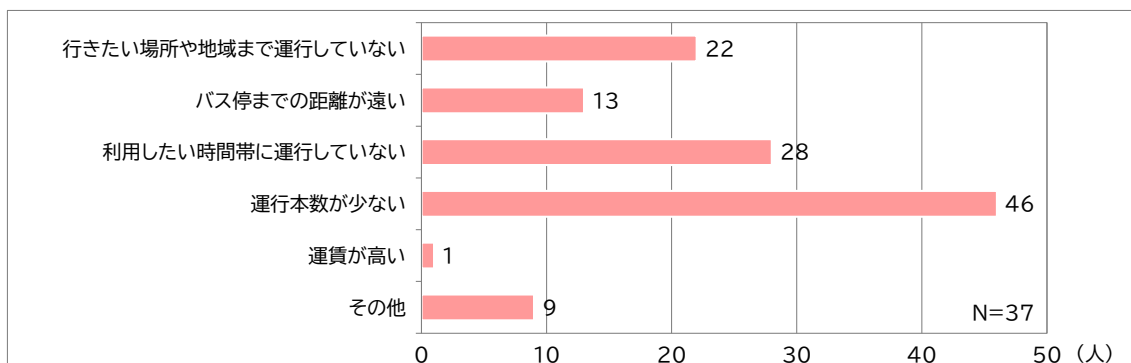
問14-1で2～7の回答者のうち、無回答

4



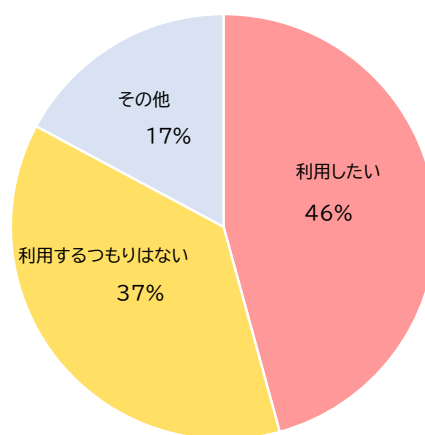
問 14-3 不満を感じる理由（あてはまるすべて選択）

（問 14-2 で「4 どちらか」という不満」もしくは「5 不満」の選択者のみ回答）



問 14-4 市内循環バスの今後の利用意向

	選択肢	回答数	割合
1	利用したい	374	46%
2	利用するつもりはない	307	37%
3	その他	142	17%
	合計	823	100%
	無回答	33	

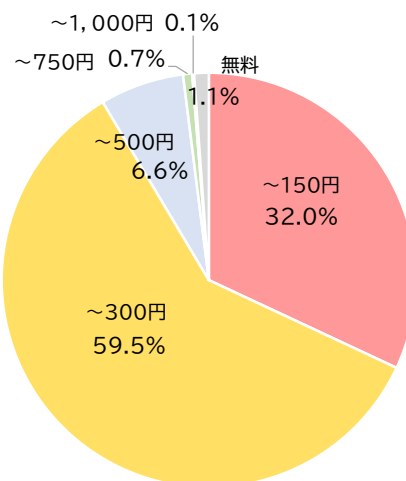


【「その他」における上位意見】

- ・運転できなくなったら利用したい（49 件）
- ・便利になったら利用したい（時間帯・増便・乗り継ぎ等）（35 件）
- ・必要があれば利用したい（25 件）

問 14-5 市内循環バス運行維持を念頭にした際の運賃上限額

	選択肢	回答数	割合
1	～150円	224	32.0%
2	～300円	417	59.5%
3	～500円	46	6.6%
4	～750円	5	0.7%
5	～1,000円	1	0.1%
6	無料	8	1.1%
	合計	701	100%
	無回答	155	



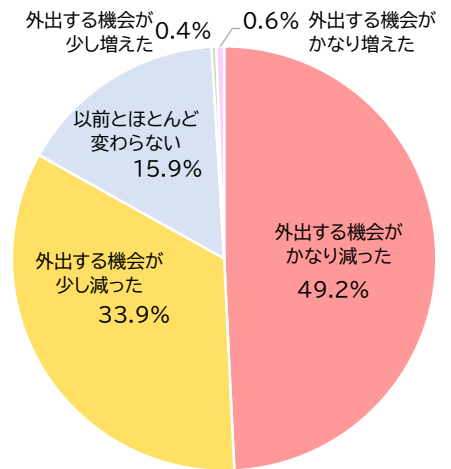
【市内循環バスの利用における傾向】

- ・市内循環バスの利用頻度は、民間路線バス同様「全く利用しない」が約 85%、「年に数回程度」が約 11%となっており、9 割を越える回答者が市内循環バスを日頃から利用していない状況にある。
- ・年一回以上利用している回答者の満足度では「満足・どちらか」と満足」の合計が 40%となっており、概ね満足傾向にある。
- ・不満を感じる理由で最も多く挙げたのは「運行本数が少ない」であった。
- ・今後の利用意向は「利用したい」が 46%、「利用するつもりはない」が 37%と、利用したい意向がやや利用しない意向を上回る状況にある。また、「運転できなくなったら利用したい」という意向も一定数ある。
- ・運行維持のための運賃上限額は「300 円まで」が 59.5%で過半数を占める結果となっている。

## 2-7. コロナ禍以降の外出状況について

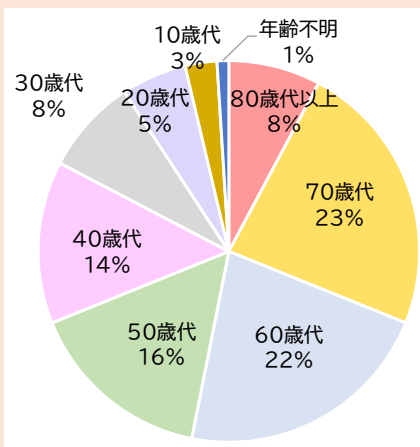
問 15 令和 2 年（2020 年）の新型コロナウイルス感染拡大後の外出の頻度の変化

	選択肢	回答数	割合
1	外出する機会がかなり減った	417	49.2%
2	外出する機会が少し減った	287	33.9%
3	以前とほとんど変わらない	135	15.9%
4	外出する機会が少し増えた	3	0.4%
5	外出する機会がかなり増えた	5	0.6%
	合計	847	100%
	無回答	9	



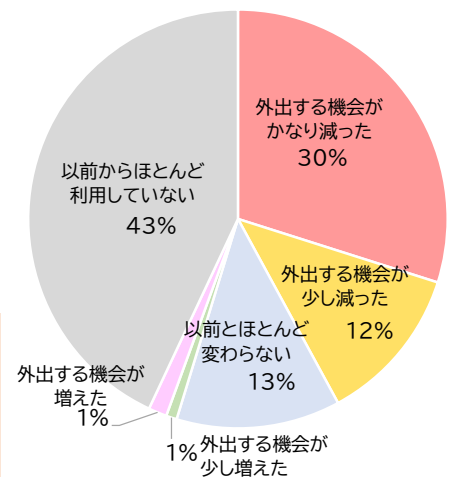
「外出機会がかなり減った・少し減った」回答者（合計）の年代別割合

選択肢	回答数	割合
80歳代以上	55	8%
70歳代	164	23%
60歳代	155	22%
50歳代	111	16%
40歳代	97	14%
30歳代	57	8%
20歳代	39	5%
10歳代	19	3%
年齢不明	7	1%
合計	704	100%



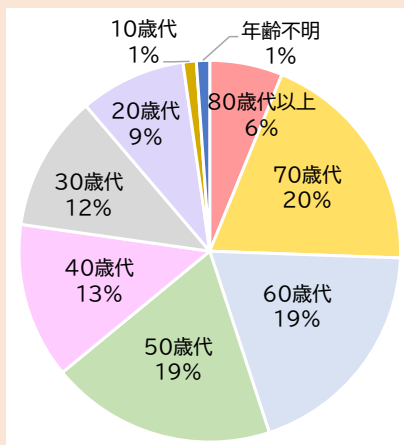
問 16 令和 2 年（2020 年）の新型コロナウイルス感染拡大後の公共交通の利用頻度の変化

	選択肢	回答数	割合
1	利用する機会がかなり減った	253	30%
2	利用する機会が少し減った	103	12%
3	以前とほとんど変わらない	107	13%
4	利用する機会が少し増えた	7	1%
5	利用する機会が増えた	12	1%
6	以前からほとんど利用していない	364	43%
	合計	846	100%
	無回答	10	



「公共交通の利用機会がかなり減った・少し減った」回答者（合計）の年代別割合

選択肢	回答数	割合
80歳代以上	22	6%
70歳代	69	19%
60歳代	69	19%
50歳代	68	19%
40歳代	47	14%
30歳代	41	12%
20歳代	32	9%
10歳代	4	1%
年齢不明	4	1%
合計	356	100%

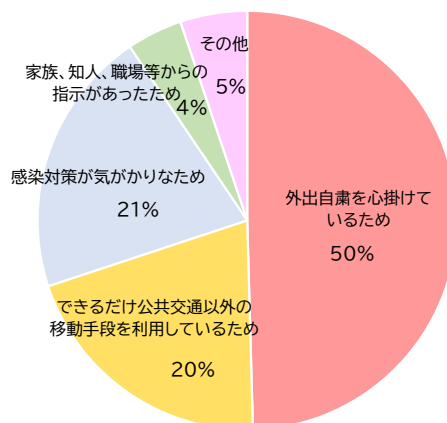


### 問 17 公共交通の利用機会が減った理由

(問 16 で「1 利用する機会がかなり減った」もしくは「2 利用する機会が少し減った」の選択者のみ回答)

	選択肢	回答数	割合
1	外出自粛を心掛けているため	173	50%
2	できるだけ公共交通以外の移動手段を利用しているため	71	20%
3	感染対策が気がかりなため	72	21%
4	家族、知人、職場等からの指示があったため	15	4%
5	その他	18	5%
	合計	349	100%

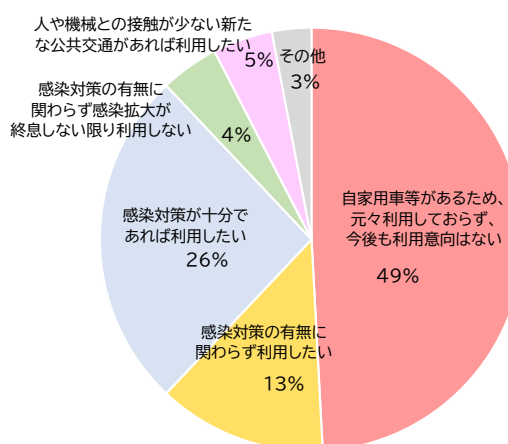
問16で1もしくは2の回答者のうち、無回答 6



【「その他」における上位意見】  
・テレワーク、オンライン授業のため (9 件)

### 問 18 引き続き感染対策が必要となる状況下での公共交通の利用について

	選択肢	回答数	割合
1	自家用車等があるため、元々利用しておらず、今後も利用意向はない	408	49%
2	感染対策の有無に関わらず利用したい	107	13%
3	感染対策が十分であれば利用したい	215	26%
4	感染対策の有無に関わらず感染拡大が終息しない限り利用しない	37	4%
5	人や機械との接触が少ない新たな公共交通があれば利用したい	38	5%
6	その他	25	3%
	合計	830	100%



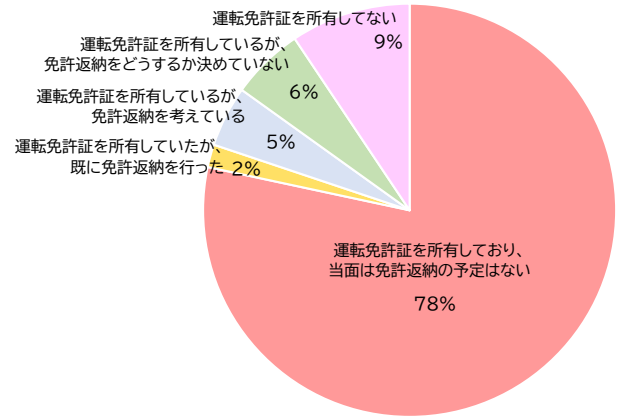
#### 【コロナ禍以降の外出状況における傾向】

- ・外出機会の変化は「かなり減った」と「少し減った」の回答者の合計が 8 割を超えており、特に 60 歳代以上の高齢世代の外出機会が減少傾向にあることがうかがえる。
- ・公共交通の利用機会の変化は、「以前からほとんど利用していない」が 43%と最も多く、さらに「かなり減った」と「少し減った」の回答者の合計が 42%となっており、全体的に利用者の減少がコロナ禍により加速傾向にあることがうかがえる。また、外出機会減少の理由は、「外出自粛を心掛けているため」が半数を占めている。
- ・今後の公共交通の利用については、「自家用車等があるため元々利用しておらず、今後も利用意向はない」が約半数を占めており、**市民の公共交通の利用離れが課題と言える。**

## 2-8. 運転免許証の自主返納とデマンドタクシーについて

### 問 19 運転免許証の所有状況と返納について

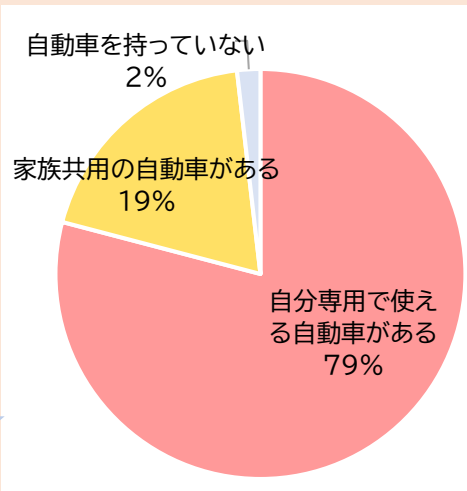
	選択肢	回答数	割合
1	運転免許証を所有しており、当面は免許返納の予定はない	660	78%
2	運転免許証を所有していたが、既に免許返納を行った	15	2%
3	運転免許証を所有しているが、免許返納を考えている	40	5%
4	運転免許証を所有しているが、免許返納をどうするか決めていない	49	6%
5	運転免許証を所有していない	79	9%
	合計	843	100%
	無回答	13	



「運転免許証を所有しており、当面は免許返納の予定はない」

回答者の自動車の所有状況（問 1-8 結果より）

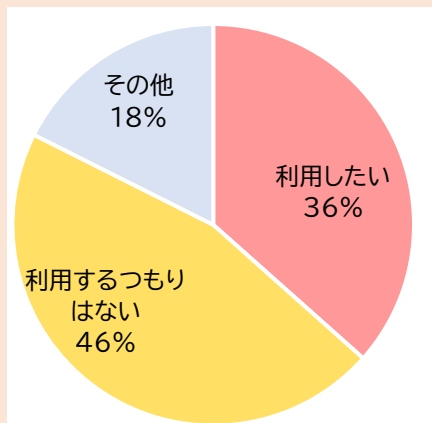
	選択肢	回答数	割合
1	自分専用で使える自動車がある	518	79%
2	家族共用の自動車がある	125	19%
3	自動車を持っていない	12	2%
	合計	655	100%
	無回答	5	



民間路線バスの今後の利用意向

（問 13-4 結果より）

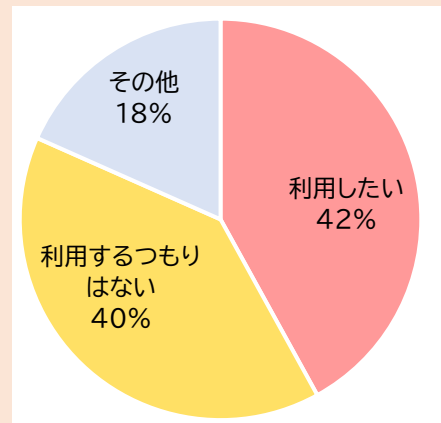
	選択肢	回答数	割合
1	利用したい	237	37%
2	利用するつもりはない	297	46%
3	その他	114	17%
	合計	648	100%
	無回答	12	



市内循環バスの今後の利用意向

（問 14-4 結果より）

	選択肢	回答数	割合
1	利用したい	270	42%
2	利用するつもりはない	255	40%
3	その他	118	18%
	合計	643	100%
	無回答	17	



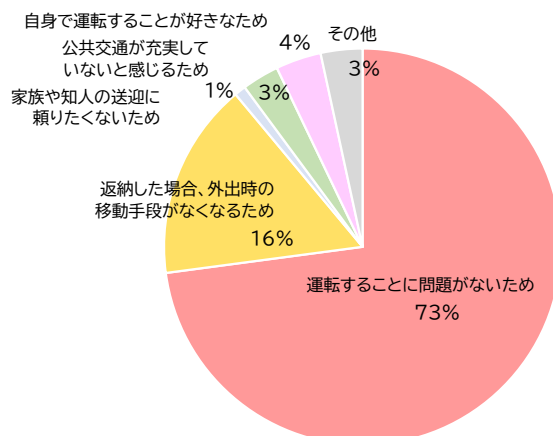
問 20 運転免許証を返納しない理由

(問 19 で「1 運転免許証を所有しており当面は返納の予定はない」の選択者のみ回答)

	選択肢	回答数	割合
1	運転することに問題がないため	472	73%
2	返納した場合、外出時の移動手段がなくなるため	104	16%
3	家族や知人の送迎に頼りたくないため	6	1%
4	公共交通が充実していないと感じるため	23	3%
5	自身で運転することが好きのため	24	4%
6	その他	22	3%
	合計	651	100%

問19で1の回答者のうち、無回答

9



問 21 運転免許証自主返納後に最も多く利用する（利用したい）移動手段

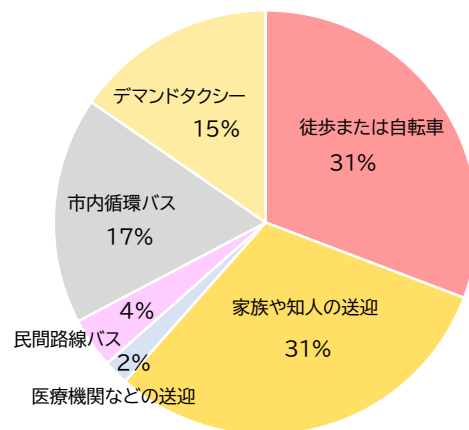
(問 19 で「2 運転免許証を所有していたが既に免許返納を行った」もしくは

「3 運転免許証を所有しているが免許返納を考えている」の選択者のみ回答)

	選択肢	回答数	割合
1	徒歩または自転車	16	31%
2	家族や知人の送迎	16	31%
3	医療機関などの送迎	1	2%
4	鉄道	0	0%
5	民間の路線バス	2	4%
6	市内循環バス	9	17%
7	デマンドタクシー	8	15%
8	タクシー(デマンドタクシー以外)	0	0%
9	その他	0	0%
	合計	52	100%

問19で2もしくは3の回答者のうち、無回答

3

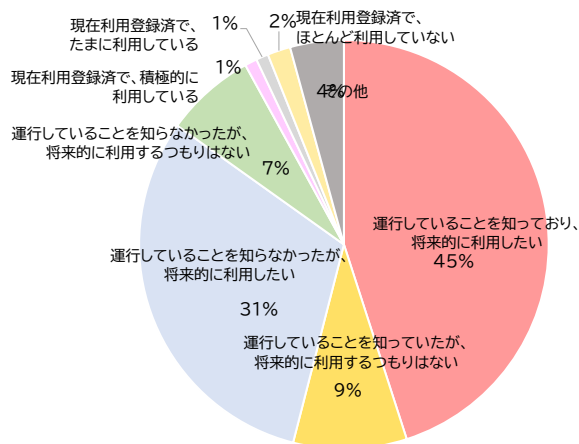


問 22 「行田市デマンドタクシー」について、考えや利用状況に最も近いもの

	選択肢	回答数	割合
1	運行していることを知っており、将来的に利用したい	372	45%
2	運行していることを知っていたが、将来的に利用するつもりはない	74	9%
3	運行していることを知らなかったが、将来的に利用したい	255	31%
4	運行していることを知らなかったが、将来的に利用するつもりはない	59	7%
5	現在利用登録済で、積極的に利用している	8	1%
6	現在利用登録済で、たまに利用している	8	1%
7	現在利用登録済だが、ほとんど利用していない	15	2%
8	その他	35	4%
	合計	826	100%

無回答

30

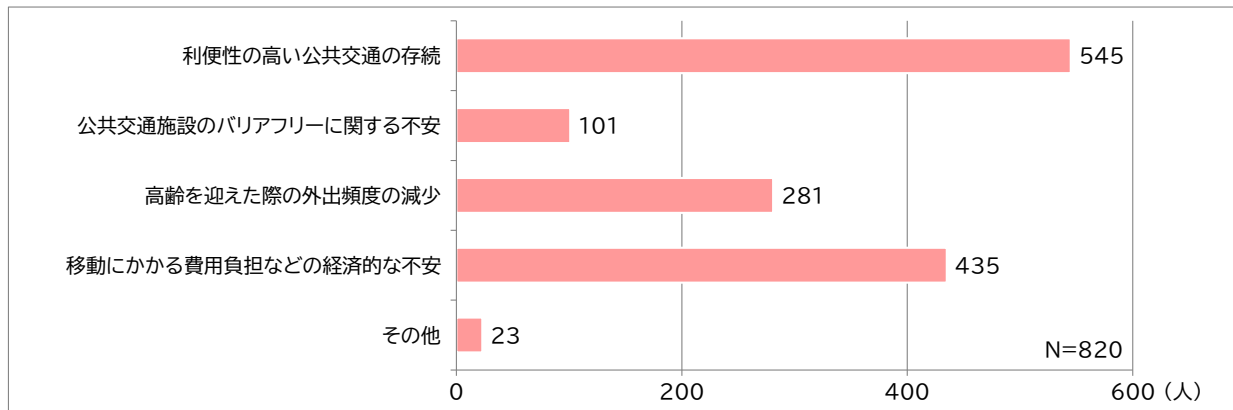


**【運転免許証の自主返納とデマンドタクシーにおける傾向】**

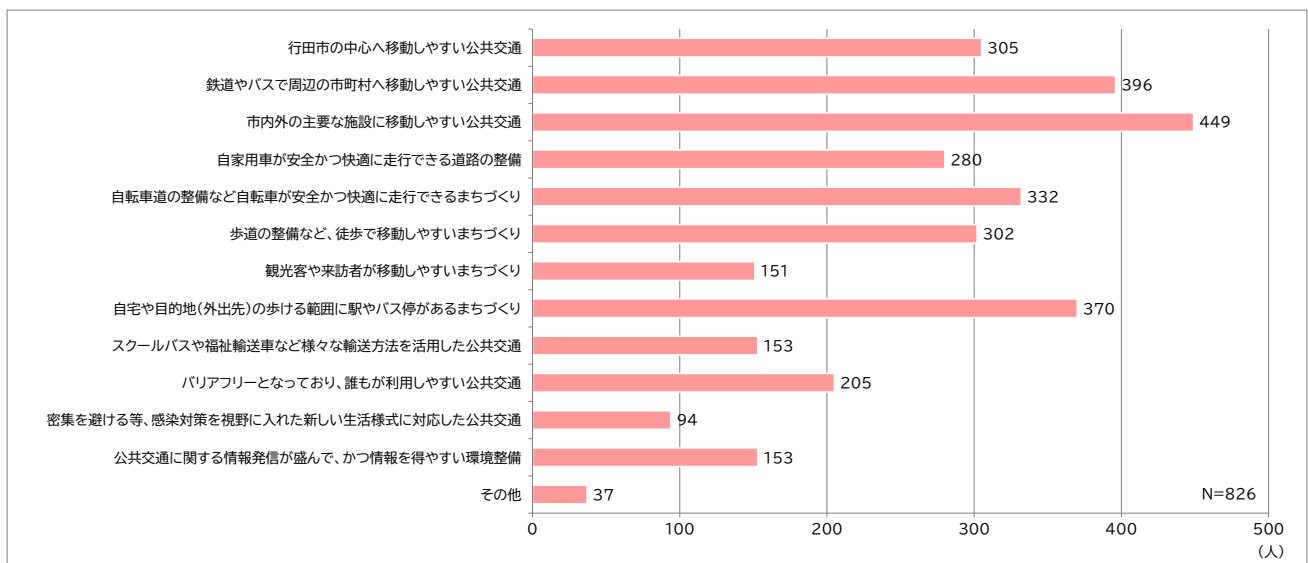
- ・運転免許証の返納意思については、「当面は返納の予定はない」と考える回答者が約 8 割を占めており、高い自動車依存がうかがえる。また、返納しない理由は「運転することに問題がないため」が約 7 割で最も多く、「公共交通が充実していないため」と考える人は少ない。
- ・返納の予定はないと考える回答者の約 8 割が自分専用の自動車を所有している。また、そのうち約 4 割が今後民間路線バス、市内循環バスを利用したいと考えていることから、安心して免許返納が出来る環境づくりが求められている。
- ・デマンドタクシーの利用意向については、現状の利用者を除き、「将来的に利用したい」と考える人は 76%に及んでおり、高い関心がうかがえる。一方、「運行していることを知らなかった」と回答した人は 38%で、今後の活発な周知促進等の PR が課題と言える。

## 2-9. 行田市の公共交通のあり方について

### 問 23 将来の移動に対する不安（あてはまるすべて選択）



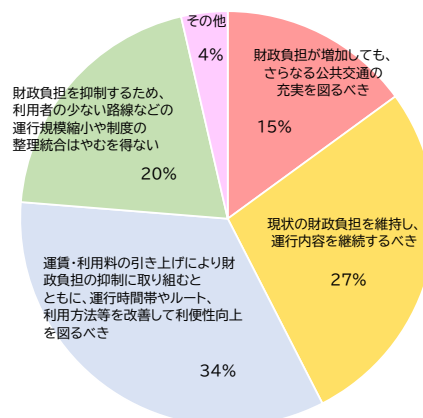
### 問 24 行田市がめざすべき交通サービスのあり方（あてはまるすべて選択）





問 25 公共交通に対する財政負担の考え方（令和元～3年度の市拠出金額を参考に回答）

	選択肢	回答数	割合
1	財政負担が増加しても、さらなる公共交通の充実を図るべき	116	15%
2	現状の財政負担を維持し、運行内容を継続するべき	213	27%
3	運賃・利用料の引き上げにより財政負担の抑制に取り組むとともに、運行時間帯やルート、利用方法等を改善して利便性向上を図るべき	262	34%
4	財政負担を抑制するため、利用者の少ない路線などの運行規模縮小や制度の整理統合はやむを得ない	160	20%
5	その他	28	4%
	合計	779	100%
	無回答	77	



【行田市の公共交通のあり方について】

- ・将来の移動に対する不安は、「利便性の高い公共交通の存続」が最も多く、次いで「移動にかかる費用負担などの経済的な不安」となっている。
- ・行田市がめざすべき交通サービスのあり方については、「市内外の主要な施設に移動しやすい公共交通」が最も多く、次いで「鉄道やバスで周辺の市町村へ移動しやすい公共交通」となっている。この結果から、近隣の市町村、主要施設までの移動手段の維持、確保を望む意向が多いことがうかがえる。
- ・財政負担の考え方は、運賃引き上げによる財政負担抑制と同時に、公共交通の内容を改善し利便性向上を図るべきとの意見が最も多い。

### 3 アンケート結果のまとめ

《顕著な自動車依存度の高さ》

- ・大多数の回答者が自動車の運転免許証を所有しており、かつ自分専用で使える自動車の所有率も高い状況にある。このことから多くの市民が日常的な移動手段において自家用車に依存している状況がうかがえる。

《日常の移動について》

- ・市民の主な外出目的は、「通勤・通学」が約半数を占め、次いで「買物」となっている。同時に、「行くのが便利だと暮らしやすいと感じる施設」は、「商業施設（大型複合店等）」が他の選択肢に比べ多く、次いで「医療施設」、「金融施設」、「商業施設（コンビニ等）」の順となっている。このことから、通勤・通学といった日々の移動を含め、商業施設、医療機関等の生活利便施設へのアクセスが快適であることが市民に重要視されていることがうかがえる。

《鉄道駅の利用状況》

- ・JR 行田駅について「ほとんど利用しない」の回答者が 8 割を占めており、利用状況の停滞、減少が課題と言える。また、JR 駅については JR 吹上駅を利用している市民が一定数あり、本市にとって JR 行田駅の存在意義及び存在価値といった根本的な部分を高めていく必要があると言える。
- ・市内秩父鉄道駅の利用頻度も同様、「ほとんど利用しない」の回答者が 8 割を占めており、理由も上記と同様である。
- ・鉄道の利用機会の低下は、上記に整理した自動車依存の高さに由来するものと予想できる。

《公共交通の利用傾向》

- ・公共交通の利用頻度は、鉄道同様「ほとんど利用しない」が 7 割を占めており、その理由は「自家用車の移動が当た

り前で公共交通利用の選択肢が無い」が 8 割を占めている。「公共交通を利用する際の主な交通手段」についても「ほとんど利用しないため該当なし」が 3 割程度あり、日頃全く公共交通を利用しない市民が一定数あることがうかがえ、公共交通存続においてやや深刻な状況と言える。

- ・民間路線バス、市内循環バスともに、回答者の利用頻度は、9 割を越える回答者が日頃から利用していない状況にある。
- ・民間路線バス、市内循環バスともに、運行において不満に感じる理由で最も多く挙げたのは、「運行本数が少ない」であった。
- ・民間路線バスの今後の利用意向は、利用しない> 利用したいという状況にある。
- ・市内循環バスの今後の利用意向は、利用したい> 利用しないという状況にある。また、「運転できなくなったら利用したい」という意向も一定数ある。
- ・運行維持のための運賃上限額は、「300 円まで」が 59.5%で過半数を占める結果となっている。
- ・デマンドタクシーの利用意向については、現状の利用者を除き、「将来的に利用したい」と考える人は 76%に及んでおり、高い関心がうかがえる。一方、「運行していることを知らなかった」と回答した人は 38%で、今後の活発な周知促進等の PR が課題と言える。

#### 《コロナ禍以降の外出状況における傾向》

- ・外出機会の変化は、特に 60 歳代以上の高齢世代の外出機会が減少傾向にあることがうかがえる。
- ・公共交通の利用機会の変化は、全体的に利用者の減少がコロナ禍により加速傾向にあることがうかがえる。また、外出機会減少の理由は、「外出自粛を心掛けているため」が半数を占めている。
- ・今後の公共交通の利用については、「自家用車等があるため元々利用しておらず、今後も利用意向はない」が約半数を占めており、市民の公共交通の利用離れが危惧される状況にある。

#### 《運転免許証の自主返納における意向》

- ・運転免許証の返納意思については、「当面は返納の予定はない」と考える回答者が約 8 割を占めており、高い自動車依存がうかがえる。
- ・返納の予定はないと考える回答者の約 8 割が自分専用の自動車を所有しており、そのうち約 4 割が今後民間路線バス、市内循環バスを利用したいと考えていることから、潜在需要を踏まえ安心して免許返納が出来る環境づくりが求められている。

#### 《行田市の公共交通のあり方について》

- ・行田市がめざすべき交通サービスのあり方については、近隣の市町村、主要施設までの移手段の維持、確保を望む意向が多いことがうかがえる。
- ・財政負担の考え方は、運賃引き上げによる財政負担抑制と同時に、公共交通の内容を改善し利便性向上を図るべきとの意見が最も多い。

## 章末資料

問 1-3 ② 回答者の最寄バス停一覧 ※実存確認及び正式名称確認不可のものは「不明」とした

連番	バス停名	回答数	割合
1	佐間	17	3.9%
2	佐間団地	15	3.4%
3	行田本町	14	3.2%
4	犬塚	13	3.0%
5	産業道路	13	3.0%
6	愛宕神社前	12	2.8%
7	持田三丁目	11	2.5%
8	南河原支所	11	2.5%
9	北河原	10	2.3%
10	棚田町三丁目	9	2.1%
11	勝呂住宅前	7	1.6%
12	商工センター前	7	1.6%
13	新町一丁目	7	1.6%
14	門井二丁目	7	1.6%
15	河原神社	6	1.4%
16	行田市駅	6	1.4%
17	三区	6	1.4%
18	市役所前	6	1.4%
19	泉小学校入口	6	1.4%
20	忍城	6	1.4%
21	桜町	5	1.1%
22	下忍上分	5	1.1%
23	工業団地	5	1.1%
24	行田折返し場	5	1.1%
25	諏訪	5	1.1%
26	成田	5	1.1%
27	長野ロータリー	5	1.1%
28	藤原町	5	1.1%
29	樋の上入口	5	1.1%
30	荒木天満宮前	4	0.9%
31	新町二丁目	4	0.9%
32	杉原会館前	4	0.9%
33	棚田町二丁目	4	0.9%
34	忍川橋	4	0.9%
35	緑風苑前	4	0.9%
36	JR行田駅前	3	0.7%
37	向新田	3	0.7%
38	佐門団地	3	0.7%
39	市営小橋団地	3	0.7%
40	持田駅入口	3	0.7%
41	上池守	3	0.7%
42	菅谷	3	0.7%
43	前谷東	3	0.7%
44	天満宮前	3	0.7%
45	老人福祉センター	3	0.7%

連番	バス停名	回答数	割合
46	かがやき共同作業所前	2	0.5%
47	ソシオ流通センター駅前	2	0.5%
48	押上町	2	0.5%
49	下池守	2	0.5%
50	警察署前	2	0.5%
51	行人塚	2	0.5%
52	三区南	2	0.5%
53	持田小敷田	2	0.5%
54	若小玉	2	0.5%
55	若小玉郵便局前	2	0.5%
56	城西	2	0.5%
57	城西公園前	2	0.5%
58	城南	2	0.5%
59	新田入口	2	0.5%
60	新兵衛地蔵入口	2	0.5%
61	新落合橋	2	0.5%
62	須加郵便局前	2	0.5%
63	前谷泉小学校入口	2	0.5%
64	総合教育センター	2	0.5%
65	総合福祉会館	2	0.5%
66	谷郷二丁目	2	0.5%
67	中新田	2	0.5%
68	中里	2	0.5%
69	長野一丁目	2	0.5%
70	長野新大橋	2	0.5%
71	二ノ町	2	0.5%
72	緑町	2	0.5%
73	和田	2	0.5%
74	川里工業団地	2	0.5%
75	新屋敷	1	0.2%
76	ものづくり大学入口	1	0.2%
77	下真名板	1	0.2%
78	下須戸農民センター	1	0.2%
79	下忍	1	0.2%
80	葛和田	1	0.2%
81	興徳寺前	1	0.2%
82	県営佐間団地前	1	0.2%
83	向町北	1	0.2%
84	広田	1	0.2%
85	荒木六本木	1	0.2%
86	行田病院前	1	0.2%
87	佐間団地北	1	0.2%
88	在家	1	0.2%
89	埼玉古墳公園	1	0.2%
90	埼玉小学校前	1	0.2%

連番	バス停名	回答数	割合
91	桜ヶ丘	1	0.2%
92	血尾	1	0.2%
93	市営斎条団地前	1	0.2%
94	持田一丁目	1	0.2%
95	持田南	1	0.2%
96	酒巻	1	0.2%
97	小見武蔵橋	1	0.2%
98	上和田	1	0.2%
99	新田	1	0.2%
100	須加集会所入口	1	0.2%
101	水城公園前	1	0.2%
102	菅谷南	1	0.2%
103	正福寺	1	0.2%
104	西新井	1	0.2%
105	前玉神社前	1	0.2%
106	太井	1	0.2%
107	太田公民館	1	0.2%
108	谷郷郵便局前	1	0.2%
109	長野	1	0.2%
110	長野三丁目	1	0.2%
111	渡柳・利田	1	0.2%
112	東行田駅前	1	0.2%
113	東小学校前	1	0.2%
114	藤間	1	0.2%
115	南河原公民館	1	0.2%
116	南河原幼稚園前	1	0.2%
117	忍城址・郷土博物館前	1	0.2%
118	八幡神社前	1	0.2%
119	富士見町一丁目	1	0.2%
120	武州荒木駅前	1	0.2%
121	保健センター入口	1	0.2%
122	野文化センター入口	1	0.2%
123	老人ホーム大寿荘前	1	0.2%
124	六本木	1	0.2%
125	りそな銀行前	1	0.2%
126	向山緑地	1	0.2%
127	宗泉寺	1	0.2%
128	杉戸田	1	0.2%
129	赤城	1	0.2%
130	川面橋	1	0.2%
131	総合病院前	1	0.2%
132	北根	1	0.2%
	廃止済のバス停名を回答	2	0.5%
	不明	29	6.7%
	合計	435	100%

## Ⅱ デマンドタクシー利用者アンケート調査結果

# 1 アンケート実施概要

アンケート実施期間：令和4年10月28日（発送）～11月7日（ポスト投函締切）

対象者：令和4年9月時点において行田市在住のデマンドタクシー利用登録者800人

※対象者は利用登録者の中から無作為抽出により選定し、郵送によりアンケート票を発送、回収した。

回収票数：521票（回収率65.1%）

<当報告における留意点>

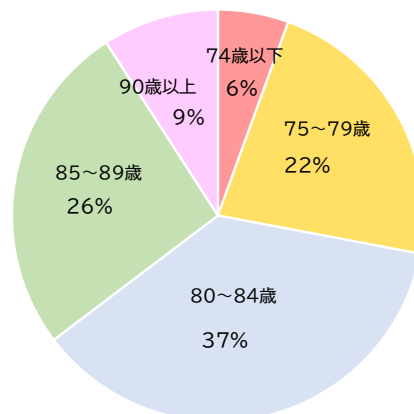
- 1.回答者割合は、小数点以下非表示とするが、「0%」となる場合のみ少数第一位まで表示
- 2.「その他」の意見は、同一内容の意見が複数挙げられた場合、上位意見として記載

# 2 アンケート結果

## 2-1. 回答者の属性

### 問1 年齢

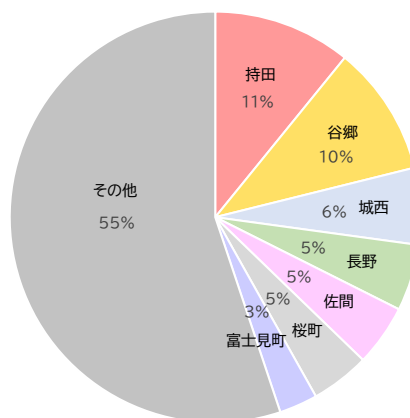
	選択肢	回答数	割合
1	74歳以下	28	6%
2	75～79歳	113	22%
3	80～84歳	185	37%
4	85歳～89歳	132	26%
5	90歳以上	46	9%
	合計	504	100%



### 問2 住まい

町丁名	回答数	割合
持田	54	11%
谷郷	51	10%
城西	30	6%
長野	26	5%
佐間	24	5%
桜町	23	5%
富士見町	15	3%
その他	274	55%
合計	497	100%

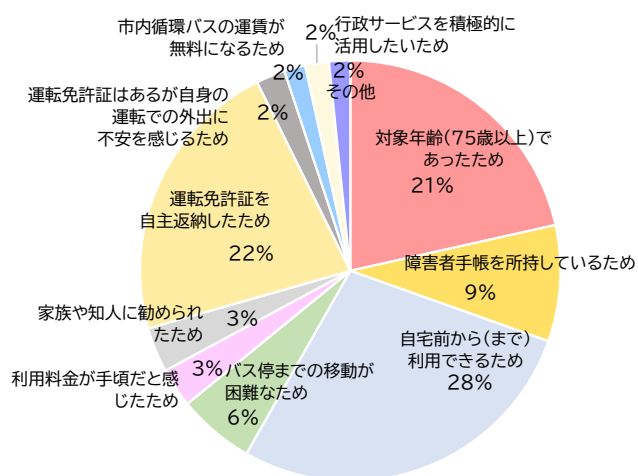
無回答 24



## 2-2. 日頃のデマンドタクシーの利用について

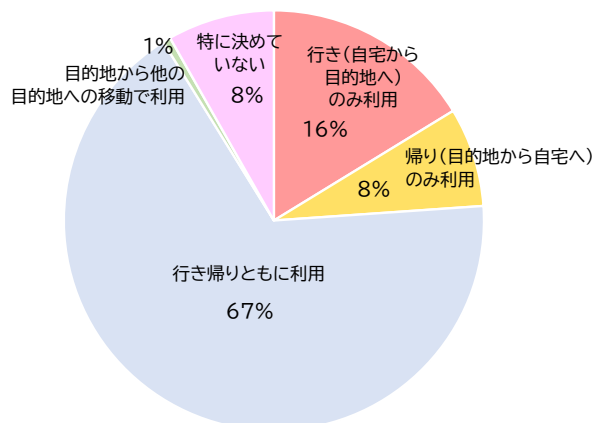
### 問3 デマンドタクシーの登録を行った理由

	選択肢	回答数	割合
1	対象年齢(75歳以上)であったため	106	21%
2	障害者手帳を所持しているため	44	9%
3	自宅前から(まで)利用できるため	137	28%
4	バス停までの移動が困難なため	29	6%
5	利用料金が手頃だと感じたため	18	3%
6	家族や知人に勧められたため	17	3%
7	運転免許証を自主返納したため	109	22%
8	運転免許証はあるが自身の運転での外出に不安を感じるため	11	2%
9	市内循環バスの運賃が無料になるため	8	2%
10	行政サービスを積極的に活用したいため	9	2%
11	その他	8	2%
	合計	496	100%
	無回答	25	

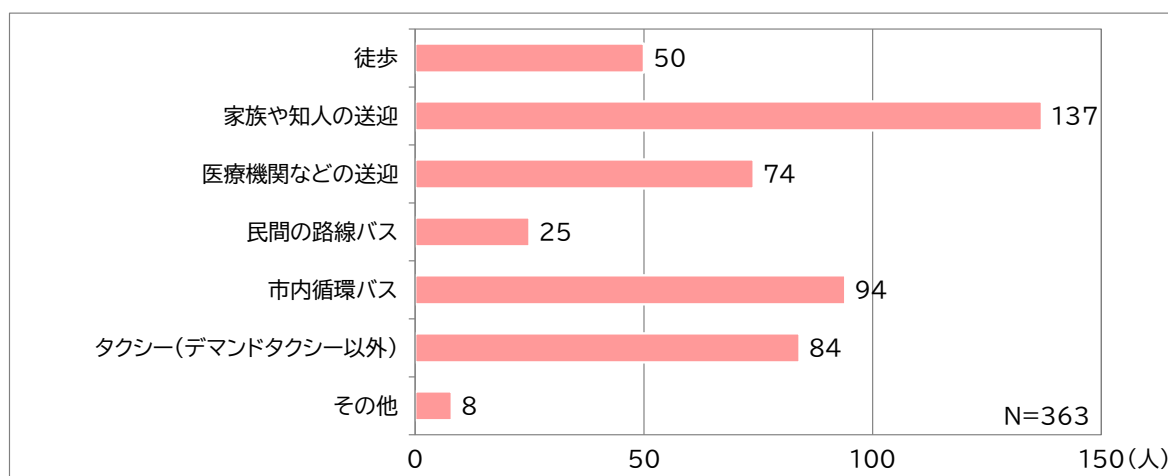


### 問4 普段デマンドタクシーを利用する際の移動パターン

	選択肢	回答数	割合
1	行き(自宅から目的地へ)のみ利用	81	16%
2	帰り(目的地から自宅へ)のみ利用	38	8%
3	行き帰りともに利用	335	67%
4	目的地から他の目的地への移動で利用	3	1%
5	特に決めていない	41	8%
	合計	498	100%
	無回答	23	



### 問5 デマンドタクシーを行きと帰りのどちらかだけ利用する場合、帰り[帰宅時]や行き[外出時]の移動手段(デマンドタクシー以外ではまるすべてを選択)



問 6 デマンドタクシーを利用してよく行く目的地 1～3 番目によく行く目的地の内容について集計)

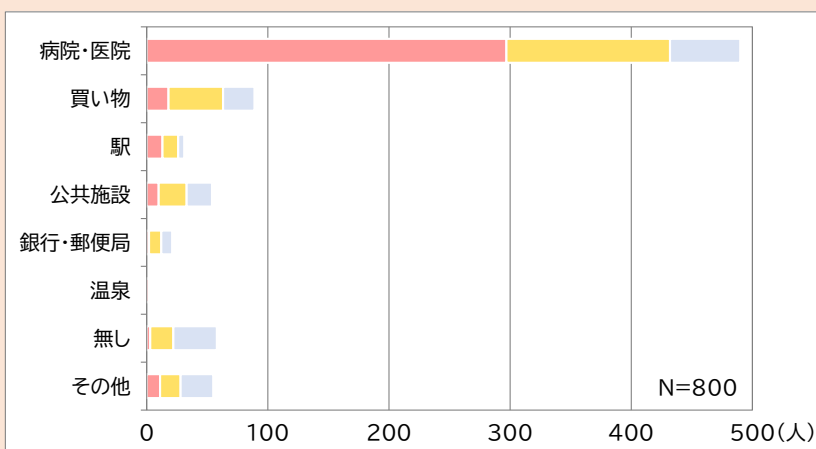
※回答者の詳細な記入内容は別頁に章末資料として記載

■ 1番よく行く目的地 ■ 2番目によく行く目的地 ■ 3番目によく行く目的地

デマンドタクシーでよく行く具体的な目的地 (記述回答をカテゴライズして集計)

	選択肢	回答数				割合
		1番目	2番目	3番目	計	
1	病院・医院	297	135	58	490	61.3%
2	買い物	18	45	26	89	11.1%
3	駅	13	13	5	31	3.9%
4	公共施設	10	23	21	54	6.7%
5	銀行・郵便局	2	10	9	21	2.6%
6	温泉	2	0	0	2	0.2%
7	無し	3	19	36	58	7.3%
8	その他	11	17	27	55	6.9%
	合計	356	262	182	800	100%

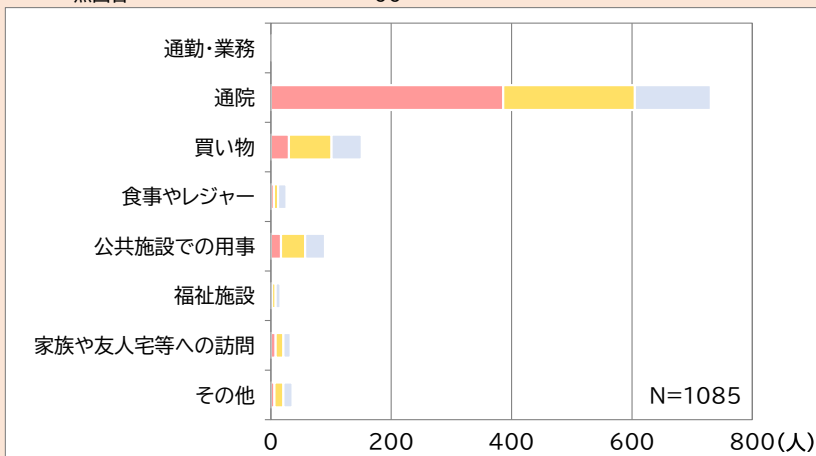
無回答 165



デマンドタクシーでよく行く目的地における外出目的

	選択肢	回答数				割合
		1番目	2番目	3番目	計	
1	通勤・業務	1	1	0	2	0.2%
2	通院	386	219	126	731	67.4%
3	買い物	30	71	50	151	13.9%
4	食事やレジャー	5	7	14	26	2.4%
5	公共施設での用事	17	40	33	90	8.3%
6	福祉施設	2	6	8	16	1.5%
7	家族や友人宅等への訪問	8	13	12	33	3.0%
8	その他	6	15	15	36	3.3%
	合計	455	372	258	1085	100%

無回答 66

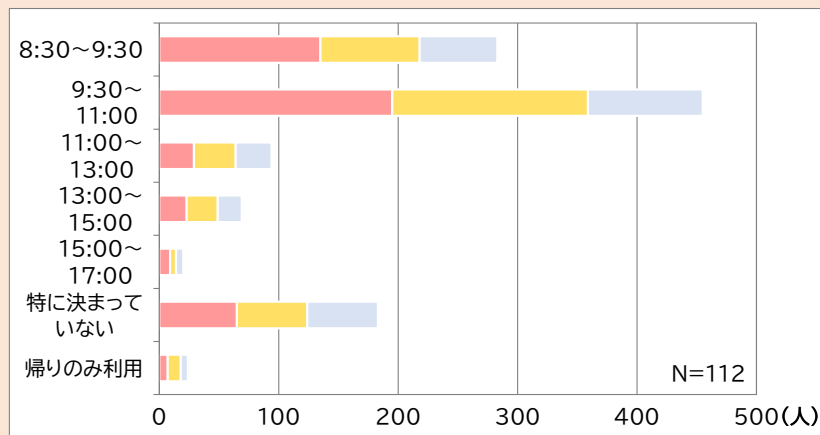


1番よく行く目的地 2番目によく行く目的地 3番目によく行く目的地

### デマンドタクシーでよく行く目的地への行きの時間帯

	選択肢	回答数				割合
		1番目	2番目	3番目	計	
1	8:30~9:30	135	83	65	283	25%
2	9:30~11:00	195	164	96	455	40%
3	11:00~13:00	29	35	30	94	9%
4	13:00~15:00	23	26	20	69	6%
5	15:00~17:00	9	5	6	20	2%
6	特に決まっていない	65	59	59	183	16%
7	帰りのみ利用	7	11	6	24	2%
	合計	463	383	282	1128	100%

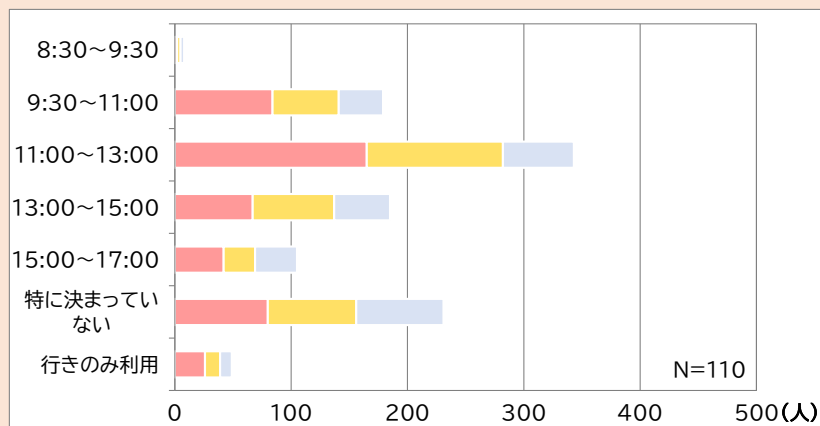
無回答 58



### デマンドタクシーでよく行く目的地からの帰りの時間帯

	選択肢	回答数				割合
		1番目	2番目	3番目	計	
1	8:30~9:30	2	3	3	8	0.7%
2	9:30~11:00	84	57	38	179	16.3%
3	11:00~13:00	165	117	61	343	31.2%
4	13:00~15:00	67	70	48	185	16.8%
5	15:00~17:00	42	27	36	105	9.5%
6	特に決まっていない	80	76	75	231	21.0%
7	行きのみ利用	26	13	10	49	4.5%
	合計	466	363	271	1100	100%

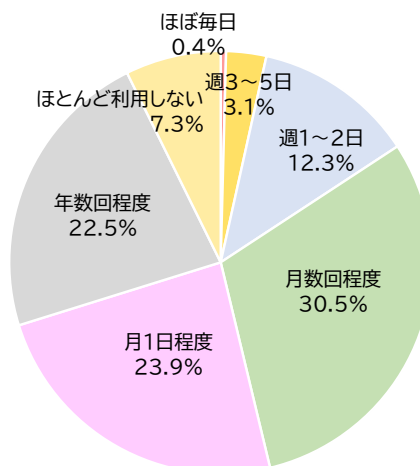
無回答 55





問 7 デマンドタクシーの利用頻度

	選択肢	回答数	割合
1	ほぼ毎日	2	0.4%
2	週3～5日	15	3.1%
3	週1～2日	60	12.3%
4	月数回程度	149	30.5%
5	月1日程度	117	23.9%
6	年数回程度	110	22.5%
7	ほとんど利用しない	36	7.3%
	合計	489	100%
	無回答	32	

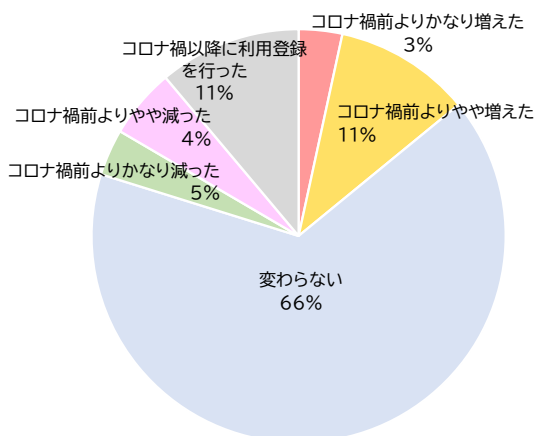


【日頃のデマンドタクシーの利用における傾向】

- ・デマンドタクシーの利用登録の理由は、「自宅前から(まで)利用できるため」が最も多く(28%)、次いで「運転免許証を自主返納したため」(22%)、「対象年齢(75歳以上)であったため」(21%)となっており、運転免許証の自主返納者の登録も一定数ある。
- ・利用パターンは、行きと帰り(往復)ともにデマンドタクシーを利用するパターンが最も多く、約7割を占めている。
- ・最も多いデマンドタクシーの利用目的は、病院等医療機関の受診を目的とした「通院」であり、8割を超える結果となっている。また、利用時間帯は9:30～11:00の時間帯が最も多く利用されている。次いで多かった目的は、「買物」となっている。
- ・2番目と3番目によく行く目的地についても、ほぼ上記と同様の傾向となっており、大多数の利用者の目的が「午前中の通院及び買物」であることがうかがえる。

問 8 令和2年(2020年)以降の新型コロナウイルス感染拡大後のデマンドタクシーの頻度の変化

	選択肢	回答数	割合
1	コロナ禍前よりかなり増えた	15	3%
2	コロナ禍前よりやや増えた	47	11%
3	変わらない	290	66%
4	コロナ禍前よりやや減った	16	4%
5	コロナ禍前よりかなり減った	24	5%
6	コロナ禍以降に利用登録を行った	49	11%
	合計	441	100%
	無回答	80	



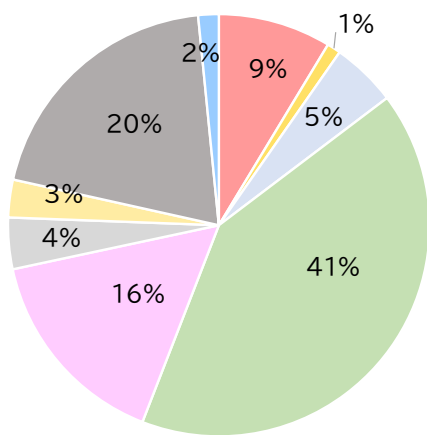
問9 問8で回答した利用頻度の変化の理由

※コロナ禍以降に利用登録した場合、利用で感じることを回答

	選択肢	回答数	割合
1	外出自粛を心掛けているため	33	9%
2	デマンドタクシーの感染対策が気になるため	4	1%
3	コロナ禍であっても変わらず利用したいと感じるため	19	5%
4	コロナ禍であっても通院等の外出せざるを得ない用事があるため	157	41%
5	自身だけでは外出が困難なので利用せざるを得ないため	60	16%
6	デマンドタクシーの感染対策が十分だと感じるため	15	4%
7	不特定多数の利用者と密にならず安心できる移動手段だと感じるため	11	3%
8	自宅から利用しやすいなどサービス内容や利用料金に魅力を感じるため	76	20%
9	その他	6	2%
	合計	381	100%

無回答

140



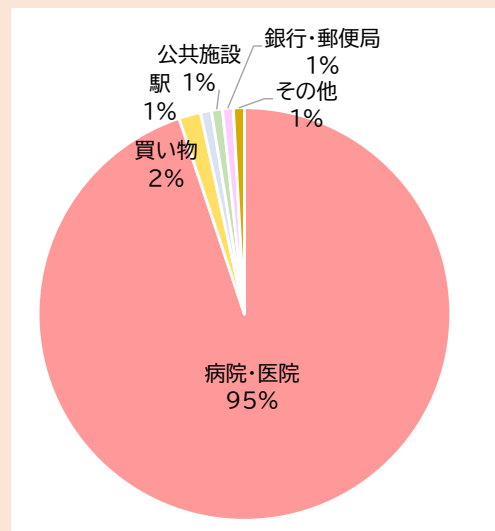
- 外出自粛を心掛けているため
- デマンドタクシーの感染対策が気になるため
- コロナ禍であっても変わらず利用したいと感じるため
- コロナ禍であっても通院等の外出せざるを得ない用事があるため
- 自身だけでは外出が困難なので利用せざるを得ないため
- デマンドタクシーの感染対策が十分だと感じるため
- 不特定多数の利用者と密にならず安心できる移動手段だと感じるため
- 自宅から利用しやすいなどサービス内容や利用料金に魅力を感じるため
- その他

「コロナ禍であっても通院等の外出せざるを得ない用事があるため」回答者の「デマンドタクシーで1番よく行く目的地」の内容（問6結果より）

	カテゴリ	回答数	割合
1	病院・医院	111	95%
2	買い物	2	2%
3	駅	1	1%
4	公共施設	1	1%
5	銀行・郵便局	1	1%
6	温泉	0	0%
7	無し	0	0%
8	その他	1	1%
	合計	117	100%

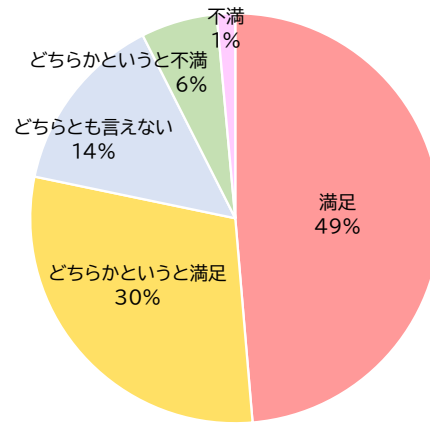
無回答

40



### 問 10 デマンドタクシーの利用満足度

	選択肢	回答数	割合
1	満足	235	49%
2	どちらかという満足	143	30%
3	どちらとも言えない	69	14%
4	どちらかという不満	29	6%
5	不満	7	1%
	合計	483	100%
	無回答	38	



#### 【主な不満の理由】

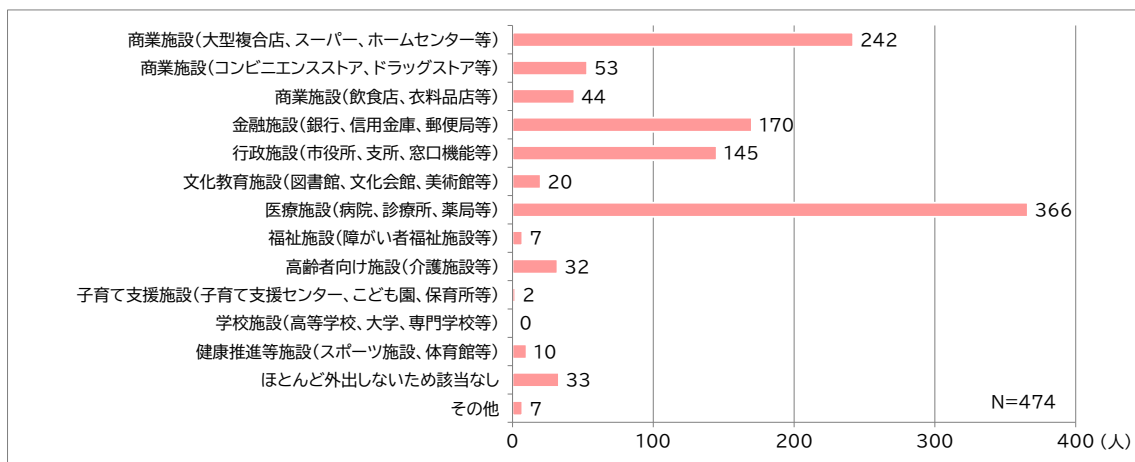
- ・利用時間が短い (10 件)
- ・予約時の電話及びドライバーの対応 (9 件)
- ・運行台数が少ないことによる待ち時間 (7 件)

#### 【コロナ禍以降の利用における傾向】

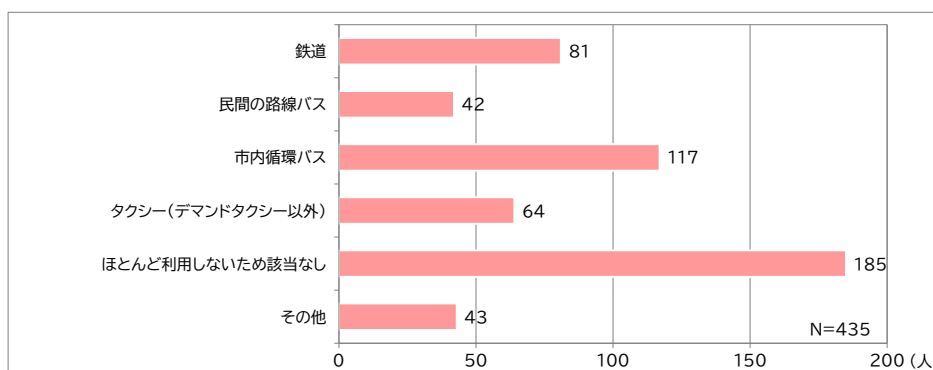
- ・外出機会の変化は「かなり減った」と「やや減った」の回答は 9%にとどまっており、「(コロナ禍前と) 変わらない」が 66%と最も多い結果となっている。その理由として、「コロナ禍であっても通院等で外出せざるを得ない」が最も多く挙げられている。
- ・デマンドタクシーの満足度は、「満足・どちらかという満足」の合計が 78%となっており、高い満足度を得ている状況にある。

## 2-3. 日頃の外出と公共交通の利用について

### 問 11 デマンドタクシーの利用に限らず行くのが便利だと暮らしやすいと感じる施設 (3 つまで選択)



### 問 12 デマンドタクシー以外で月 1 回以上利用する公共交通 (あてはまるすべて選択)

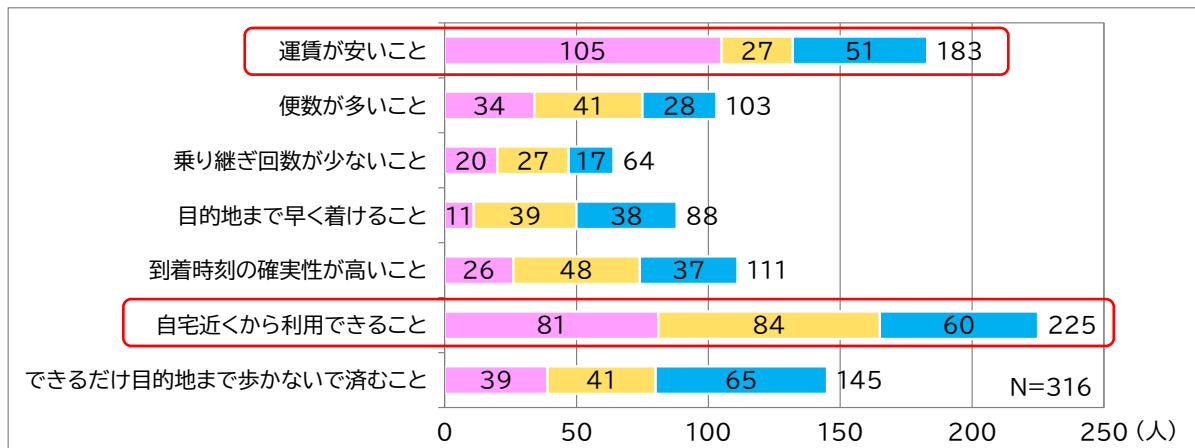


#### 【「その他」における上位意見】

- ・家族や知人などの車 (29 件)
- ・病院や施設の送迎車 (9 件)

問 13 公共交通を利用する際に重視する項目（優先順位の高い順に3つまで選択）

◆1～3 番目合計



◆1 番目に重視する項目

	選択肢	回答数	割合
1	運賃が安いこと	105	33%
2	便数が多いこと	34	11%
3	乗り継ぎ回数が少ないこと	20	6%
4	目的地まで早く着けること	11	4%
5	到着時刻の確実性が高いこと	26	8%
6	自宅近くから利用できること	81	26%
7	できるだけ目的地まで歩かないで済むこと	39	12%
	合計	316	100%
	無回答	205	

◆2 番目に重視する項目

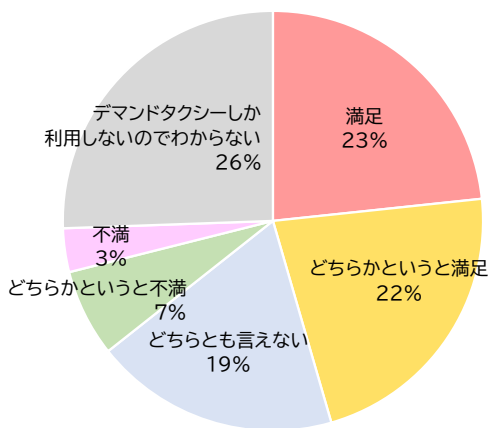
	選択肢	回答数	割合
1	運賃が安いこと	27	9%
2	便数が多いこと	41	13%
3	乗り継ぎ回数が少ないこと	27	9%
4	目的地まで早く着けること	39	13%
5	到着時刻の確実性が高いこと	48	16%
6	自宅近くから利用できること	84	27%
7	できるだけ目的地まで歩かないで済むこと	41	13%
	合計	307	100%
	無回答	214	

◆3 番目に重視する項目

	選択肢	回答数	割合
1	運賃が安いこと	51	17%
2	便数が多いこと	28	9%
3	乗り継ぎ回数が少ないこと	17	6%
4	目的地まで早く着けること	38	13%
5	到着時刻の確実性が高いこと	37	13%
6	自宅近くから利用できること	60	20%
7	できるだけ目的地まで歩かないで済むこと	65	22%
	合計	296	100%
	無回答	225	

問 14 デマンドタクシー以外の行田市の公共交通の満足度

	選択肢	回答数	割合
1	満足	104	23%
2	どちらかという満足	99	22%
3	どちらとも言えない	84	19%
4	どちらかという不満	30	7%
5	不満	15	3%
6	デマンドタクシーしか 利用しないのでわからない	114	26%
	合計	446	100%
	無回答	75	



【主な不満の理由】

- ・駅及びバスの便数が少ない（19 件）
- ・駅及びバス停までが遠い（13 件）

【日頃の外出と公共交通の利用における傾向】

- ・行くのが便利だと暮らしやすいと感じる施設は、「医療施設」が他の選択肢に比べ多く、次いで「商業施設（大型複合店等）」、「金融施設」の順となっている。
- ・デマンドタクシー以外の公共交通の利用は、「ほとんど利用しないため該当なし」が最も多く、次いで「市内循環バス」、「鉄道」の順となっている。
- ・公共交通を利用する際に重視する項目として、最も多く挙げたのは「自宅近くから利用できること」であり、次いで「運賃が安いこと」、「できるだけ目的地まで歩かないで済むこと」となっている。
- ・デマンドタクシー以外の公共交通の満足度は、「満足・どちらかという満足」の合計が 45%と、やや低い結果となっており、その理由として「駅やバスの便が少ないこと」、「駅やバス停までが遠い」等が挙げられている。

### 3 アンケート結果のまとめ

#### 《デマンドタクシーの日頃の利用状況について》

- ・デマンドタクシーの利用登録の理由は、「自宅前から（まで）利用できるため」が最も多く（28%）、次いで「運転免許証を自主返納したため」（22%対象年齢（75歳以上）であったため）（21%）となっており、利用のしやすさと同時に、高齢層及び運転免許証返納者にとっても利便性のある移動手段として認識されている状況がうかがえる。
- ・最も多い利用目的は、病院等医療機関の受診を目的とした「通院」であり、8割を超える結果となっている。次いで多かった目的は、「買物」となっている。2番目と3番目によく行く目的地についても、ほぼ上記と同様の傾向となっており、大多数の利用者の目的が「午前中の通院及び買物」であることがうかがえる。

#### 《デマンドタクシー利用者のコロナ禍以降の外出状況における傾向》

- ・外出機会の変化は「（コロナ禍前と）変わらない」が最も多く約7割を占める結果となっている。その理由として、「コロナ禍であっても通院等で外出せざるを得ない」が最も多く挙げられている。その行先は「病院・医院」が大多数を占めており、デマンドタクシーは一定の利用者にとって日常的に不可欠な移動手段として定着していることがうかがえる。
- ・デマンドタクシーの満足度は約8割となっており、高い満足度を得ている状況にある。

#### 《デマンドタクシー利用者の公共交通の利用傾向》

- ・「行くのが便利だと暮らしやすいと感じる施設」は、「医療施設」が他の選択肢に比べ多く、次いで「商業施設（大型複合店等）」、「金融施設」の順となっている。
- ・デマンドタクシー以外の公共交通の利用は、「ほとんど利用しないため該当なし」が最も多く、次いで「市内循環バス」、「鉄道」の順となっている。
- ・公共交通を利用する際に重視する項目として、最も多く挙げたのは「自宅近くから利用できること」であり、次いで「運賃が安いこと」、「できるだけ目的地まで歩かないで済むこと」となっている。同時に、デマンドタクシー以外の公共交通の満足度は、「満足・どちらかという満足」の合計が45%と、やや低い結果となっている。その理由として「駅やバスの便が少ないこと」、「駅やバス停までが遠い」等が挙げられており、特に高齢者にとって駅やバス停が身近に無いことから不便を感じている利用者が多いことがうかがえる。

# 章末資料

## 問 6 デマンドタクシーでよく行く目的地一覧 ※回答者記入のまま集計

【一番目/具体的な目的地】	カテゴリ		
和田歯科医院	病院・医院	行田総合病院(行田クリニック)行田中央総合病院	病院・医院
理容店	その他	行田総合病院(行田クリニック)	病院・医院
門井二丁目バス停(コインランドリー)	その他	行田総合病院(クリニック)	病院・医院
茂美の湯	温泉	行田総合病院 行田中央病院	病院・医院
北里メディカルセンター(使えない)	病院・医院	行田総合病院 行田クリニック 行田持田 行田中央病院富士見町	病院・医院
病院、スーパー	病院・医院	行田総合病院 行田クリニック	病院・医院
病院 買物	病院・医院	行田総合病院	病院・医院
病院 総行病院 整形外科 カインズ 美容室	病院・医院	行田総合行田病院	病院・医院
病院	病院・医院	行田総業病院(クリニック)	病院・医院
買物ニイク	買い物	行田市内 内科医院	病院・医院
買物	買い物	行田市内 谷郷 小林内科	病院・医院
特になし	無し	行田市内	その他
湯本温泉	その他	行田市長野	その他
東行田駅秩父線 熊谷駅	駅	行田市教育センター	公共施設
坪山整形外科	病院・医院	行田市まきば園	その他
通院、熊谷市、五十嵐医院 上之520-1	病院・医院	行田協立診療所	病院・医院
通院(タウチクリニック)	病院・医院	行田駅から自宅まで	駅
通院	病院・医院	行田駅	駅
長野公民館(月2回コース)	公共施設	行田クリニック病院	病院・医院
長野ヘルク	買い物	行田クリニック及び行田病院	病院・医院
中央病院 池畑クリニック	病院・医院	行田クリニック(総合病院も)	病院・医院
中央病院	病院・医院	行田クリニック 行田中央病院	病院・医院
池畑病院	病院・医院	行田クリニック 行田中央総合 ヘルク	病院・医院
池畑医院	病院・医院	行田クリニック 行田総合病院	病院・医院
太宮市	その他	行田クリニック やなせ眼科 ヘルク	病院・医院
足立歯科医院	病院・医院	行田クリニック	病院・医院
壮幸会行田病院	病院・医院	江原歯科医院	病院・医院
壮幸会 病院	病院・医院	古田整形外科	病院・医院
壮幸会 行田総合病院	病院・医院	古田整形	病院・医院
壮幸会 行田クリニック 行田総合病院	病院・医院	慶應義塾大学病院	病院・医院
壮幸会 行田クリニック	病院・医院	栗原医院	病院・医院
壮幸会	病院・医院	熊谷総合病院	病院・医院
石井クリニック(今のところどうにか自立できているので今迄1回)	病院・医院	熊谷市内病院	病院・医院
石井クリニック	病院・医院	熊総	病院・医院
清瀬(東京に用事がある時の為、清瀬に借家あり)往復に時間がかかる為←	その他	銀行 郵便局	銀行・郵便局
図書館(みらい)	公共施設	眼科	病院・医院
図書館(ミライ)	公共施設	外科病院	病院・医院
上尾中央総合病院	病院・医院	家族や友人宅等への訪問	その他
上杉歯科	病院・医院	加藤内科医院	病院・医院
松原医院 よつば薬局隣	病院・医院	加藤内科	病院・医院
松原医院	病院・医院	加藤医院	病院・医院
松原医	病院・医院	下忍	その他
小林内科医院	病院・医院	駅	駅
小林内科	病院・医院	羽生病院	病院・医院
小林医院	病院・医院	医者、通院	病院・医院
小沼歯科医院	病院・医院	医者	病院・医院
歯科医院	病院・医院	栗原眼科病院(羽生)行田市駅まで利用する。	病院・医院
市役所、病院	公共施設	りそな銀行	銀行・郵便局
市役所	公共施設	やまかわ内科クリニック	病院・医院
市内中心地	その他	やまかわ・行田中央病院	病院・医院
市内	その他	やすかわ内科クリニック 行田総合病院壮幸会	病院・医院
山川内科クリニック	病院・医院	ヤオコー藤原町店	買い物
山川医院 足立医院(歯)	病院・医院	ヤオコーカドイ店	買い物
山川クリニック 羽生栗原眼科	病院・医院	みろい	公共施設
山川クリニック	病院・医院	ほりの眼科	病院・医院
桜ヶ丘公民館	公共施設	ホームセンター	買い物
埼玉県立呼吸器病循環器センター、松原医院	病院・医院	ベルク(長野)	買い物
埼玉医科大学病院(毛呂山町)	病院・医院	ベルク ウェルシア	買い物
坂本眼科 行田中央病院	病院・医院	ベルク	買い物
坂本眼科	病院・医院	ベイシャ歯医者	買い物
細沼耳鼻科	病院・医院	ふじの歯科	病院・医院
済生会鴻巣病院	病院・医院	なす病院	病院・医院
今現在利用していない。	無し	なし	無し
行田病院 中央病院	病院・医院	デイツー(行田店)	買い物
行田病院 石井クリニック ハピネス	病院・医院	たけうち呼吸と内科のクリニック	病院・医院
行田病院 以前はみらいの前からの循環バスは無くなりましたのでデマンドを利用しています	病院・医院	スーパーマーケット	買い物
行田病院	病院・医院	スーパーヘルク	買い物
行田中央病院 ナスクリニック 石井クリニック	病院・医院	スーパー 病院(中央総合病院)	買い物
行田中央病院 コロナ予防接種でお願いします	病院・医院	スーパー	買い物
行田中央病院	病院・医院	さきたまクリニック病院	病院・医院
行田中央総合病院 半年に1度の整形外科診療は午後の利用あり	病院・医院	さきたまクリニック	病院・医院
行田中央総合病院	病院・医院	さかつめ内科医院	病院・医院
行田中央総合病院	病院・医院	コンビニ、通販の支拂い	買い物
行田中央総合病院	病院・医院	コミュニティーセンターみずしろ	公共施設
行田総合病院毎月1回は行く	病院・医院	行田ふれあいクリニック	病院・医院
行田総合病院附属行田クリニック	病院・医院	いわね内科クリニック	病院・医院
行田総合病院等	病院・医院	イシイクリニック	病院・医院
行田総合病院、石井クリニック	病院・医院	JR吹上駅	駅
行田総合病院、行田中央病院	病院・医院	JR行田駅	駅
行田総合病院、熊谷総合病院	病院・医院	②通院 行田総合病院(壮幸会)	病院・医院
行田総合病院、やなせ眼科	病院・医院	①行田総合病院②市役所③いつもではない、その時により鍼灸室	病院・医院
行田総合病院、ベイシア、タクシーで熊谷市藤間病院	病院・医院	〇〇クリニック	病院・医院
行田総合病院(行田クリニックを含む)	病院・医院	たけうち呼吸と内科クリニック(緊急の時のみ)・サン美容室	病院・医院

### Ⅲ 路線バス利用に関するアンケート調査結果



# 1 アンケート実施概要


アンケート実施日程：11月8日（火） 平日1日で実施

7:00～19:00 の概ね 12 時間

調査方法・対象者： 調査員の声かけにより、これから路線バスを利用する乗客（行田市民以外も対象とし、年齢は目視により高校生以上）であることを確認したうえで、調査票を配布。回答者および調査員のヒアリングによる記入、もしくはアンケート票内に記載のQRコードの読み取りによるWEB回答で回答を得た。

回収票数：202票（うちWEB回答8票）

調査地点バス停：①吹上駅 ②長野一丁目 ③忍城 ④南河原支所 ⑤産業道路 ⑥行田市駅

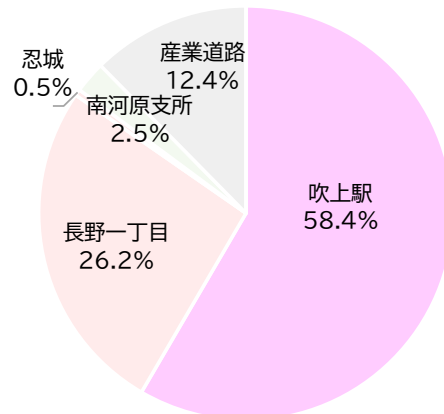
：調査実施バス停



## 2 アンケート結果

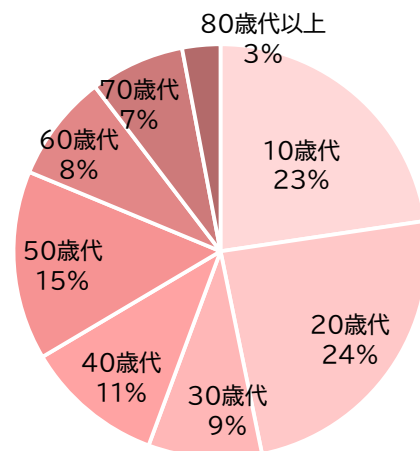
### 調査地点別回答者数

	選択肢	回答数	割合
1	吹上駅	118	58.4%
2	長野一丁目	53	26.2%
3	忍城	1	0.5%
4	南河原支所	5	2.5%
5	産業道路	25	12.4%
6	行田市駅	0	0.0%
	合計	202	100%



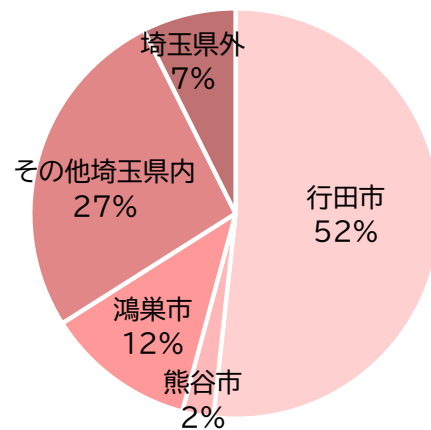
### 問1 年齢

	選択肢	回答数	割合
1	10歳代	46	23%
2	20歳代	49	24%
3	30歳代	18	9%
4	40歳代	22	11%
5	50歳代	30	15%
6	60歳代	17	8%
7	70歳代	15	7%
8	80歳代以上	5	3%
	合計	202	100%



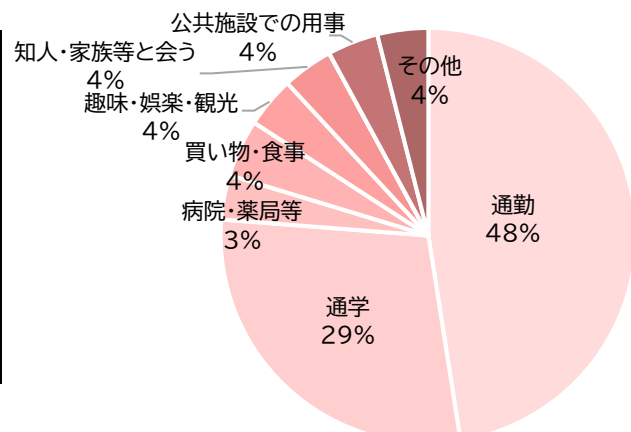
### 問2 住まい

	選択肢	回答数	割合
1	行田市	104	52%
2	熊谷市	5	2%
3	鴻巣市	24	12%
4	その他埼玉県内	54	27%
5	埼玉県外	15	7%
	合計	202	100%



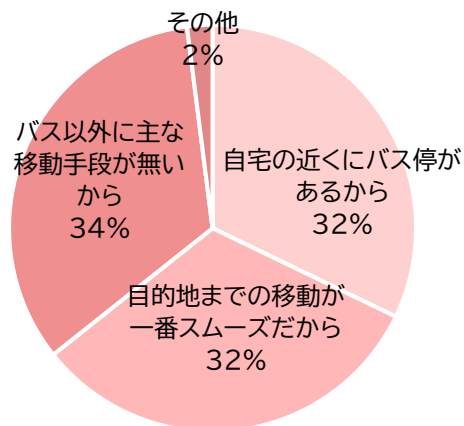
### 問3 本日（調査実施日）の外出目的

	選択肢	回答数	割合
1	通勤	96	48%
2	通学	58	29%
3	病院・薬局等	7	3%
4	買い物・食事	9	4%
5	趣味・娯楽・観光	8	4%
6	知人・家族等と会う	8	4%
7	金融機関等での用事	0	0%
8	福祉施設等での用事	0	0%
9	公共施設での用事	8	4%
10	その他	8	4%
	合計	202	100%

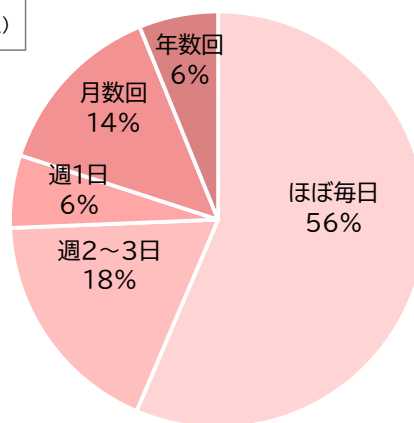
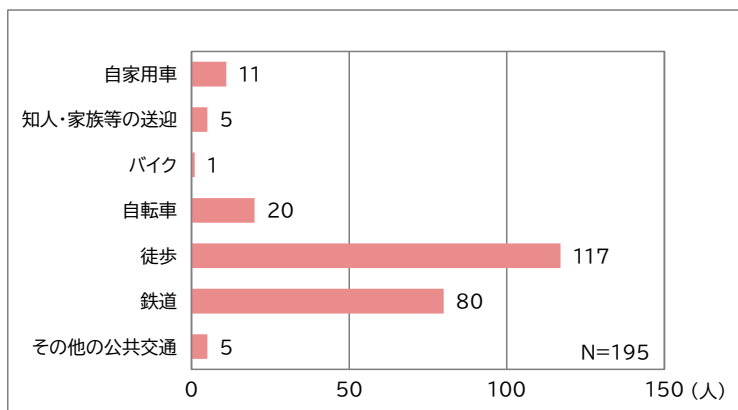


問4 本日（調査実施日）の路線バスを利用する理由

選択肢	回答数	割合
1 自宅の近くにバス停があるから	64	32%
2 目的地までの移動が一番スムーズだから	64	32%
3 バス以外に主な移動手段が無いから	67	34%
4 その他	4	2%
合計	199	100%
無回答	3	



問5 本日（調査実施日）の外出において路線バス利用の前および後に利用する（した）移動手段（あてはまるすべて選択）



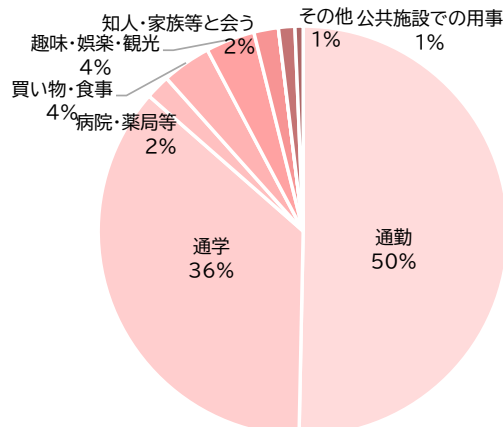
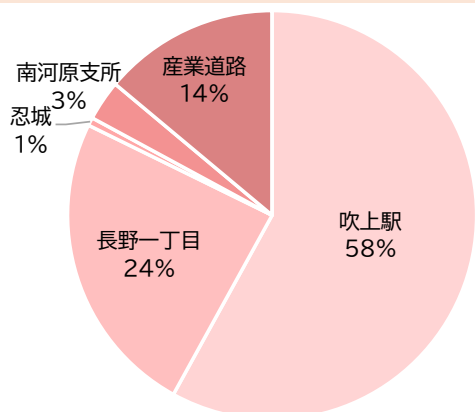
問6 普段の路線バスの利用頻度

選択肢	回答数	割合
1 ほぼ毎日	110	56%
2 週2~3日	35	18%
3 週1日	11	6%
4 月数回	27	14%
5 年数回	12	6%
合計	195	100%
無回答	7	

週1回以上路線バスを利用している人の乗車バス停（調査地点）（左）と外出目的（右）

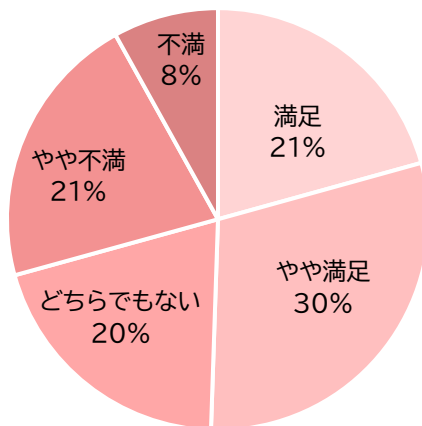
選択肢	回答数	割合
1 吹上駅	91	58%
2 長野一丁目	38	24%
3 忍城	1	1%
4 南河原支所	5	3%
5 産業道路	21	14%
6 行田市駅	0	0%
合計	156	100%

選択肢	回答数	割合
1 通勤	79	50%
2 通学	56	36%
3 病院・薬局等	3	2%
4 買い物・食事	6	4%
5 趣味・娯楽・観光	6	4%
6 知人・家族等と会う	3	2%
7 金融機関等での用事	0	0%
8 福祉施設等での用事	0	0%
9 公共施設での用事	2	1%
10 その他	1	1%
合計	156	100%

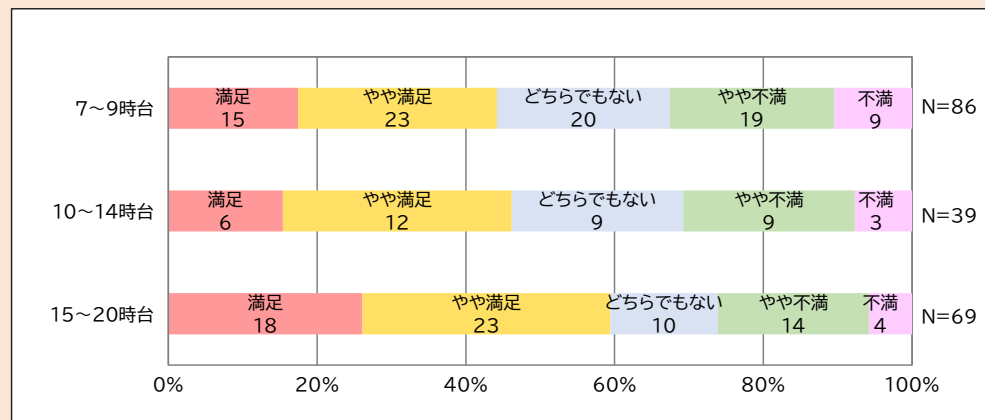


問 7-1 路線バスの【運行本数】に対する満足度

	選択肢	回答数	割合
1	満足	41	21%
2	やや満足	58	30%
3	どちらでもない	40	20%
4	やや不満	42	21%
5	不満	16	8%
	合計	197	100%
	無回答	5	

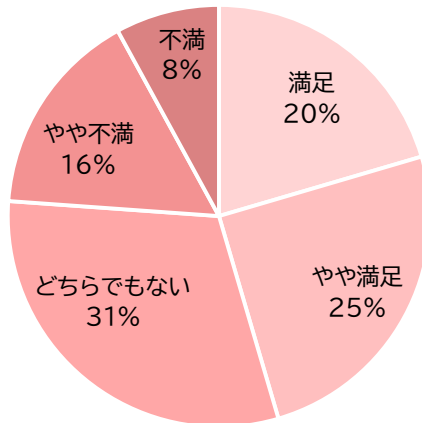


回答時間別の【運行本数】に対する満足度

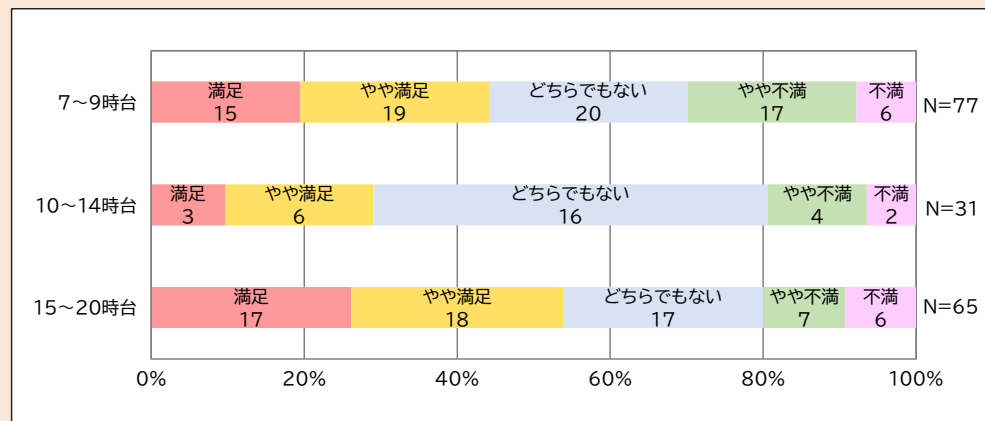


問 7-2 路線バスの【運行時間帯】に対する満足度

	選択肢	回答数	割合
1	満足	36	20%
2	やや満足	44	25%
3	どちらでもない	54	31%
4	やや不満	28	16%
5	不満	14	8%
	合計	176	100%
	無回答	26	



回答時間別の【運行時間帯】に対する満足度



問 8-1 この後降車予定のバス停名

① 吹上駅

バス停名	回答数	割合
行田本町	15	14.0%
桜町	14	13.1%
長野一丁目	10	9.3%
佐間団地	9	8.4%
新町一丁目	9	8.4%
総合教育センター	8	7.5%
新町二丁目	6	5.6%
ものづくり大学前	5	4.7%
ものづくり大学入口	4	3.7%
愛宕神社前	4	3.7%
産業道路	4	3.7%
新兵衛地蔵入口	3	2.8%
長野ロータリー	3	2.8%
下忍上分	2	1.9%
行田折返し場	1	0.9%
佐間	1	0.9%
佐間三丁目	1	0.9%
勝呂住宅前	1	0.9%
商工会議所前(天草)	1	0.9%
諏訪	1	0.9%
成田	1	0.9%
前谷東	1	0.9%
忍城址・郷土博物館前	1	0.9%
樋の上入口	1	0.9%
北中学校前	1	0.9%
合計	107	100%

無回答 10  
不明 1

② 長野一丁目

バス停名	回答数	割合
吹上駅	36	81.8%
長野一丁目	2	4.5%
鎌田	1	2.3%
行田市駅	1	2.3%
産業道路	1	2.3%
新町一丁目	1	2.3%
成田	1	2.3%
総合病院前	1	2.3%
合計	44	100%

無回答 8  
不明 1

③ 忍城

バス停名	回答数	割合
吹上駅	1	100.0%
合計	1	100%

無回答 0

④ 南河原支所

バス停名	回答数	割合
熊谷駅	1	33.3%
総合病院前	1	33.3%
南河原支所	1	33.3%
合計	3	100%

無回答 2

⑤ 産業道路

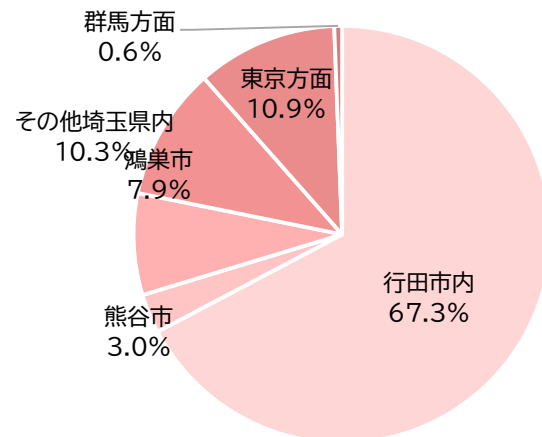
バス停名	回答数	割合
吹上駅	20	90.9%
産業道路	1	4.5%
新町一丁目	1	4.5%
合計	22	100%

無回答 3

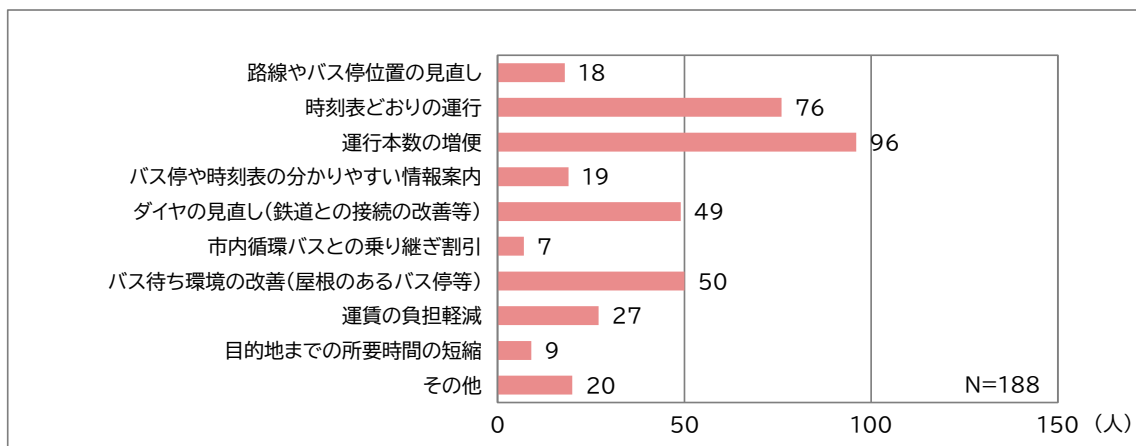
問 8-2 本日（調査実施日）の外出の最終目的地

No	選択肢	回答数	割合
1	行田市内	111	67.3%
2	熊谷市	5	3.0%
3	鴻巣市	13	7.9%
4	その他埼玉県内	17	10.3%
5	東京方面	18	10.9%
6	群馬方面	1	0.6%
	合計	165	100%

無回答 37



問 9 路線バスを使いやすいするための取り組みとして効率的と思う項目（三つまで選択）



【調査結果概要】

- ・調査地点別の回答数は、「吹上駅」が最も多く（58.4%）、過半数を占める結果となった。次いで「長野一丁目」（26.2%）、「産業道路」（12.4%）となっている。
- ・回答者の住まいは、「行田市」が最も多く（52%）、過半数を占める結果となった。
- ・外出目的は、「通勤」が最も多く（48%）、次いで「通学」（29%）となっており、この二つの選択肢の合計で約 8 割を占めている。また、路線バスを利用する理由は、「路線バス以外に主な移動手段が無いため」が最も多いが、「自宅の近くにバス停があるから」、「目的地までの移動が一番スムーズだから」もほぼ同数の結果となった。
- ・路線バス以外に利用する（した）その他の移動手段は、「徒歩」、「鉄道」が多い。
- ・路線バスの利用頻度は、「ほぼ毎日」が最も多く（56%）、通勤・通学での利用者が大多数を占めていることがうかがえる。
- ・満足度では、【運行本数】の満足度は「満足・やや満足」の合計が 51%、「不満・やや不満」の合計が 29%となっており概ね満足傾向にある。【運行時間帯】の満足度は、「満足・やや満足」の合計が 45%、「不満・やや不満」の合計が 24%となっており、満足の意向の方が多い状況にある。
- ・外出の最終目的地は、「行田市内」が約 7 割であり、過半数を占める結果となった。
- ・路線バスを使いやすいために効率的な取り組みは、「運行本数の増便」が最も多く、次いで「時刻表どおりの運行」、「バス待ち環境の改善」となった。

※路線バス利用に関するアンケート調査の調査結果まとめは、次頁以降の市内循環バス利用に関するアンケート調査結果とともに記載する。

## IV 市内循環バス利用に関するアンケート調査結果

# 1 アンケート実施概要

アンケート実施日程：休日調査 令和4年11月5日(土)・平日調査 11月8日(火) 2日間実施  
7:00~19:00の概ね12時間

調査方法・対象者：調査員の声かけにより、これから市内循環バスを利用する乗客(行田市民以外も対象とし、年齢は目視により高校生以上)であることを確認したうえで、調査票を配布。回答者および調査員のヒアリングによる記入、もしくはアンケート票内に記載のQRコードの読み取りによるWEB回答で回答を得た。

回収票数：休日 89票(うちWEB回答1票) 平日 117票(うちWEB回答3票)

調査地点バス停：①JR行田駅前 ②行田市駅前 ③忍城バスターミナル ④行田病院前 ⑤総合福祉会館

○：調査実施バス停

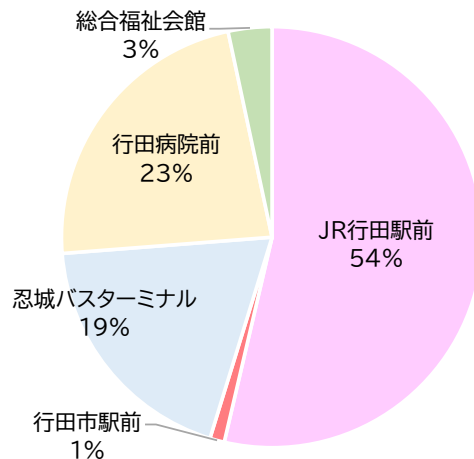




## 2 アンケート結果(休日調査結果)

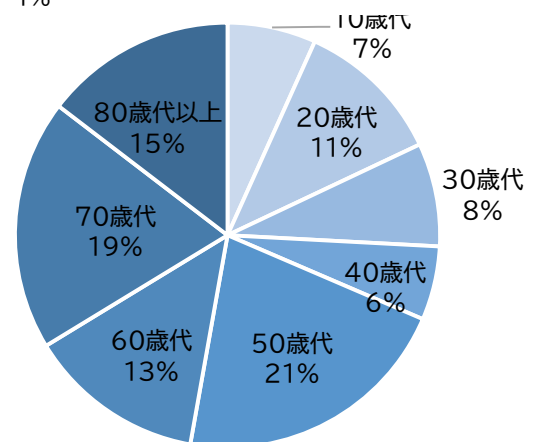
調査地点別回答者数

	選択肢	回答数	割合
1	JR行田駅前	48	54%
2	行田市駅前	1	1%
3	忍城バスターミナル	17	19%
4	行田病院前	20	22%
5	総合福祉会館	3	3%
	合計	89	100%



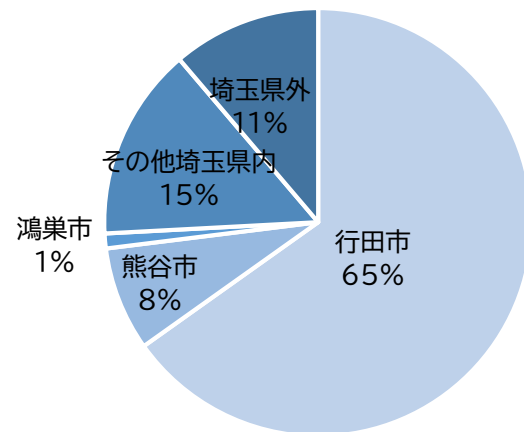
問1 年齢

	選択肢	回答数	割合
1	10歳代	6	7%
2	20歳代	10	11%
3	30歳代	7	8%
4	40歳代	5	6%
5	50歳代	19	21%
6	60歳代	12	13%
7	70歳代	17	19%
8	80歳代以上	13	15%
	合計	89	100%



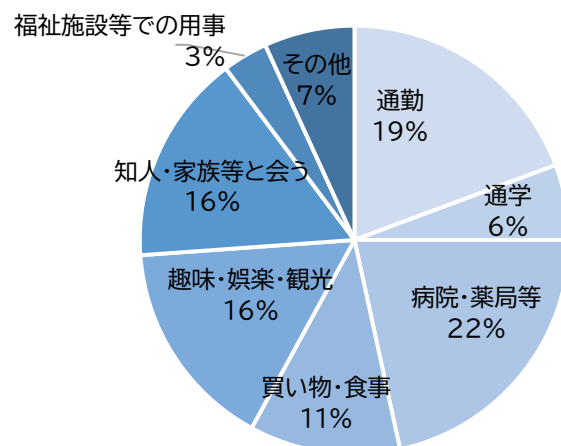
問2 住まい

	選択肢	回答数	割合
1	行田市	58	65%
2	熊谷市	7	8%
3	鴻巣市	1	1%
4	その他埼玉県内	13	15%
5	埼玉県外	10	11%
	合計	89	100%



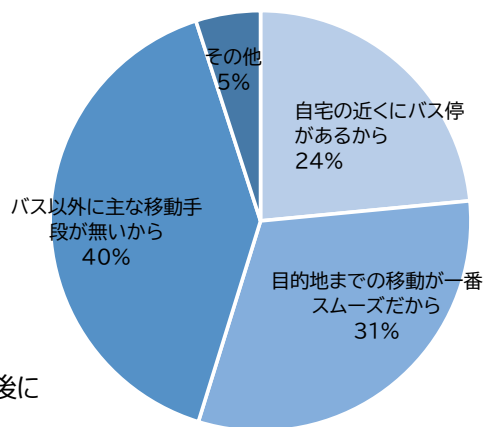
問3 本日(調査実施日)の外出目的

	選択肢	回答数	割合
1	通勤	17	19%
2	通学	5	6%
3	病院・薬局等	19	22%
4	買い物・食事	10	11%
5	趣味・娯楽・観光	14	16%
6	知人・家族等と会う	14	16%
7	金融機関等での用事	0	0%
8	福祉施設等での用事	3	3%
9	公共施設での用事	0	0%
10	その他	6	7%
	合計	88	100%
	無回答	1	

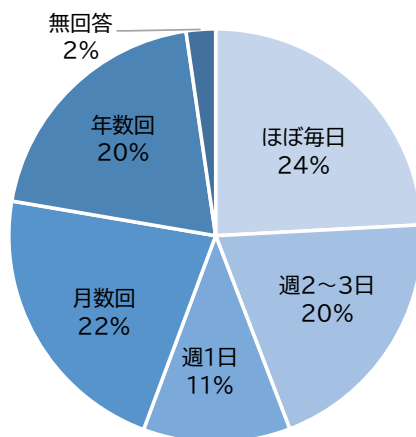
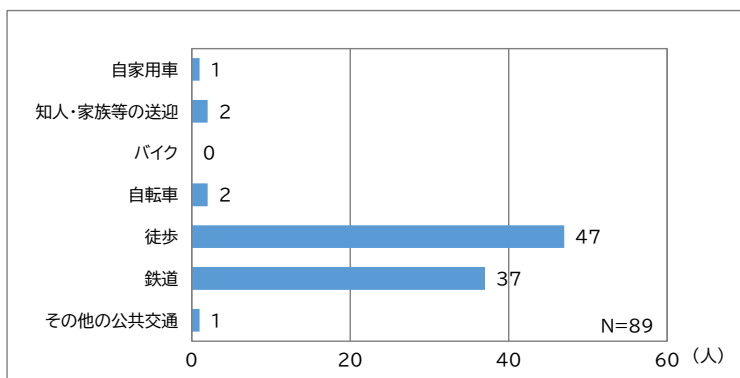


問 4 本日（調査実施日）の市内循環バスを利用する理由

選択肢	回答数	割合
1 自宅の近くにバス停があるから	21	24%
2 目的地までの移動が一番スムーズだから	28	31%
3 バス以外に主な移動手段が無いから	36	40%
4 その他	4	5%
合計	89	100%



問 5 本日（調査実施日）の外出において市内循環バス利用の前および後に利用する（した）移動手段（あてはまるすべて選択）

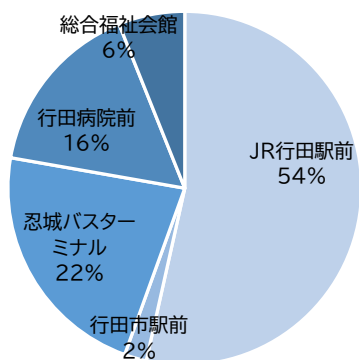


問 6 普段の市内循環バスの利用頻度

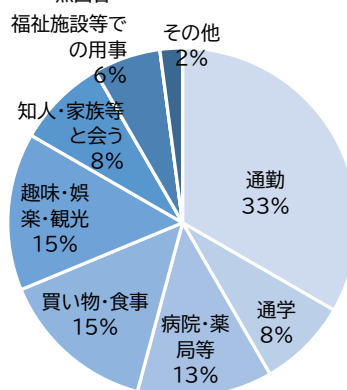
選択肢	回答数	割合
1 ほぼ毎日	21	24%
2 週2~3日	18	21%
3 週1日	10	11%
4 月数回	20	23%
5 年数回	18	21%
合計	87	100%
無回答	2	

→ 週 1 回以上市内循環バスを利用している人の乗車バス停（調査地点）（左）と外出目的（右）

選択肢	回答数	割合
1 JR行田駅前	26	54%
2 行田市駅前	1	2%
3 忍城バスターミナル	11	22%
4 行田病院前	8	16%
5 総合福祉会館	3	6%
合計	49	100%

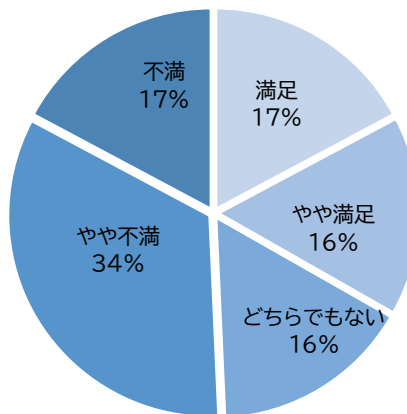


選択肢	回答数	割合
1 通勤	16	33%
2 通学	4	8%
3 病院・薬局等	6	13%
4 買い物・食事	7	15%
5 趣味・娯楽・観光	7	15%
6 知人・家族等と会う	4	8%
7 金融機関等での用事	0	0%
8 福祉施設等での用事	3	6%
9 公共施設での用事	0	0%
10 その他	1	2%
合計	48	100%

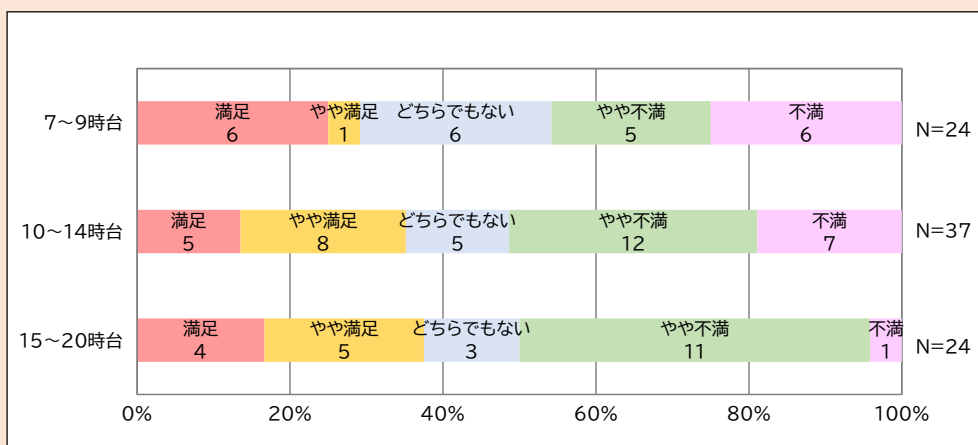


問 7-1 市内循環バスの【運行本数】に対する満足度

	選択肢	回答数	割合
1	満足	15	17%
2	やや満足	14	16%
3	どちらでもない	14	16%
4	やや不満	28	34%
5	不満	15	17%
	合計	86	100%
	無回答	3	

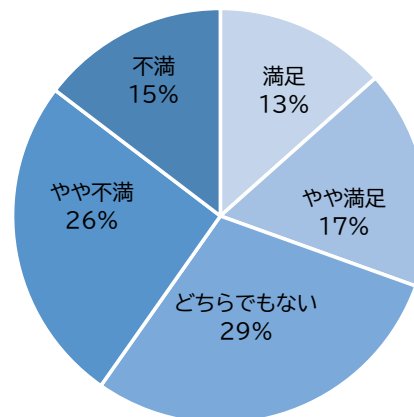


回答時間別の【運行本数】に対する満足度

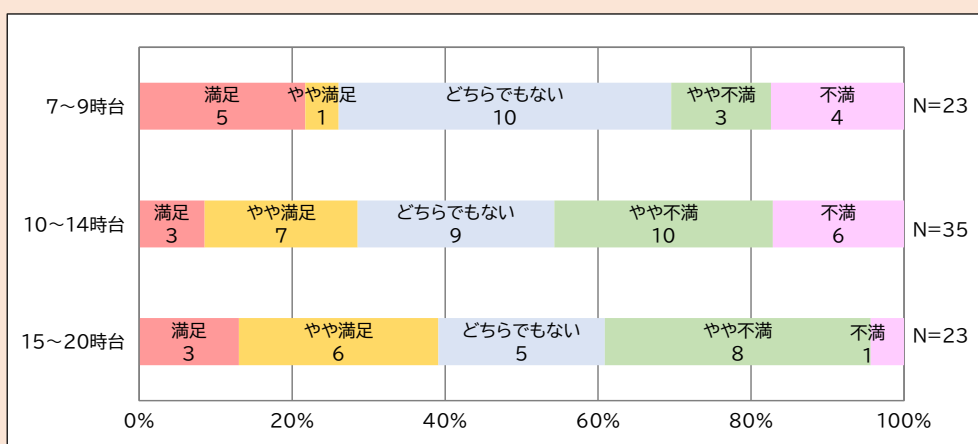


問 7-2 市内循環バスの【運行時間帯】に対する満足度

	選択肢	回答数	割合
1	満足	11	13%
2	やや満足	14	17%
3	どちらでもない	24	29%
4	やや不満	21	26%
5	不満	12	15%
	合計	82	100%
	無回答	7	



回答時間別の【運行時間帯】に対する満足度



問 8-1 この後降車予定のバス停名

① JR行田駅前

バス停名	回答数	割合
行田病院前	6	14.0%
埼玉古墳公園	4	9.3%
持田三丁目	4	9.3%
持田南	4	9.3%
前玉神社前	3	7.0%
忍城バスターミナル	3	7.0%
警察署前	2	4.7%
水城公園前	2	4.7%
棚田町二丁目	2	4.7%
長野	2	4.7%
JR行田駅前	1	2.3%
工業団地	1	2.3%
市役所前	1	2.3%
持田	1	2.3%
小崎沼入口	1	2.3%
成就院三重塔	1	2.3%
泉小学校入口	1	2.3%
長野工業団地	1	2.3%
忍城址・郷土博物館前	1	2.3%
門井二丁目	1	2.3%
緑町	1	2.3%
合計	43	100%

無回答 3

不明 2

② 行田市駅前

バス停名	回答数	割合
総合福祉会館	1	100.0%
合計	1	100%

③ 忍城バスターミナル

バス停名	回答数	割合
行田病院前	3	17.6%
JR行田駅前	2	11.8%
総合福祉会館	2	11.8%
押上町	1	5.9%
行田市駅前	1	5.9%
行田中央病院前	1	5.9%
市営斎条団地前	1	5.9%
持田	1	5.9%
持田駅入口	1	5.9%
持田南	1	5.9%
城西公園前	1	5.9%
棚田町二丁目	1	5.9%
門井二丁目	1	5.9%
合計	17	100%

④ 行田病院前

バス停名	回答数	割合
JR行田駅前	11	55.0%
押上町	3	15.0%
ソシオ流通センター駅前	1	5.0%
工業団地	1	5.0%
埼玉古墳公園	1	5.0%
水城公園前	1	5.0%
百塚	1	5.0%
門井二丁目	1	5.0%
合計	20	100%

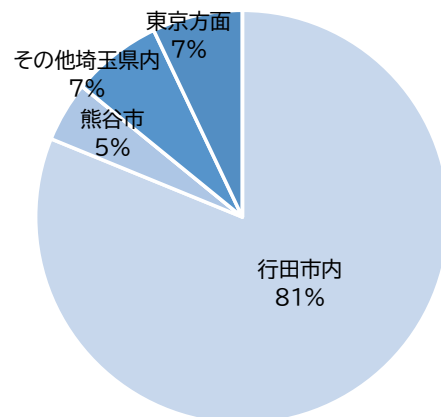
⑤ 総合福祉会館

バス停名	回答数	割合
忍城バスターミナル	2	66.7%
行田市駅前	1	33.3%
合計	3	100%

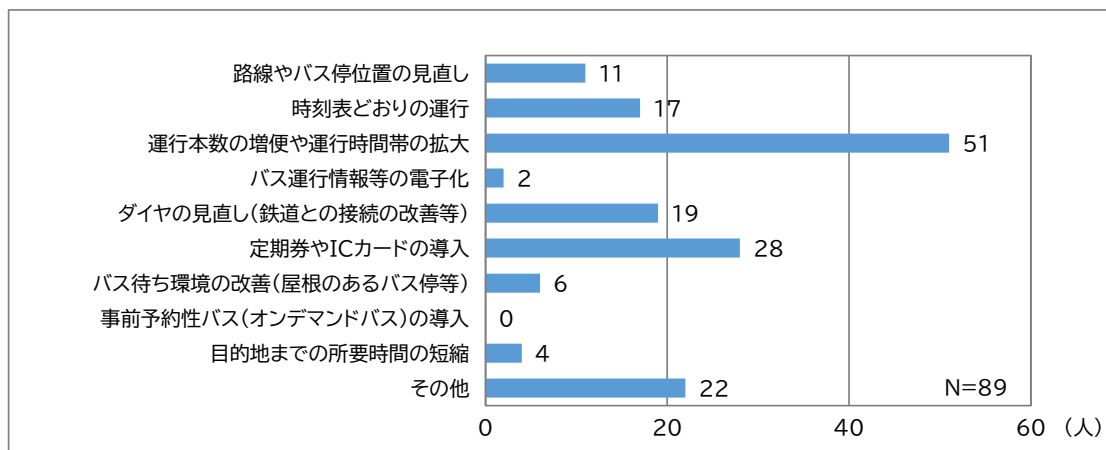
問 8-2 本日（調査実施日）の外出の最終目的地

選択肢	回答数	割合
1 行田市内	69	81%
2 熊谷市	4	5%
3 鴻巣市	0	0%
4 その他埼玉県内	6	7%
5 東京方面	6	7%
6 群馬方面	0	0%
合計	85	100%

無回答 4



問 9 市内循環バスを使いやすいするための取り組みとして効率的と思う項目（三つまで選択）



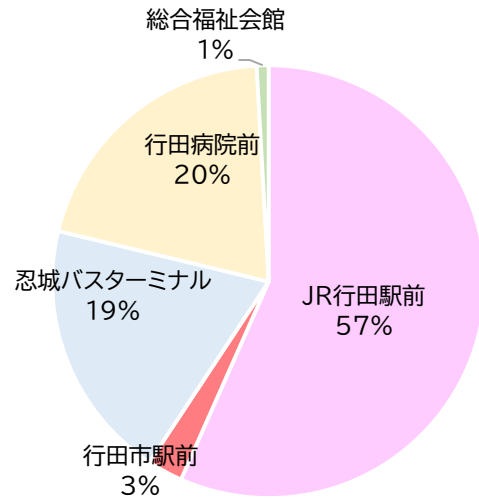
【休日調査結果概要】

- ・調査地点別の回答数は、「JR 行田駅前」が最も多く（54%）、過半数を占める結果となった。次いで「行田病院前」（23%）、「忍城バスターミナル」（19%）となっている。
- ・回答者の住まいは、「行田市」が最も多く（65%）、過半数を占める結果となった。
- ・外出目的は、「病院・薬局等」が最も多く（22%）、次いで「通勤」（19%）となっている。また、循環バスを利用する理由は、「循環バス以外に主な移動手段が無い」が最も多く、約 4 割を占める結果となった。
- ・市内循環バス以外に利用する（した）その他の移動手段は、「徒歩」、「鉄道」が多い。
- ・市内循環バスの利用頻度は、「ほぼ毎日」が最も多く（24%）、通勤での利用者が一定数あることがうかがえる。次いで「月数回」（23%）が多い結果となっている。
- ・満足度では、【運行本数】の満足度は「満足・やや満足」の合計が 33%、「不満・やや不満」の合計が 51%となっており、不満の意向の方が多い状況にある。【運行時間帯】の満足度は、「満足・やや満足」の合計が 30%、「不満・やや不満」の合計が 41%となっており、不満の意向の方が多い状況にある。
- ・外出の最終目的地は、「行田市内」が約 8 割であり、大多数を占める結果となった。
- ・市内循環バスを使いやすいために効率的な取り組みは、「運行本数の増便や運行時間帯の拡大」が最も多く、次いで「定期券や IC カードの導入」、「ダイヤの見直し」となった。

### 3 アンケート結果(平日調査結果)

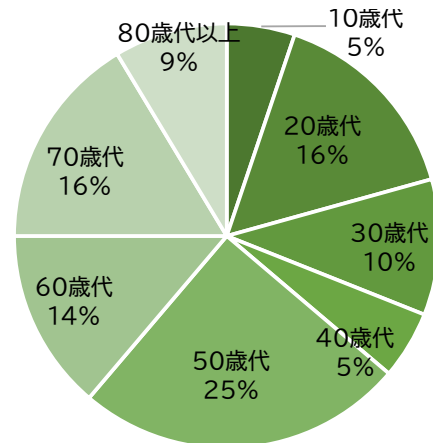
調査地点別回答者数

選択肢	回答数	割合
1 JR行田駅前	64	57%
2 行田市駅前	3	3%
3 忍城バスターミナル	22	19%
4 行田病院前	23	20%
5 総合福祉会館	1	1%
合計	113	100%
無回答	4	



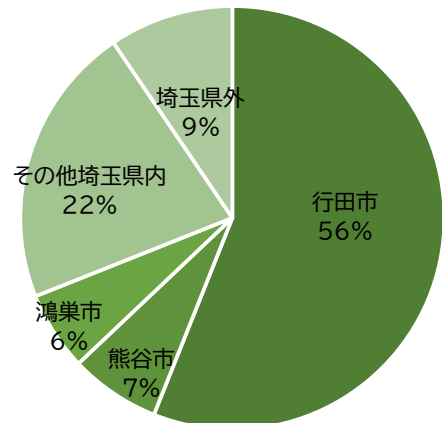
問1 年齢

選択肢	回答数	割合
1 10歳代	6	5%
2 20歳代	18	16%
3 30歳代	12	10%
4 40歳代	6	5%
5 50歳代	29	25%
6 60歳代	16	14%
7 70歳代	19	16%
8 80歳代以上	10	9%
合計	116	100%
無回答	1	



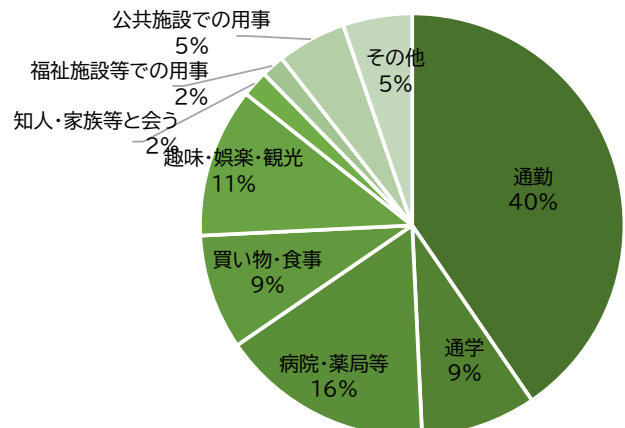
問2 住まい

選択肢	回答数	割合
1 行田市	65	56%
2 熊谷市	8	7%
3 鴻巣市	7	6%
4 その他埼玉県内	25	22%
5 埼玉県外	11	9%
合計	116	100%
無回答	1	



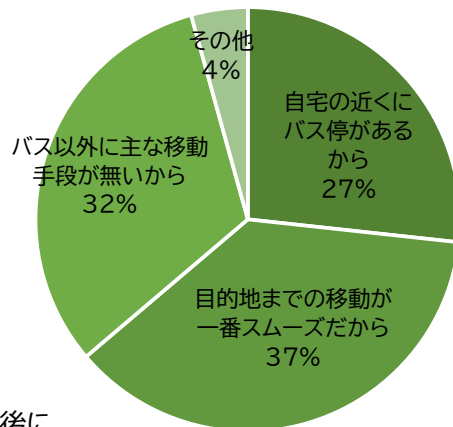
問3 本日(調査実施日)の外出目的

選択肢	回答数	割合
1 通勤	46	40%
2 通学	10	9%
3 病院・薬局等	19	16%
4 買い物・食事	10	9%
5 趣味・娯楽・観光	13	11%
6 知人・家族等と会う	3	2%
7 金融機関等での用事	0	0%
8 福祉施設等での用事	2	2%
9 公共施設での用事	6	5%
10 その他	6	5%
合計	115	100%
無回答	2	

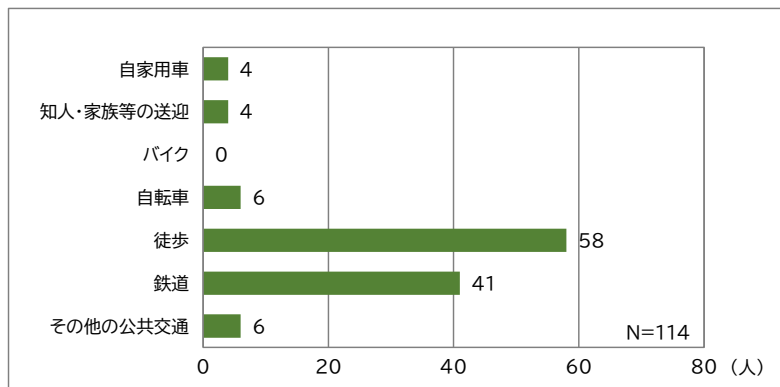


問 4 本日（調査実施日）の市内循環バスを利用する理由

選択肢	回答数	割合
1 自宅の近くにバス停があるから	31	27%
2 目的地までの移動が一番スムーズだから	43	37%
3 バス以外に主な移動手段が無いから	37	32%
4 その他	5	4%
合計	116	100%
無回答	1	

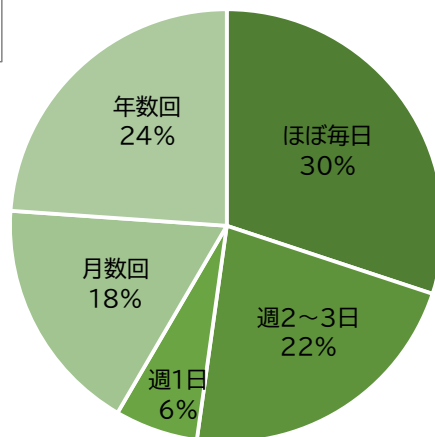


問 5 本日（調査実施日）の外出において市内循環バス利用の前および後に利用する（した）移動手段（あてはまるすべて選択）



問 6 普段の市内循環バスの利用頻度

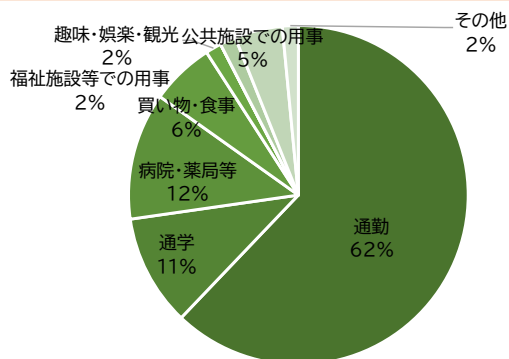
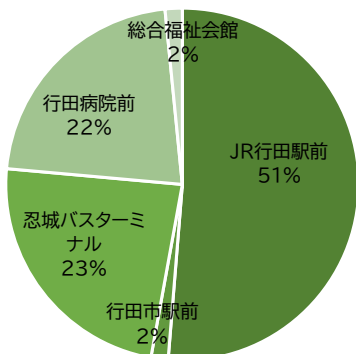
選択肢	回答数	割合
1 ほぼ毎日	34	30%
2 週2～3日	25	22%
3 週1日	7	6%
4 月数回	20	18%
5 年数回	27	24%
合計	113	100%
無回答	4	



→ 週 1 回以上市内循環バスを利用している人の乗車バス停（調査地点）（左）と外出目的（右）

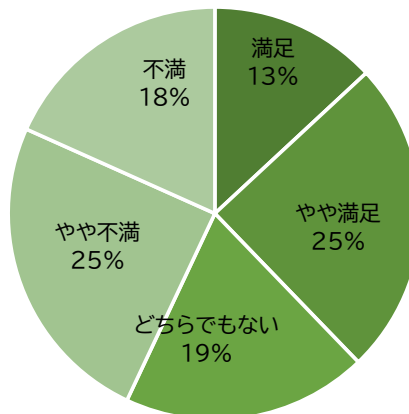
選択肢	回答数	割合
1 JR行田駅前	33	51%
2 行田市駅前	1	2%
3 忍城バスターミナル	15	23%
4 行田病院前	14	22%
5 総合福祉会館	1	2%
合計	64	100%
無回答	2	

選択肢	回答数	割合
1 通勤	41	62%
2 通学	7	11%
3 病院・薬局等	8	12%
4 買い物・食事	4	6%
5 趣味・娯楽・観光	1	2%
6 知人・家族等と会う	0	0%
7 金融機関等での用事	0	0%
8 福祉施設等での用事	1	2%
9 公共施設での用事	3	5%
10 その他	1	2%
合計	66	100%

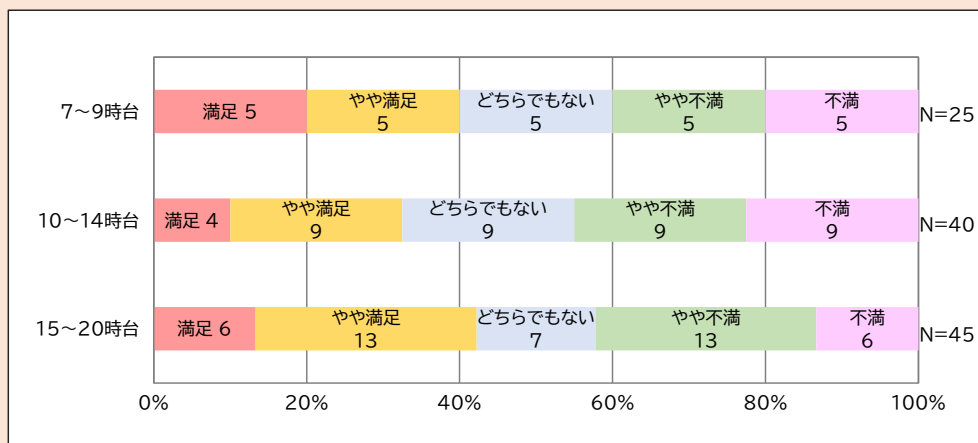


問 7-1 市内循環バスの【運行本数】に対する満足度

	選択肢	回答数	割合
1	満足	15	13%
2	やや満足	27	25%
3	どちらでもない	21	19%
4	やや不満	27	25%
5	不満	20	18%
	合計	110	100%
	無回答	7	

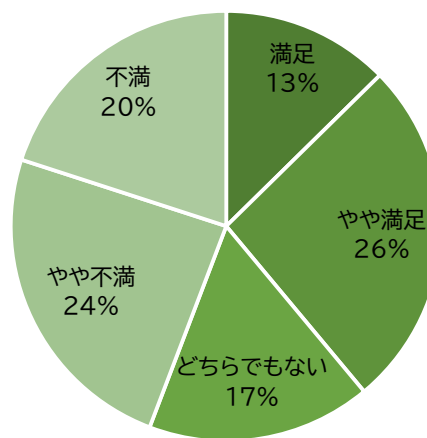


回答時間別の【運行本数】に対する満足度

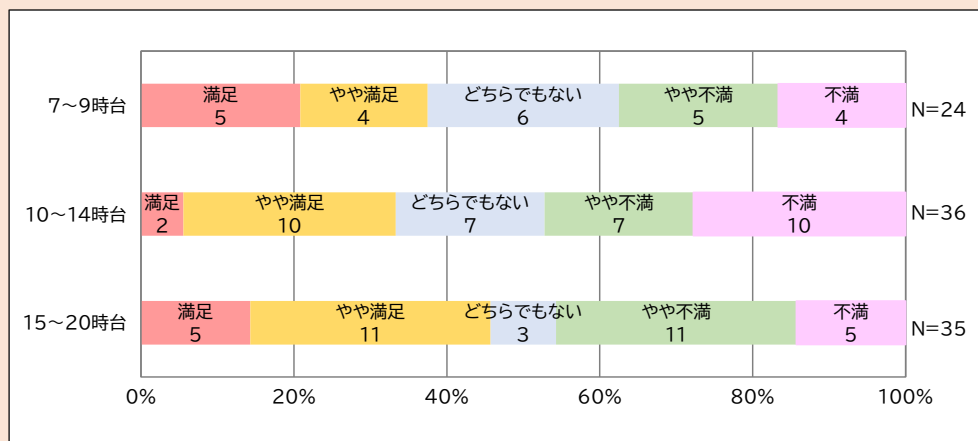


問 7-2 市内循環バスの【運行時間帯】に対する満足度

	選択肢	回答数	割合
1	満足	12	13%
2	やや満足	25	26%
3	どちらでもない	16	17%
4	やや不満	23	24%
5	不満	19	20%
	合計	95	100%
	無回答	22	



回答時間別の【運行時間帯】に対する満足度





問 8-1 この後降車予定のバス停名

① JR行田駅前

バス停名	回答数	割合
行田病院前	9	16.7%
埼玉古墳公園	5	9.3%
忍城バスターミナル	5	9.3%
工業団地	4	7.4%
長野	4	7.4%
水城公園前	3	5.6%
長野工業団地	3	5.6%
藤原町	3	5.6%
市営佐間団地北	2	3.7%
持田三丁目	2	3.7%
棚田町三丁目	2	3.7%
JR行田駅前	1	1.9%
警察署前	1	1.9%
持田一丁目	1	1.9%
持田南	1	1.9%
小崎沼入口	1	1.9%
水城公園	1	1.9%
棚田町二丁目	1	1.9%
長野新大橋	1	1.9%
渡柳・利田	1	1.9%
忍城址・郷土博物館前	1	1.9%
百塚	1	1.9%
富士見町一丁目	1	1.9%
合計	54	100%
無回答	10	

② 行田市駅前

バス停名	回答数	割合
太田万蔵橋	1	50.0%
南河原支所前	1	50.0%
合計	2	100%
無回答	1	

③ 忍城バスターミナル

バス停名	回答数	割合
JR行田駅前	9	40.9%
行田病院前	2	9.1%
ソシオ流通センター駅前	1	4.5%
押上町	1	4.5%
向町北	1	4.5%
行田八幡神社	1	4.5%
三区南	1	4.5%
持田三丁目	1	4.5%
総合福祉会館	1	4.5%
棚田町三丁目	1	4.5%
渡柳・利田	1	4.5%
二斎条	1	4.5%
門井二丁目	1	4.5%
合計	22	100%

④ 行田病院前

バス停名	回答数	割合
JR行田駅前	14	82.4%
押上町	1	5.9%
行田病院前	1	5.9%
緑町	1	5.9%
合計	17	100%

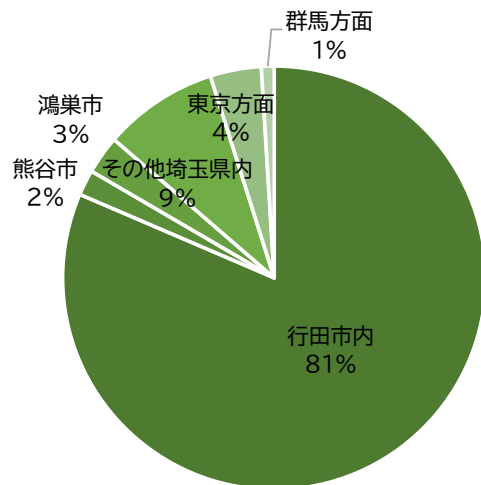
無回答 5

⑤ 総合福祉会館

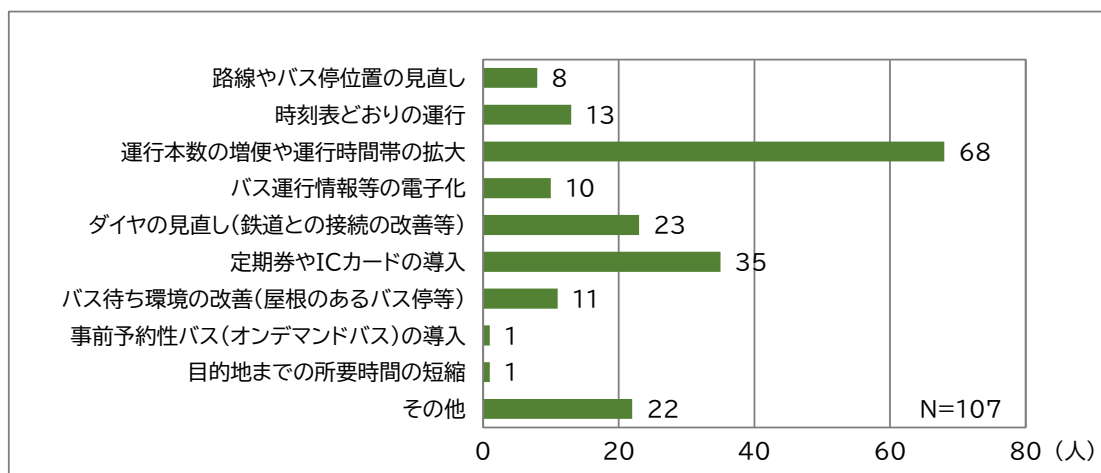
バス停名	回答数	割合
荒木愛宕神社前	1	100.0%
合計	1	100%

問 8-2 本日（調査実施日）の外出の最終目的地

選択肢	回答数	割合
1 行田市内	84	81%
2 熊谷市	2	2%
3 鴻巣市	3	3%
4 その他埼玉県内	9	9%
5 東京方面	4	4%
6 群馬方面	1	1%
合計	103	100%
無回答	14	



問 9 市内循環バスを使いやすくするための取り組みとして効率的と思う項目（三つまで選択）



【平日調査結果概要】

- ・調査地点別の回答数は、「JR 行田駅前」が最も多く（57%）、過半数を占める結果となった。次いで「行田病院前」（20%）、「忍城バスターミナル」（19%）となっている。
- ・回答者の住まいは、「行田市」が最も多く（56%）、過半数を占める結果となった。
- ・外出目的は「通勤」（40%）が最も多く、次いで「病院・薬局等」（16%）となっている。また、循環バスを**利用する理由は、「目的地までの移動が一番スムーズだから」が最も多く、約 4 割を占める結果となり、休日と異なる傾向となった。**
- ・市内循環バス以外に利用する（した）その他の移動手段は、「徒歩」、「鉄道」が多い。
- ・市内循環バスの利用頻度は、「ほぼ毎日」が最も多く（30%）、通勤での利用者が一定数あることがうかがえる。次いで「年数回」（24%）が多い結果となっている。
- ・満足度では、【運行本数】の満足度は「満足・やや満足」の合計が 38%、「不満・やや不満」の合計が 43%となっており、不満の意向の方が多い状況にある。【運行時間帯】の満足度は、「満足・やや満足」の合計が 39%、「不満・やや不満」の合計が 44%となっており、不満の意向の方がやや多い状況にある。
- ・外出の最終目的地は、「行田市内」が約 8 割であり、大多数を占める結果となった。
- ・市内循環バスを使いやすくするために効率的な取り組みは、「運行本数の増便や運行時間帯の拡大」が最も多く、次いで「定期券や IC カードの導入」、「ダイヤの見直し」となっており、休日と同様の結果となった。

## 4 アンケート結果のまとめ

### 《路線バス利用者調査結果より》

#### ＜通勤・通学の移動手段として機能＞

- ・週 1 回以上の路線バスを利用する利用者は 8 割を占めており、通勤・通学での利用者が大多数を占めていることがうかがえる。
- ・満足度では、運行本数、運行時間ともに概ね満足傾向にある。この結果から、週 1 回以上の利用者が多い路線バスにおいては、概ね利用者から評価された運行が継続している状況がうかがえる。
- ・外出の最終目的地は、「行田市内」が約 7 割であり、市民における市内の外出先への移動手段として活用されていることがうかがえる。
- ・路線バスを使いやすくするために効率的な取り組みは、「運行本数の増便」が最も多く、次いで「時刻表どおりの運行」、「バス待ち環境の改善」となった。このことから、通勤、通学の利用者にとってより利便性を高める運行内容の継続的な見直しや検討が必要と言える。

### 《市内循環バス利用者調査結果より》

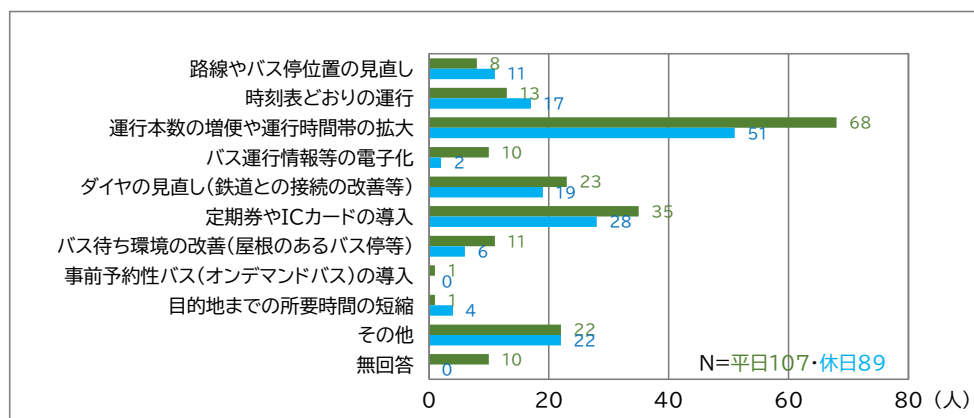
#### ＜市民の市内移動手段として機能＞

- ・回答者の住まいは、休日、平日ともに「行田市」が最も多く、過半数を占める結果となった。外出の最終目的地においても、「行田市内」が大多数を占める結果となった。このことから、市民が市内の目的地へ外出する際のニーズが高いことがうかがえる。
- ・外出目的は、休日は「病院・薬局等」が最も多く、平日は「通勤」が最も多く、平日と休日では利用傾向が異なる結果となっている。
- ・市内循環バスの利用頻度は、休日、平日ともに「ほぼ毎日」が最も多く、通勤での利用者が一定数あることがうかがえる。

#### ＜満足度の向上が課題＞

- ・満足度では、休日、平日とも運行本数、運行時間ともに不満の意向の方が多く状況にある。
- ・市内循環バスを使いやすくするために効率的な取り組みは、休日、平日ともに「運行本数の増便や運行時間帯の拡大」が最も多く、次いで「定期券や IC カードの導入」、「ダイヤの見直し」となった。

市内循環バスを使いやすくするための取り組みとして効率的と思う項目（三つまで選択）＜平日+休日＞



上記の内容から、市内循環バスにおいては、より詳細は市民のニーズや移動実態の把握が必要と言える。今後、持続可能な公共交通を目指すため、需要と供給の適正化を図りながら運行内容を見直していくことが求められていると言える。

## V 課題の整理

前項までに整理した各調査結果から、公共交通における本市の課題を下記に整理します。

## 1 公共交通の利用機会の創出および将来に残す意識の醸成

調査結果から、市民の多くが自身専用の自動車にあり、買物、通勤等の日常的な外出時に自身の運転で外出しているケースが多い状況がうかがえました。1世帯あたりの自動車所有台数について、「2台」が最も多いことから（41.3% 市民アンケート結果より）高齢者のドライバーも多いことがうかがえます。（自分専用で使える自動車を所有している回答者の約半数が60歳代以上）

→・マイカー依存度が高い現況を踏まえ、市民の日頃の移動実態に即した公共交通へと見直し、検討を実施することが必要と言えます。

また、日頃の鉄道駅の利用頻度が低く、民間路線バス、市内循環バスの今後の利用意向も低いことから、市民の「公共交通の利用離れ」の加速が懸念されます。公共交通の活発な利用促進や、存在意義、存在価値を意識できる機会の創出が必要と言えます。

→・将来に公共交通を残していくため、潜在需要の掘り起こし等も踏まえた公共交通の利用機会の創出、存在意義を感じてもらうきっかけづくりが必要と言えます。

## 2 高齢者が気軽に利用できる公共交通の確保

調査結果から、運転免許証所有者において「当面は運転免許証の返納予定はない」という意向の市民が約8割（78% 市民アンケート結果より）に及んでおり、将来的に自身の運転を継続する意向の市民が多い状況がうかがえます。

将来的に自身での移動が困難となった際、高齢者が公共交通を身近に感じられるような運行システムの構築と同時に、幅広い層に向けた利用機会の創出も必要と言えます。

→・高齢者が運転免許証を安心して返納でき、返納後も気軽に利用できる公共交通の確保が必要と言えます。

・高齢者の移動のニーズを踏まえた運行内容、利用促進策の検討が必要と言えます。

## 3 よりニーズを捉えたデマンドタクシー運行の実施

デマンドタクシー利用者のアンケート調査結果から、概ね利用者の満足度が高いことが把握できました。こうした状況を維持するとともに、より利用しやすい運行内容へ整備を図ることも必要と言えます。

利用者の傾向から、午前中の医療機関への通院が大多数を占めることが把握できました。このため、予約が集中し、待ち時間が長くなることや、利用したい時間に乗車できないという状況が危惧されます。

→・運行時間帯（午前の通院需要の受け入れ幅を広げる）、運行台数の増設等、より利便性の高い内容へと整備し、満足度を維持することが必要と言えます。

## 4

### 需要と供給のバランスを図ったバス運行の実施

調査結果から、路線バス、市内循環バスの利用者は「通勤・通学」での利用者が多い事が把握できました。また、「病院・薬局等」の医療機関への外出にも利用されており、比較的外出頻度が高い行先への外出時に利用されています。その一方、運行内容の満足度は決して高い状況ではありません。特に市内循環バスにおいては、運行本数、運行時間帯において不満の意向が高く、改善が望まれています。その他、「定期券・ICカードの導入」、「鉄道との接続の改善」等も、改善が望まれています。

市民アンケート調査結果からも「市が目指すべき交通サービスのあり方」として、『市内外の主要な市背に移動しやすい公共交通』、『鉄道やバスで周辺の市町村へ移動しやすい公共交通』が上位として挙げられており、市内、近隣市町村へのアクセス性が重視されています。

一方で、バスの利用者数は決して高くはない状況が調査結果からもうかがえます。事業者や行政の運行経費負担を勘案し、需要と供給のバランスを図りながら運行を継続することが必要と言えます。

- ・利用者からのニーズを捉えるとともに、運行経費負担の観点からもバランスを図った運行サービスの提供を検討していくことが必要と言えます。
- ・市内主要施設、近隣市町村へのアクセス性を向上していくことが必要と言えます。

以上の課題を解決することを目指し、具体的な取り組みを示す施策、目標値の設定等を行い、今後「行田市地域公共交通計画」の策定を進めていくことが必要と言えます。

## 卷末資料

## 行田市 公共交通に関するアンケート調査 調査票



本調査は Web でも回答できます。下の URL もしくは右の QR コードより回答フォームにアクセスいただき、ご回答下さい。なお、発生する通信料は各自の負担となります。ご了承ください。

(回答は、この調査票と Web、どちらか一方でお願致します。)

[URL] <https://forms.gle/FPU9w44Y5IH4UeYX8>

### ■ ご自身について

問1 ご自身について、差し支えない範囲で教えてください。

性別	1. 男性 2. 女性 3. その他/回答しない	居住地	※下記の〔 〕内に野工名を記載してください 記入例:行田市〔 長野1丁目 〕 行田市〔 〕
年齢 (該当するものを1つに○)	1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代 8. 80 歳代以上		
最寄駅・最寄バス停	1. 最寄駅: 駅 2. 最寄バス停: バス停		
世帯構成 (同居する人全てに○)	1. 一人暮らし 2. 配偶者 3. 親 4. 子ども 5. 孫 6. 兄弟 7. 親戚 8. その他 ( )		
職業 (該当するものを1つに○)	1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業 3. 学生 4. アルバイト・パート 5. 専業主婦 (夫) 6. 無職 7. その他 ( )		
運転免許証 (取得している全てに○)	1. 自動車 (大型、中型、準中型、普通など四輪車) 2. 自動二輪車 (大型・普通) 3. 原付		
自動車の所持 (該当するものを1つに○)	1. 自分専用で使える自動車がある 2. 家族共有の自動車がある 3. 自動車を持っていない		
原付・バイクの所持 (該当するものを1つに○)	1. 自分専用で使える原付・バイクがある 2. 家族共有の原付・バイクがある 3. 原付・バイクを持っていない		
自転車の所持 (該当するものを1つに○)	1. 自分専用で使える自転車がある 2. 家族共有の自転車がある 3. 自転車を持っていない		
世帯で自動車を 運転する人の人数 (数字記入)	世帯での 所有台数 (数字記入)	台	台
	人	台	台
		台	台
		台	台

## 行田市地域公共交通計画策定に向けた 市民アンケートへのご協力をお願い

近年の人口減少・少子高齢化の本格化、コロナ禍による移動形態の変化、公共交通を維持するための公的負担の増加などにより、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。同時に、高齢者の運転免許返納の増加を見据えたうえで、将来的に持続可能な公共交通の確保・維持が必要となってきています。

このような背景の下、令和 2 年 11 月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行され、原則として全ての地方公共団体において、「公共交通のマスタープラン」と言える「地域公共交通計画」を策定することとなりました。本計画は、「地域にとって望ましい地域旅客輸送サービスの姿」を明らかにし、その実現に向けた具体的施策と目標を定めるもので、令和 5 年度に行田市地域公共交通計画の策定を目指し、検討を進めています。当アンケート調査は、市民の皆様の日頃の移動の実態、要望等を把握し、計画に反映することを目的として実施するものです。

調査の趣意をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 4 年 10 月 行田市地域公共交通会議

<調査対象・個人情報の取り扱いについて>

・当アンケート調査は、行田市内にお住まいの 16 歳以上(令和 4 年 9 月時点)の方を対象に、住民基本台帳から無作為に選ばせていただいた 2,000 人に送付させていただきます。

・調査票は無記名でご回答いただくため、個人が特定されるものではありません。

<アンケートの回答・記入について>

・回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。

・その他に当てはまる場合は、( )内に具体的な内容を記入してください。

・質問により回答していただく方が限られる場合がありますので、ごわり書きをお読みください。

・記入が困難な方等は、ご家族の方が代筆して構いません。

(代筆者ではなく、アンケート票の宛名の方についてご回答ください)

・本調査は Web でも回答できます。2 ページのアクセス先をご確認ください。

(回答は、この調査票と Web、どちらか一方でお願致します。)

<アンケート用紙の回収について>

同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れてご返送ください。(切手不要)

返送(ポスト投函)期日:令和 4 年 11 月 7 日(月)

<アンケートに関する問い合わせ先>

行田市地域公共交通会議(事務局:行田市 市民生活部 交通対策課)

電話:048-556-1111(内線284)



■ 日常生活における外出について

問2 日常的な外出において最も多い外出目的とその目的地(行田市外でも構いません)。移動手段を教えてください。該当する番号を1つだけ選び、○をつけて、内容をお書きください。

記入例：④公共施設での用事 (目的地 行田市役所 移動手段 自家用車)

- |                         |      |
|-------------------------|------|
| 1. 通勤・通学 (目的地)          | 移動手段 |
| 2. 通院 (目的地)             | 移動手段 |
| 3. 福祉施設 (目的地)           | 移動手段 |
| 4. 公共施設での用事 (目的地)       | 移動手段 |
| 5. 買物 (目的地)             | 移動手段 |
| 6. 食事・レジャー (目的地)        | 移動手段 |
| 7. 家族・親戚・友人宅への訪問 (目的地)  | 移動手段 |
| 8. その他 (目的)             | 目的地  |
| 9. ほとんど外出しないため該当なし ⇒問4へ |      |

上記 問2 で1～8を選択した方は 問3 を回答し 問4 へ進んでください。

19. ほとんど外出しないため該当なしを選択した方は 問4 へ進んでください。

問3 上記 問2 で回答いただいた場所へ外出する主な時間帯を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                       |            |           |
|-----------------------|------------|-----------|
| 1. 5～6時台              | 2. 7～8時台   | 3. 9～11時台 |
| 4. 12～14時台            | 5. 15～16時台 | 6. 17時以降  |
| 7. 決まっていない (日によって異なる) |            |           |

問4 下記のうち、行田市内外問わず、どの施設に行くのが便利だと暮らしやすいと感じますか。該当する番号を3つまで選んで、○をつけてください。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 商業施設 (大型複合店、スーパー、ホームセンター等)     |
| 2. 商業施設 (コンビニエンスストア、ドラッグストア等)     |
| 3. 商業施設 (飲食店、衣料品店等)               |
| 4. 金融施設 (銀行、信用金庫、郵便局等)            |
| 5. 行政施設 (市役所、支所、窓口機能等)            |
| 6. 文化教育施設 (図書館、文化会館、美術館等)         |
| 7. 医療施設 (病院、診療所、薬局等)              |
| 8. 福祉施設 (障がい者福祉施設等)               |
| 9. 高齢者向け施設 (介護施設等)                |
| 10. 子育て支援施設 (子育て支援センター、こども園、保育所等) |
| 11. 学校施設 (高等学校、大学、専門学校等)          |
| 12. 健康推進等施設 (スポーツ施設、体育館等)         |
| 13. ほとんど外出しないため該当なし               |
| 14. その他 ( )                       |

■ 鉄道駅の利用について

問5 JR行田駅の利用について教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日利用する ⇒問7へ  | 2. 週3～5日利用する ⇒問7へ |
| 3. 週1～2日利用する ⇒問7へ | 4. 月数回利用する ⇒問7へ   |
| 5. 月1日程度利用する ⇒問7へ | 6. ほとんど利用しない      |

上記 問5 で6. ほとんど利用しないを選択した方は 問6 を回答し 問7 へ進んでください。

1～5を選択した方は 問7 へ進んでください。

問6 JR行田駅を利用しない理由として、あなたの考えに最も近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                                     |                     |
|-------------------------------------|---------------------|
| 1. 自宅から遠い                           | 2. 日頃から公共交通を利用しない   |
| 3. JR行田駅までの移動手段がない                  | 4. JR行田駅周辺の駐車・駐輪が不便 |
| 5. JR行田駅の運行ダイヤ (時刻表) が自身の外出予定に合わない  |                     |
| 6. 鉄道で外出する際は他の駅を利用している：利用駅名【 ( ) 駅】 |                     |
| 7. その他 ( )                          |                     |

問7 秩父鉄道の駅(武州荒木駅、東行田駅、行田市駅、持田駅、ソシオ流通センター駅)の利用について教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                                        |                   |
|----------------------------------------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日利用する ⇒問9へ                       | 2. 週3～5日利用する ⇒問9へ |
| 3. 週1～2日利用する ⇒問9へ                      | 4. 月数回利用する ⇒問9へ   |
| 5. 月1日程度利用する ⇒問9へ                      |                   |
| ★1～5を選択した方は駅名を教えてください：利用している駅名【 ( ) 駅】 |                   |
| 6. ほとんど利用しない                           |                   |

上記 問7 で6. ほとんど利用しないを選択した方は 問8 を回答し 問9 へ進んでください。

1～5を選択した方は 問9 へ進んでください。

問8 秩父鉄道の駅を利用しない理由として、あなたの考えに最も近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                                          |                   |
|------------------------------------------|-------------------|
| 1. 自宅から遠い                                | 2. 日頃から公共交通を利用しない |
| 3. 秩父鉄道の駅までの移動手段がない：行きたい駅名【 ( ) 駅】       |                   |
| 4. 秩父鉄道の駅周辺の駐車・駐輪が不便：不便な駅名【 ( ) 駅】       |                   |
| 5. 秩父鉄道の運行ダイヤ (時刻表) が自身の外出予定に合わない        |                   |
| 6. 鉄道で外出する際は秩父鉄道以外の駅を利用している：利用駅名【 ( ) 駅】 |                   |
| 7. その他 ( )                               |                   |

■ 公共交通の利用について

問9 公共交通（鉄道、民間の路線バス、市内循環バス、デマンドタクシー）を利用した日常的な外出頻度を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 週5日以上 ⇒問11ハ	2. 週3～4日 ⇒問11ハ
3. 週1～2日 ⇒問11ハ	4. 月2～3日 ⇒問11ハ
5. 月1日程度 ⇒問11ハ	6. ほとんど利用しない

上記 問9 で1、ほとんど利用しないを選択した方は 問10 を回答し 問11 ハを選んでください。  
1～5 を選択した方は 問11 ハを選んでください。

問10 公共交通を利用しない理由として、あなたの考えに最も近いものを教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 目的地への路線がないため	2. 便数が少ない、時間がかかるなど利用しにくいいため
3. 行きたい場所は、ほとんど徒歩や自転車で移動できるため	4. 自家用車等での移動が当たり前で、最初から公共交通の利用が選択肢にないため
5. その他（ ）	

問11 公共交通を利用して外出する際、利用する主な交通手段を教えてください。  
該当する番号全てに○をつけてください。

1. 鉄道	2. 民間の路線バス	3. 市内循環バス	4. デマンドタクシー
5. ほとんど利用しないため該当なし	6. その他（ ）		

問12 公共交通を利用する際に重視することを教えてください。  
下記の選択肢から優先順位の高い順に3つまで数字をご記入ください。

1. 運賃が安いこと	2. 便数が多いこと	
3. 乗り継ぎ回数が少ないこと	4. 目的地まで早く着けること	
5. 到着時刻の確実性が高いこと	6. 自宅近くから利用できること	
7. できるだけ目的地まで歩かないで済むこと		
1 番目に重視すること	2 番目に重視すること	3 番目に重視すること

■ 民間の路線バスの利用について

行田市内を運行する民間の路線バスは、朝日自動車株式会社が運行する吹上駅発着の吹上線、鴻巣駅発着の真名板線、国際十王交通株式会社が運行する熊谷駅発着の犬塚線と葛和田線を指します。下記の質問はこれらのバスの利用についてお聞きするものです。



問13 日頃の行田市内の民間の路線バスの利用について教えてください。

問13-1 行田市内の民間の路線バスの利用頻度を教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 全く利用しない ⇒問13-4ハ	2. 年に数回程度	3. 月に数回程度	4. 週に数回程度
5. ほぼ毎日	6. 雨天など悪天候時のみ利用		
7. その他（ ）			

上記 問13-1 で2～7 を選択した方は 問13-2 を回答してください。

問13-2 全く利用しないを選択した方は 問13-4 ハを選んでください。

問13-2 行田市内の民間の路線バスの運行内容について教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 満足 ⇒問13-4ハ	2. どちらかという満足 ⇒問13-4ハ
3. どちらとも言えない ⇒問13-4ハ	4. どちらかという不満
	5. 不満

上記 問13-2 で「4.どちらかという不満」が「5.不満」を選択した方は 問13-3 を回答し 問13-4 ハを選んでください。

問13-3 行田市内の民間の路線バスの運行に不満を感じる理由として、あなたの考えに近いものを教えてください。

問13-3 行田市内の民間の路線バスの運行に不満を感じる理由として、あなたの考えに近いものを教えてください。  
該当する番号全てに○をつけてください。

1. 行きたい場所や地域まで運行していない	2. バス停までの距離が遠い
3. 利用したい時間帯に運行していない	4. 運行本数が少ない
5. 運賃が高い	6. その他（ ）

問13-4 今後の行田市内の民間の路線バスの利用意向について、あなたの考えに近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 利用したい	2. 利用するつもりはない
3. その他（ ）	

■ 市内循環バスの利用について

高齢者や運転免許証を持たない交通弱者の移動手段の確保および市内施設や観光施設の利用者の利便性向上を図るため、全6コースで市内循環バスを運行しています。

問14 日頃の市内循環バスの利用について教えてください。

問14-1 市内循環バスの利用頻度を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 全く利用しない ⇒ 問14-4ハ | 4. 週に数回程度       |
| 2. 年に数回程度           | 3. 月に数回程度       |
| 5. ほぼ毎日             | 6. 雨天など悪天候時のみ利用 |
| 7. その他 ( )          |                 |

上記 問14-1 で2~7を選択した方は 問14-2 を回答してください。

1. 全く利用しないを選択した方は 問14-4ハへ進んでください。

問14-2 市内循環バスの運行内容について教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 満足 ⇒ 問14-4ハ        | 2. どちらかという満足 ⇒ 問14-4ハ |
| 3. どちらとも言えない ⇒ 問14-4ハ | 4. どちらかという不満          |
|                       | 5. 不満                 |

上記 問14-2 で4.どちらかという不満1か5.不満1を選択した方は 問14-3 を回答し 問14-4ハへ進んでください。

1~3を選択した方は 問14-4ハへ進んでください。

問14-3 市内循環バスの運行に不満を感じる理由として、あなたの考えに近いものを教えてください。

該当する番号全てに○をつけてください。

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. 行きたい場所や地域まで運行していない | 2. バス停までの距離が遠い |
| 3. 利用したい時間帯に運行していない   | 4. 運行本数が少ない    |
| 6. その他 ( )            | 5. 運賃が高い       |

問14-4 今後の市内循環バスの利用意向について、あなたの考えに近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |            |               |
|------------|---------------|
| 1. 利用したい   | 2. 利用するつもりはない |
| 3. その他 ( ) |               |

問14-5 市内循環バスの運行には、年間1億円以上(利用者1人あたり570円・令和3年度)を行田市が財政負担しています。現在の運賃は、コースにより100円または150円ですが、運行維持を念頭にあなたが考える運賃の上限額を教えてください。

円

■ コロナ禍以降の外出状況について

問15 令和2年(2020年)の新型コロナウイルス感染拡大後の外出の頻度の変化について教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 外出する機会がかなり減った | 2. 外出する機会が少し減った |
| 3. 以前とほとんど変わらない  | 4. 外出する機会が少し増えた |
| 5. 外出する機会がかなり増えた |                 |

問16 令和2年(2020年)の新型コロナウイルス感染拡大後の公共交通の利用頻度の変化について教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 利用する機会がかなり減った          | 2. 利用する機会が少し減った        |
| 3. 以前とほとんど変わらない ⇒ 問18ハ    | 4. 利用する機会が少し増えた ⇒ 問18ハ |
| 5. 利用する機会が増えた ⇒ 問18ハ      |                        |
| 6. 以前からほとんど利用していない ⇒ 問18ハ |                        |

上記 問16 で1.利用する機会がかなり減ったか2.利用する機会が少し減ったを選択した方は 問17を回答し 問18へ進んでください。

3~6を選択した方は 問18へ進んでください。

問17 公共交通を利用する機会が減った理由として、あなたの考えに最も近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 外出自粛を心掛けているため             |
| 2. できるだけ公共交通以外の移動手段を利用しているため |
| 3. 感染対策が気がかりなため              |
| 4. 家族、知人、職場等からの指示があったため      |
| 5. その他 ( )                   |

問18 今後、引き続き感染対策が必要となる状況下での公共交通の利用について、あなたの考えに最も近いものを教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 自家用車等があるため、元々利用しておらず、今後も利用意向はない |
| 2. 感染対策の有無に関わらず利用したい               |
| 3. 感染対策が十分であれば利用したい                |
| 4. 感染対策の有無に関わらず感染拡大が終息しない限り利用しない   |
| 5. 人や機械との接触が少ない新たな公共交通があれば利用したい    |
| 6. その他 ( )                         |

■ **運転免許証の自主返納とデマンドタクシーについて**

問19 運転免許証の所有状況と返納について、あなたの考えに最も近いものを教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 運転免許証を所有しており、当面は免許返納の予定はない ⇒問20を回答し問22へ
2. 運転免許証を所有していたが、既に免許返納を行った ⇒問21を回答し問22へ
3. 運転免許証を所有しているが、免許返納を考えている ⇒問21を回答し問22へ
4. 運転免許証を所有しているが、免許返納をどうするか決めていない ⇒問22へ
5. 運転免許証を所有していない ⇒問22へ

問20 問19で「1.運転免許証を所有しており、当面は免許返納の予定はない」を選択した方のみ回答してください。

運転免許証を自主返納しない理由として、あなたの考えに最も近いものを教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。(続いて 問22 に進んでください)

1. 運転することに問題がないため
2. 返納した場合、外出時の移動手段がなくなるため
3. 家族や知人の送迎に頼りたくないため
4. 公共交通が充実していないと感じるため
5. 自身で運転することが好きのため
6. その他 ( )

問21 問19で「2.運転免許証を所有している」が、既に免許返納を行った「3.運転免許証を所有しているが、免許返納を考えている」を選択した方のみ回答してください。

運転免許証自主返納後に最も多く利用する(利用したい)移動手段を教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。(続いて 問22 に進んでください)

1. 徒歩または自転車
2. 家族や知人の送迎
3. 医療機関などの送迎
4. 鉄道
5. 民間の路線バス
6. 市内循環バス
7. デマンドタクシー
8. タクシー (デマンドタクシー以外)
9. その他 ( )

コラム

【運転免許証自主返納を支援する行田市の取組】

運転免許証を自主返納した方に、タクシーで利用できる500円券(デマンドタクシー利用登録者はデマンドタクシーでも利用可)を1回限りで20枚交付しています。

<問い合わせ先>

行田市 市民生活部 交通対策課 電話:048-556-1111(内線284)

問22 行田市では、高齢者及び障がい者の移動手段の確保のため、75歳以上の方または障害者手帳をお持ちの方を対象に行田市デマンドタクシーを運行しています。

利用者の要望に応じて低料金で運行を行う公共交通であるため、運転免許証自主返納後の移動手段としても活用できます。

以下の行田市デマンドタクシーの概要も参考とし、「行田市デマンドタクシー」について、あなたの考えや利用状況に最も近い番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【行田市デマンドタクシーの概要】

<デマンドタクシーとは？>

利用者の希望時間・乗降場所の要望(デマンド)に応じて、低料金で運行する公共交通サービスです。バスのように乗り降りできる場所が決まっていますが、時刻表はありません。また、タクシーのように電話で呼ばば自宅まで迎えに来てくれますが、途中下車や寄り道はできません。

このように、バスとタクシーの中間的な交通手段となります。

なお、車両は通常のタクシー車両を使用し、料金は通常のタクシーと同様、車両1台の金額です。

<利用できる方>

行田市民で「75歳以上の高齢者」または「障害者手帳をお持ちの方」(事前に利用者登録が必要)

<運行日>

毎日(ただし、年末年始[12/29~1/31]を除く)

<利用時間>

午前8時30分~午後5時(利用日の3日前から予約可能)

<運行区域>

行田市内および秩父鉄道ソシオ流通センター駅前

<運行パターン>

①利用者自宅前→指定乗降場所 ②指定乗降場所→利用者自宅前

③指定乗降場所→指定乗降場所 のいずれか

<利用料金>

タクシーメーター料金に応じて4段階

タクシーメーター料金	利用料金(利用者負担額)
2,000円未満	500円
2,000円以上 3,000円未満	1,000円
3,000円以上 4,000円未満	1,500円
4,000円以上	2,000円

1. 運行していることを知っており、将来的に利用したい
2. 運行していることを知っていたが、将来的に利用するつもりはない
3. 運行していることを知らなかったが、将来的に利用したい
4. 運行していることを知らなかったが、将来的に利用するつもりはない
5. 現在利用登録済で、積極的に利用している
6. 現在利用登録済で、たまに利用している
7. 現在利用登録済だが、ほとんど利用していない
8. その他 [ ]

■ 行田市の公共交通のあり方について

問23 将来の移動に対する不安について、あなたの考えに近いものを教えてください。  
該当する番号全てに○をつけてください。

1. 利便性の高い公共交通の存続
2. 公共交通施設のバリアフリーに関する不安
3. 高齢を迎えた際の外出頻度の減少
4. 移動にかかる費用負担などの経済的な不安
5. その他 ( )

問24 行田市が目指すべき交通サービスのあり方について、あなたの考えに近いものを教えてください。  
該当する番号全てに○をつけてください。

1. 行田市の中心へ移動しやすい公共交通
2. 鉄道やバスで周辺の市町村へ移動しやすい公共交通
3. 市内外の主要な施設に移動しやすい公共交通
4. 自家用車が安全かつ快適に走行できる道路の整備
5. 自転車道の整備など自転車安全かつ快適に走行できるまちづくり
6. 歩道の整備など、徒歩で移動しやすいまちづくり
7. 観光客や来訪者が移動しやすいまちづくり
8. 自宅や目的地（外出先）の歩ける範囲に駅やバス停があるまちづくり
9. スクールバスや福祉輸送車など様々な輸送方法を活用した公共交通
10. バリアフリーとなり、誰もが利用しやすい公共交通
11. 密集を避ける等、感染対策を視野に入れた新しい生活様式に対応した公共交通
12. 公共交通に関する情報発信が盛んで、かつ情報を得やすい環境整備
13. その他 [ ]

コラム

【公共交通に関する行田市の取組について】

公共交通に関する取組について、行田市のホームページにて詳しい情報を発信しています。  
以下のQRコードより確認できます。



公共交通トップページ



市内循環バス



デマンドタクシー

問25 公共交通を確保するため、行田市では運行に対する財政的支援を行っています。  
公共交通に対する財政負担の考え方について、令和元～3年度の市拠出金額を参考に、  
あなたの考えに最も近いものを教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

公共交通に対する市拠出金額の近年の推移			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
民間の路線バス運行に対する市拠出金	1,750万円	2,249万円	3,160万円
市内循環バス運行に対する市拠出金	10,238万円	11,084万円	10,472万円
デマンドタクシー運行に対する市拠出金	2,316万円	1,954万円	2,636万円

1. 財政負担が増加しても、さらなる公共交通の充実を図るべき
2. 現状の財政負担を維持し、運行内容を継続するべき
3. 運賃・利用料の引き上げにより財政負担の抑制に取り組みとともに、運行時間帯やルート、利用方法等を改善して利便性向上を図るべき
4. 財政負担を抑制するため、利用者の少ない路線などの運行規模縮小や制度の整理統合はやむを得ない
5. その他 [ ]

■ 自由意見

行田市の公共交通について自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。  
期限内(11月7日まで)にポスト投函をお願いします。



## 行田市地域公共交通計画策定に向けた デマンドタクシー利用者アンケートへのご協力のお願い



近年の人口減少・少子高齢化の本格化、コロナ禍による移動形態の変化、公共交通を維持するための公的負担の増加などにより、公共交通を取り巻く環境は厳しくなっています。同時に、高齢者の運転免許返納の増加を見据えたうえで、将来的に持続可能な公共交通の確保・維持が必要となってきています。

このような背景の下、令和 2 年 11 月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が施行され、原則として全ての地方公共団体において、「公共交通のマスタープラン」と言える「地域公共交通計画」を策定することとなりました。本計画は、“地域にとって望ましい地域旅客輸送サービスの姿”を明らかにし、その実現に向けた具体的施策と目標を定めるもので、令和 5 年度に『行田市地域公共交通計画』の策定を目指し、検討を進めています。当調査は、デマンドタクシーを利用していただいている皆様の日頃の移動、要望等を把握し、計画に反映することを目的として実施するものです。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 4 年 10 月 行田市地域公共交通会議

### <調査対象・個人情報の取り扱いについて>

- 当調査は、デマンドタクシー利用者登録者から無作為抽出した 800 人に送付させていただきますました。
- 調査票は無記名でご回答いただくため、個人が特定されるものではありません。

### <アンケートの回収について>

同封の返信用封筒にこの調査票を入れてご返送ください。(切手不要)  
返送(ポスト投函)期日:令和 4 年 11 月 7 日(月)

### <アンケートに関する問い合わせ先>

行田市地域公共交通会議 (事務局:行田市 市民生活部 交通対策課)  
電話:0418-556-1111(内線284)

# 行田市 デマンドタクシー利用者 アンケート調査 調査票

## <アンケートの回答・記入について>

- ・回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ・設問によっては記述の回答をお願いしています。
- ・その他にあてはまる場合は、( )内に具体的な内容を記入してください。
- ・記入が困難な方等は、ご家族の方が代筆して構いません。  
(ただし、代筆者ではなく、アンケート票の宛名の方についてご回答ください)

## ■ あなたのことについて

問1 あなたの年齢を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 74 歳以下
2. 75～79 歳
3. 80～84 歳
4. 85～89 歳
5. 90 歳以上

問2 あなたの居住地をご記入ください。

居住地	記入例：行田市〔長野1丁目〕
	※右記の〔〕内に町丁名をご記入ください
	行田市〔 〕

## ■ 日頃のデマンドタクシーの利用について

問3 あなたがデマンドタクシーの利用登録を行った理由を教えてください。  
最もあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 対象年齢（75歳以上）であったため
2. 障害者手帳を所持しているため
3. 自宅前から（まで）利用できるため
4. バス停までの移動が困難なため
5. 利用料金が手頃だと感じたため
6. 家族や知人に勧められたため
7. 運転免許証を自主返納したため
8. 運転免許証はあるが自身の運転での外出に不安を感じるため
9. 市内循環バスの運賃が無料になるため
10. 行政サービスを積極的に活用したいため
11. その他（ ）

問4 普段、デマンドタクシーを利用する際の移動パターンを教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 行き（自宅から目的地へ）のみ利用
2. 帰り（目的地から自宅へ）のみ利用
3. 行き帰りともに利用
4. 目的地から他の目的地への移動で利用
5. 特に決めていない

問5 デマンドタクシーを行きと帰りのどちらからだけ利用する場合、帰り[帰宅時]や行き[外出時]（デマンドタクシーを利用しない時）の移動手段を教えてください。  
該当する番号全てに○をつけてください。

1. 徒歩
3. 医療機関などの送迎
5. 市内循環バス
2. 家族や知人の送迎
4. 民間の路線バス
6. タクシー（デマンドタクシー以外）
7. その他（ ）



問6 デマンドタクシーを使ってよく行く目的地(例えば、鉄道に乗り継ぐ場合は、行田市外も含めた最終的な目的地)について教えてください。  
特によく行く目的地3つまでについて、回答見本を参考に以下をお答えください。

【回答見本】

具体的な目的地(記述)	○○病院			
目的	★以下から1つ選択 1. 通勤・業務 ② 通院 3. 買物 4. 食事やレジャー 5. 公共施設での用事 6. 福祉施設 7. 家族や友人宅等への訪問 8. その他（ ）			
行きの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30～9:30 ② 9:30～11:00 3. 11:00～13:00 4. 13:00～15:00 5. 15:00～17:00 6. 特に決まっていない 7. 帰りのみデマンドタクシーを利用（他の目的地からの徒歩移動を含む）			
帰りの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30～9:30 2. 9:30～11:00 3. 11:00～13:00 ④ 13:00～15:00 5. 15:00～17:00 6. 特に決まっていない 7. 行きのみデマンドタクシーを利用（他の目的地からの徒歩移動を含む）			

【あなたが一番よく行く目的地】

具体的な目的地(記述)				
目的	★以下から1つ選択 1. 通勤・業務 2. 通院 3. 買物 4. 食事やレジャー 5. 公共施設での用事 6. 福祉施設 7. 家族や友人宅等への訪問 8. その他（ ）			
行きの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30～9:30 2. 9:30～11:00 3. 11:00～13:00 4. 13:00～15:00 5. 15:00～17:00 6. 特に決まっていない 7. 帰りのみデマンドタクシーを利用（他の目的地からの徒歩移動を含む）			
帰りの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30～9:30 2. 9:30～11:00 3. 11:00～13:00 4. 13:00～15:00 5. 15:00～17:00 6. 特に決まっていない 7. 行きのみデマンドタクシーを利用（他の目的地からの徒歩移動を含む）			

【あなたが2番目によく行く目的地】

具体的な目的地 (記述)	
目的	★以下から1つ選択 1. 通勤・業務 2. 通院 3. 買物 4. 食事やレジャー 5. 公共施設での用事 6. 福祉施設 7. 家族や友人宅等への訪問 8. その他 ( )
行きの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30~9:30 2. 9:30~11:00 3. 11:00~13:00 4. 13:00~15:00 5. 15:00~17:00 6. 特に決まっていない 7. 帰りのみデマンドタクシーを利用 (他の目的地からの徒歩移動を含む)
帰りの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30~9:30 2. 9:30~11:00 3. 11:00~13:00 4. 13:00~15:00 5. 15:00~17:00 6. 特に決まっていない 7. 行きのみデマンドタクシーを利用 (他の目的地への徒歩移動を含む)

【あなたが3番目によく行く目的地】

具体的な目的地 (記述)	
目的	★以下から1つ選択 1. 通勤・業務 2. 通院 3. 買物 4. 食事やレジャー 5. 公共施設での用事 6. 福祉施設 7. 家族や友人宅等への訪問 8. その他 ( )
行きの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30~9:30 2. 9:30~11:00 3. 11:00~13:00 4. 13:00~15:00 5. 15:00~17:00 6. 特に決まっていない 7. 帰りのみデマンドタクシーを利用 (他の目的地からの徒歩移動を含む)
帰りの主な時間帯	★以下からデマンドタクシーを利用する時間帯を1つ選択 1. 8:30~9:30 2. 9:30~11:00 3. 11:00~13:00 4. 13:00~15:00 5. 15:00~17:00 6. 特に決まっていない 7. 行きのみデマンドタクシーを利用 (他の目的地への徒歩移動を含む)

問7 デマンドタクシーの利用頻度を教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. ほぼ毎日	2. 週3~5日	3. 週1~2日	4. 月数回程度
5. 月1日程度	6. 年数回程度	7. ほとんど利用しない	

問8 コロナ禍以降(2020年以降)のデマンドタクシーの利用頻度の変化を教えてください。  
該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※コロナ禍以降(2020年以降)に利用登録をされた方は、選択肢6を選択してください。			
1. コロナ禍前よりかなり増えた	2. コロナ禍前よりやや増えた	3. 変わらない	4. コロナ禍前よりやや減った
5. コロナ禍前よりかなり減った	6. コロナ禍以降に利用登録を行った		

問9 問8で回答したコロナ禍以降(2020年以降)のデマンドタクシーの利用頻度の変化の理由を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※コロナ禍以降に利用登録をされた方は、コロナ禍のデマンドタクシー利用で感じる点を選択してください。

1. 外出自粛を心掛けているため	2. デマンドタクシーの感染対策が気になるため
3. コロナ禍であっても変わらず利用したいと感じるため	4. コロナ禍であっても通院等の外出せざるを得ない用事があるため
5. 自身だけでは外出が困難なので利用せざるを得ないため	6. デマンドタクシーの感染対策が十分だと感じるため
7. 不特定多数の利用者と密にならず安心して移動手段だと感じるため	8. 自宅から利用しやすいなどサービス内容や利用料金に魅力を感じるため
9. その他 ( )	

問10 日頃のデマンドタクシーの利用満足度を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 満足	2. どちらかという満足	3. どちらとも言えない
4. どちらかという不満	5. 不満	
★4と5を選択した方は、その理由を教えてください		



## ■ 日頃の外出と公共交通の利用について

問11 デマンドタクシーの利用に限らず、下記のどの施設に行くのが便利だとあなたが暮らしやすいと思いますか。

該当する番号を3つまで選んで、○をつけてください。

1. 商業施設（大型複合店、スーパー、ホームセンター等）
2. 商業施設（コンビニエンスストア、ドラッグストア等）
3. 商業施設（飲食店、衣料品店等）
4. 金融施設（銀行、信用金庫、郵便局等）
5. 行政施設（市役所、支所、窓口機能等）
6. 文化教育施設（図書館、文化会館、美術館等）
7. 医療施設（病院、診療所、薬局等）
8. 福祉施設（障がい者福祉施設等）
9. 高齢者向け施設（子育て支援センター、こども園、保育所等）
10. 子育て支援施設（子育て支援センター、こども園、保育所等）
11. 学校施設（高等学校、大学、専門学校等）
12. 健康推進等施設（スポーツ施設、体育館等）
13. ほとんど外出しないため該当なし
14. その他（ ）

問12 デマンドタクシー以外で、月11回以上利用する交通手段を教えてください。

該当する番号全てに○をつけてください。

1. 鉄道
2. 民間の路線バス
3. 市内循環バス
4. タクシー（デマンドタクシー以外）
5. ほとんど利用しないため該当なし
6. その他（ ）

問13 公共交通を利用する際に重視することを教えてください。

下記の選択肢から優先順位の高い順に3つまで数字をご記入ください。

1. 運賃が安いこと
  2. 便数が多いこと
  3. 乗り継ぎ回数が少ないこと
  4. 目的地まで早く着けること
  5. 到着時刻の確実性が高いこと
  6. 自宅近くから利用できること
  7. できるだけ目的地まで歩かないで済むこと
- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1番目に重視すること | 2番目に重視すること | 3番目に重視すること |
|            |            |            |

問14 デマンドタクシー以外の行田市内の公共交通の利用満足度を教えてください。

該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

1. 満足
2. どちらかというと満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかというと不満
5. 不満
6. デマンドタクシーしか利用しないのでわからない

★4と5の方は、その理由を教えてください

## ■ 自由意見


デマンドタクシーの運行内容や行田市の公共交通などについて、ご意見・ご要望等がございましたら、自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。  
期限内(11月7日まで)にポスト投函をお願いします。

【調査員記入欄】  
調査員 平田・休日 調査時間 \_\_\_\_\_ 調査地点 (該当する調査地点番号に○を記入)  
栗原路線 (東 北東 北西 西 南大通 観光) ① JR行田駅前 ② 行田市駅前 ③ 忍城バスターミナル ④ 行田病院前 ⑤ 総合福祉会館

調査時間 \_\_\_\_\_ 調査地点 (該当する調査地点番号に○を記入)  
① 吹上駅 ② 長野一丁目 ③ 忍城 ④ 南河原交所 ⑤ 産業道路 ⑥ 行田市駅

下記のQRコードを読み取って回答することもできます。



### 行田市 市内循環バス利用に関するアンケート調査

問1 あなたの年齢を教えてください。(一つに○)

1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代  
5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代 8. 80 歳代以上

問2 あなたのお住まいを教えてください。(一つに○)

1. 行田市 2. 熊谷市 3. 鴻巣市 4. その他埼玉県内 5. 埼玉県外

問3 本日の主な外出目的を教えてください。(一つに○)

1. 通勤 2. 通学 3. 病院・薬局等 4. 買い物・食事 5. 趣味・娯楽・観光  
6. 知人・家族等と会う 7. 金融機関等での用事 8. 福祉施設等での用事  
9. 公共施設での用事 10. その他 ( )

問4 本日内循環バスを利用する主な理由を教えてください。(一つに○)

1. 自宅の近くにバス停があるから 2. 目的地までの移動が一番スムーズだから  
3. バス以外に主な移動手段が無いから 4. その他 ( )

問5 本日の外出で市内循環バスに乗る前・降りた後の移動手段を教えてください。(複数選択可)

1. 自家用車 2. 知人・家族等の送迎 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩  
6. 鉄道 7. その他の公共交通 ( )

問6 普段の市内循環バスの利用頻度を教えてください。(一つに○)

1. ほぼ毎日 2. 週2~3日 3. 週1日 4. 月数回 5. 年数回

問7 普段の市内循環バスの利用満足度を教えてください。(それぞれ一つに○)

【7-1 運行本数】 満足 やや満足 どちらでもない やや不満 不満  
【7-2 運行時間帯】 満足 やや満足 どちらでもない やや不満 不満

問8 この後降車するバス停および本日の外出の最終目的地を教えてください。

【8-1 この後降車するバス停名】(記述) 停留所 \_\_\_\_\_ 【8-2 最終目的地】(一つに○)  
1. 行田市内 2. 熊谷市 3. 鴻巣市  
4. その他埼玉県内 5. 東京方面 6. 群馬方面


問9 市内循環バスを使いやすくなるための取組として効果的と思われるものを教えてください。(三つまで○)

1. 路線やバス停位置の見直し 2. 時刻表とおりの運行  
3. 運行本数の増便や運行時間帯の拡大 4. バス運行情報の電子化  
5. ダイヤの見直し (鉄道との接続の改善等) 6. 定期券やICカードの導入  
7. バス待ち環境の改善 (屋根のあるバス停等) 8. 事前予約制バス(オンデマンドバス)の導入  
9. 目的地までの所要時間の短縮 10. その他 [ ]

以上です。ご協力ありがとうございました。

【調査員記入欄】  
調査員 \_\_\_\_\_ 調査時間 \_\_\_\_\_ 調査地点 (該当する調査地点番号に○を記入)  
① 吹上駅 ② 長野一丁目 ③ 忍城 ④ 南河原交所 ⑤ 産業道路 ⑥ 行田市駅

下記のQRコードを読み取って回答することもできます。



### 行田市 路線バス利用に関するアンケート調査

問1 あなたの年齢を教えてください。

1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代  
5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代 8. 80 歳代以上

問2 あなたのお住まいを教えてください。

1. 行田市 2. 熊谷市 3. 鴻巣市 4. その他埼玉県内 5. 埼玉県外

問3 本日の主な外出目的を教えてください。(一つに○)

1. 通勤 2. 通学 3. 病院・薬局等 4. 買い物・食事 5. 趣味・娯楽・観光  
6. 知人・家族等と会う 7. 金融機関等での用事 8. 福祉施設等での用事  
9. 公共施設での用事 10. その他 ( )

問4 本日日路線バスを利用する主な理由を教えてください。(一つに○)

1. 自宅の近くにバス停があるから 2. 目的地までの移動が一番スムーズだから  
3. バス以外に主な移動手段が無いから 4. その他 ( )

問5 本日の外出で路線バスに乗る前・降りた後の移動手段を教えてください。(複数選択可)

1. 自家用車 2. 知人・家族等の送迎 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩  
6. 鉄道 7. その他の公共交通 ( )

問6 普段の路線バスの利用頻度を教えてください。(一つに○)

1. ほぼ毎日 2. 週2~3日 3. 週1日 4. 月数回 5. 年数回

問7 普段の路線バスの利用満足度を教えてください。(それぞれ一つに○)

【7-1 運行本数】 満足 やや満足 どちらでもない やや不満 不満  
【7-2 運行時間帯】 満足 やや満足 どちらでもない やや不満 不満

問8 この後降車するバス停および本日の外出の最終目的地を教えてください。

【8-1 この後降車するバス停名】(記述) 停留所 \_\_\_\_\_ 【8-2 最終目的地】(一つに○)  
1. 行田市内 2. 熊谷市 3. 鴻巣市  
4. その他埼玉県内 5. 東京方面 6. 群馬方面

問9 路線バスを使いやすくなるための取組として効果的と思われるものを教えてください。(三つまで○)

1. 路線やバス停位置の見直し 2. 時刻表とおりの運行  
3. 運行本数の増便 4. バス停や時刻表の分かりやすい情報案内  
5. ダイヤの見直し (鉄道との接続の改善等) 6. 市内酒路バスとの乗り継ぎ割引  
7. バス待ち環境の改善 (屋根のあるバス停等) 8. 運賃の負担軽減  
9. 目的地までの所要時間の短縮 10. その他 [ ]

以上です。ご協力ありがとうございました。